

事業計画認可日：平成30年12月14日

事業計画変更認可日：令和2年2月7日

事業計画変更認可日：令和4年6月7日

事業計画変更認可日：令和6年5月27日

事業計画変更認可日：令和7年5月28日

日本橋一丁目中地区第一種市街地再開発事業

事業計画書

令和7年5月

日本橋一丁目中地区市街地再開発組合

目次

1 地区、事業及び施行者の名称	1
(1) 地区の名称	
(2) 事業の名称	
(3) 施行者の名称	
2 施行地区の概況及び事業の目的	2
(1) 施行地区の概況	
(2) 事業の目的	
3 施行地区	4
(1) 施行地区の位置	
(2) 施行地区の位置図	
(3) 施行地区の区域	
(4) 施行地区の区域図	
(5) 施行地区の面積	
4 設計の概要	6
(1) 設計説明書	
1) 設計方針	
2) 施設建築物の設計の概要	
3) 施設建築敷地の設計の概要	
4) 公共施設の設計の概要	
5) 住宅建設の概要	
(2) 設計図	15
1) 施設建築物の設計図	
2) 施設建築敷地の設計図	
3) 公共施設の設計図	

5 事業施行期間..... 16

- (1) 事業施行期間（予定）
- (2) 建築工事期間（予定）

6 資金計画..... 17

- (1) 資金計画

添付書類

- (1) 施行地区の位置図
- (2) 施行地区の区域図
- (3) 設計図
 - 1) 施設建築物の設計図
 - 2) 施設建築敷地の設計図
 - 3) 公共施設の設計図

事業計画書

1 地区、事業及び施行者の名称

(1) 地区の名称

日本橋一丁目中地区

(2) 事業の名称

東京都市計画事業 日本橋一丁目中地区第一種市街地再開発事業

(3) 施行者の名称

日本橋一丁目中地区市街地再開発組合

2 施行地区の概況及び事業の目的

(1) 施行地区の概況

日本橋一丁目中地区（以下「当地区」とする。）はＪＲ東京駅に近接し、東京メトロと都営地下鉄の日本橋駅に面しており、成田・羽田空港とのアクセス性にも優れた交通利便性の高い立地である。

また、当地区は都市再生特別措置法に基づく特定都市再生緊急整備地域の指定を受けているとともに、当地区および日本橋川沿いの二つの再開発事業（八重洲一丁目北地区、日本橋一丁目東地区）については東京圏国家戦略特別区域の都市再生プロジェクトとして平成 28 年 5 月に追加され、「金融軸」を支える多様な機能が集積する拠点整備が目指されている。

さらに、「日本橋川沿いエリアのまちづくりビジョン 2017」（平成 29 年 7 月：中央区）では、来街者を迎え入れ、エリア内を回遊させる動線・空間を整備し、快適な歩行者ネットワークの形成や魅力的な水辺空間を備えた良好な都市空間の創出が求められている。

しかしながら、当地区では細分化された敷地が混在し、建物の老朽化が進み防災性が低下している街区もみられ、都心部における十分な土地の高度利用がなされていない。また、日本橋交差点付近では歩車の交錯が多く歩行者の円滑な交通が妨げられ、地下鉄日本橋駅の乗り換え動線に関しても、高低差が多く複雑であり、円滑な地上・地下のネットワークが形成されていない。さらに、当地区の川沿い街区においては護岸の際まで建物が迫って配置され、かつ首都高速道路が上空に架構されているため、都心部における貴重な自然環境をいかせていない。

そのような中、平成29年7月21日に国並びに都から、日本橋周辺のまちづくりと連携して首都高速道路の地下化に向けて取り組んでいくこと、及び今後関係者で計画案（線形や構造、対象区間など）について検討していくことが公表された。

また、平成29年11月1日には、国、東京都、首都高速道路（株）、中央区により計画案（線形や構造、対象区間など）について検討していくことを目的として、「首都高日本橋地下化検討会」が設置された。

これらを踏まえ、当地区においても首都高地下化の検討及び取組について協力していくこととし、首都高地下化の計画（線形や工事スケジュール等）の当地区への影響等を踏まえながら、国、東京都、首都高速道路（株）および中央区と連携し、当地区の計画進捗を図っていくことが求められている地区である。

(2) 事業の目的

土地の集約化と街区再編による土地の高度利用を図り、高規格な業務・商業機能等の一体整備による複合機能集積地の形成、歩行者ネットワークの強化による回遊性の創出、歴史的建築物の保全活用及び日本橋川沿いの良好な水辺環境の創出等を通じて国際競争力強化を図ることを目的として事業を行う。

3 施行地区

(1) 施行地区の位置

当地区は、東京都中央区日本橋一丁目 5 番～12 番に位置する約 3.0ha の区域である。西側を都市計画道路放射第 28 号線（中央通り）、東側を都市計画道路放射第 12 号線（昭和通り）、北側を一級河川日本橋川、南側を特別区道中日第 278 号線及び 279 号線に囲まれている。また、名橋日本橋に面した川沿いの敷地には、文化財保護法に基づく指定有形文化財（平成 30 年 4 月中央区指定）の日本橋野村ビルディング旧館が位置している。

(2) 施行地区の位置図

添付書類（1）のとおり

(3) 施行地区の区域

東京都中央区日本橋一丁目

5 番 1、5 番 2、5 番 3、5 番 4、5 番 5、5 番 6、5 番 7、5 番 8、5 番 9、

5 番 10、5 番 11、5 番 12、5 番 13、5 番 14、5 番 15、5 番 16

6 番 1、6 番 14、6 番 15

7 番 1、7 番 3、7 番 4、7 番 5、7 番 6、7 番 7、7 番 9、7 番 10、7 番 11、7 番 12、

7 番 13、7 番 16、7 番 17、7 番 18、7 番 19、7 番 20、7 番 21、7 番 22

8 番 1、8 番 2、8 番 3、8 番 4、8 番 5、8 番 6、8 番 7、8 番 8、8 番 9、8 番 10、8

番 11、8 番 12、8 番 13、8 番 14、8 番 15、8 番 16、8 番 17、8 番 18、8 番 19

9 番 2、9 番 3、9 番 4、9 番 5、9 番 6、9 番 7、9 番 8、9 番 9、

10 番 1、10 番 6、10 番 10、10 番 16、10 番 17

11 番 1、11 番 3、11 番 4、11 番 5、11 番 6、11 番 7、11 番 10、11 番 11、11 番 12、

11 番 13、11 番 14

12 番 1、12 番 2、12 番 3、12 番 4、12 番 8、12 番 9、12 番 10、12 番 11、12 番 12

なお、施行地区となるべき区域内には、道路である公有地（都市計画道路放射第 12 号線の一部、都市計画道路放射第 28 号線の一部および都市計画道路放射第 28 号線に付随する部分、特別区道中日第 20 号線の一部、特別区道中日第 273 号線、特別区道中日第 278 号線、特別区道中日第 279 号線）を含む

(4) 施行地区の区域図

添付書類（2）のとおり

(5) 施行地区の面積

約 3.0ha

4 設計の概要

(1) 設計説明書

1) 設計方針

当地区は、東京圏国家戦略特別区域の都市再生プロジェクトに指定されており、「金融軸」を支える多様な機能が集積する拠点整備を行う。

また、来街者を迎え入れ、エリア内を回遊させる動線・空間を整備し、快適な歩行者ネットワークの形成や魅力的な水辺空間を備えた良好な都市空間の創出を図る。

2) 施設建築物の設計の概要

(イ) 設計方針

国際都市東京にふさわしい日本橋拠点を象徴するスカイラインの形成と周辺建物に調和した建物計画にするとともに、広がりのある沿道空間の創出やヒューマンスケールの通りづくりなど、通りごとの特色を生かした沿道景観の形成を図る。また、歴史性を踏まえた交流拠点の再生と親水空間整備による日本橋川沿いのにぎわい創出を目指す。

A 街区は、「日本橋野村ビルディング旧館（中央区指定有形文化財）」の外観や意匠性を保存することで、日本橋エリアの歴史性を生かした景観形成に寄与する計画とする。

B 街区は、親水広場の整備や建物を低く抑えることで川に対する圧迫感の軽減に配慮しつつ、店舗等のにぎわい機能や居住機能を備えた建物計画とする。

C 街区は、大街区化による土地の高度利用を行い、グローバル企業に相応しいオフィスや大規模カンファレンスホール、それらと機能連携するビジネス支援施設や宿泊滞在施設、及びにぎわい創出のための店舗等の計画とする。また、地下鉄駅との接続や外周道路の拡幅等により交通基盤を強化する。

B 街区においては耐震構造、C 街区においては制振構造とすることで耐震性能を確保し、C 街区には災害時にも利用可能な非常用電源設備や防災備蓄倉庫等の設置により安全・安心に配慮した計画とする。

(ロ) 建ぺい率及び容積率等

	建築敷地面積	建築面積	延べ面積	建ぺい率	容積率
A 街区	約 1,370 m ²	約 1,200 m ²	約 5,200 m ²	約 88%	約 350%
B 街区	約 2,060 m ²	約 1,100 m ²	約 6,600 m ²	約 53%	約 220%
C 街区	約 15,560 m ²	約 12,200 m ²	約 373,700 m ²	約 78%	約 1950%
計	約 18,990 m ²	約 14,500 m ²	約 385,500 m ²	約 76%	約 1650%

(注1)

(注2) (注3)

注1) 駐車場面積等を含む

注2) 容積対象面積 A 街区：約 4,800 m²、B 街区：約 4,500 m²、C 街区：約 303,000 m²

注3) 日本橋一丁目三井ビルディング (D 街区) を含む都市再生特別地区区域内では、全体の計画容積率を約 1600%とする

(ハ) 各階床面積等

A 街区			備考
階	用途	床面積	
RF	屋外機械置場	約 30 m ²	構造：鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造 規模：地上4階・地下1階 建物高さ：約 32m ※1 容積対象面積：約 4,800 m ² ※1 高さの基準点は TP+4.3m とする。
4F	事務所	約 1,090 m ²	
3F	事務所	約 1,160 m ²	
2F	店舗	約 1,160 m ²	
1F	エントランスホール、店舗	約 1,060 m ²	
B1F	機械室	約 590 m ²	
連絡通路	連絡通路	約 100 m ²	
合計	—	約 5,200 m ²	

※端数処理の関係で各階の床面積を加算した面積は、全体（計）床面積と必ずしも一致しない

B 街区			備考
階	用途	床面積	
RF	屋外機械置場	約 10 m ²	構造：鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造 規模：地上 7 階・地下 2 階 建物高さ：約 31m ※1 容積対象面積：約 4,500 m ² その他施設：駐車場 約 5 台 ※2 駐車バイク場 約 3 台 駐輪場 約 50 台 ※1 高さの基準点は TP+4.3m とする。 ※2 荷捌き含む
7F	住宅、店舗	約 570 m ²	
6F	住宅、店舗	約 760 m ²	
5F	住宅、店舗	約 760 m ²	
4F	住宅、店舗	約 760 m ²	
3F	店舗	約 960 m ²	
2F	店舗	約 440 m ²	
1F	店舗、駐車場、住宅共用	約 930 m ²	
B1F	機械室・ピット	約 990 m ²	
B2F	電気室	約 370 m ²	
合計	-	約 6,600 m ²	

※端数処理の関係で各階の床面積を加算した面積は、全体（計）床面積と必ずしも一致しない

C 街区			備考
階	用途	床面積	
PH2・3	設備、機械室	約 180 m ²	構造：鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造 および鉄骨鉄筋コンクリート造 規模： 地上 52 階・ペントハウス階 3 階・ 地下 5 階 建物高さ：約 284m ※1 容積対象面積：約 303,000 m² その他施設：駐車場 約 400 台 ※2 駐車バイク場 約 47 台 駐輪場 約 275 台 ※3 ※1 高さの基準点は TP+4.3m とする。 ※2 荷捌き含む ※3 公共的駐輪場約 60 台含む
PH1	設備、機械室	約 370 m ²	
52F	設備、機械室	約 360 m ²	
51F	サービスアパートメント	約 3,320 m ²	
50F	サービスアパートメント	約 3,890 m ²	
49F	サービスアパートメント	約 3,880 m ²	
48F	サービスアパートメント	約 4,040 m ²	
47F	設備、機械室	約 2,260 m ²	
46F	ホテル	約 4,020 m ²	
45F	ホテル	約 4,180 m ²	
44F	ホテル	約 3,990 m ²	
43F	ホテル	約 4,050 m ²	
42F	ホテル	約 4,070 m ²	
41F	ホテル	約 4,050 m ²	
40F	ホテル	約 5,080 m ²	
39F	設備、機械室	約 4,520 m ²	
38F	事務所	約 6,290 m ²	
37F	事務所	約 6,290 m ²	
36F	事務所	約 6,240 m ²	
35F	事務所	約 6,290 m ²	
34F	事務所	約 6,240 m ²	

33F	事務所	約 6, 240 m ²
32F	事務所	約 6, 190 m ²
31F	事務所	約 6, 240 m ²
30F	事務所	約 6, 190 m ²
29F	事務所	約 6, 190 m ²
28F	事務所	約 6, 140 m ²
27F	事務所	約 6, 190 m ²
26F	事務所	約 6, 140 m ²
25F	事務所	約 6, 140 m ²
24F	事務所	約 6, 480 m ²
23F	事務所	約 5, 000 m ²
22F	事務所	約 6, 600 m ²
21F	設備、機械室	約 4, 990 m ²
20F	事務所	約 8, 790 m ²
19F	事務所	約 8, 790 m ²
18F	事務所	約 8, 790 m ²
17F	事務所	約 8, 670 m ²
16F	事務所	約 8, 790 m ²
15F	事務所	約 8, 670 m ²
14F	事務所	約 8, 670 m ²
13F	事務所	約 8, 670 m ²
12F	事務所	約 8, 670 m ²
11F	事務所	約 8, 180 m ²

10F	事務所	約 8,730 m ²
9F	設備、機械室	約 7,620 m ²
8F	カンファレンス施設、 ビジネス支援施設	約 5,620 m ²
7F	カンファレンス施設、 ビジネス支援施設	約 8,840 m ²
6F	カンファレンス施設	約 5,330 m ²
5F	カンファレンス施設	約 9,450 m ²
4F	店舗	約 9,140 m ²
3F	店舗	約 8,140 m ²
2F	設備、機械室	約 940 m ²
1F	店舗、エントランスホール	約 10,620 m ²
B1F	店舗、車路	約 11,370 m ²
B2F	駐車場	約 11,200 m ²
B3F	駐車場	約 10,820 m ²
B4F	駐車場、機械室	約 3,760 m ²
B5F	設備、機械室	約 12,850 m ²
合計	—	約 373,700 m ²

※端数処理の関係で各階の床面積を加算した面積は、全体（計）床面積と必ずしも一致しない

3) 施設建築敷地の設計の概要

(イ) 設計方針

日本橋地区のにぎわい拠点として歩行者ネットワークの強化や回遊性の向上に寄与する、日本橋・東京駅前地区地区計画において地区施設として定められる歩行者通路、貫通通路および広場などを整備し、日常的に来街者等が行き交いにぎわいや交流が創出されるパブリックスペースを創出する。

(ロ) 広場

C 街区では、地域のお祭りなどのイベントが開催可能な地上広場や、住民やワーカーが落ち着いて余暇を過ごせるデッキ広場など、にぎわいと憩いを兼ね備えた広場空間を創出する。

また、B 街区では、日本橋川沿いの親水空間として親水広場を整備するとともに、既存の護岸の改良によって水面に近づける親水空間を創出し川沿いプロムナードとすることで、親水広場等と合わせた水辺回遊ネットワークを創出する。

(ハ) 歩行者通路・貫通通路

地上レベルおよび地下レベルにおいて地区周辺の道路や広場をつなぐ歩行者通路、歩道状空地および貫通通路を整備し、歩行者の利便性、安全性および快適性の向上を図る。

また、地下の歩行者ネットワークとしての回遊性に寄与するため、東京メトロ日本橋駅と C 街区西側をつなぐ地下通路や、C 街区東側に都営地下鉄日本橋駅新設改札口等を整備し、地下の円滑なバリアフリールートの整備を行うなど交通結節機能の強化を図る。

さらに、都営地下鉄浅草線日本橋駅のラチ内通路や改札間の歩行者環境の改善など、駅機能強化に資する整備について、継続的に交通事業者・道路管理者と協議を行い、更なる利便性および安全性を確保する。

(ニ) 有効空地率

当地区の敷地面積に対して、有効空地率は約 59%とする。

(ホ) 駐車場

駐車場は施設建築物の地下階に設置し、出入口は幹線道路の渋滞を避けるため、特別区道中日第 273 号線および特別区道中日第 279 号線側に設ける。

(へ) 主要整備施設

①消防水利施設

消防の用に供する消防用水槽を所轄消防と協議の上、適宜整備する。

②雨水貯留施設

公共用下水道への時間差放流を行うための一時貯留施設を適宜整備する。

③排水貯留施設

公共用下水道への時間差放流を行うための一時貯留施設を適宜整備する。

(ト) 緑化施設

東京都自然保護条例、中央区緑の基本計画に適合するよう、植樹帯、樹木を設けるとともに、施設建築物の屋上の一部についても緑化を行う。

4) 公共施設の設計の概要

(イ) 設計方針

特別区道中日第273号線については、拡幅整備及び相互通行化することで道路機能を集約させ、日本橋川沿いにおける交通の円滑化を図るとともに、当地区南側の永代通りへの交通負荷を極力軽減させる。

特別区道中日第278号線と同第279号線については、拡幅整備に合わせて歩道を新設するとともに一方通行規制の変更や駐車場の出入口を適正に配置することで、将来的な自動車交通量の削減を図り、中央通りとの交差点における歩車の交錯を解消させ、歩行者の安全性を確保する。

都市計画道路放射第28号線（中央通り）と都市計画道路放射第12号線（昭和通り）については、特別区道の拡幅整備などに合わせて道路区域の変更などを行う。

また、B街区におけるオープンスペースの整備と合わせて、一級河川日本橋川の河川区域を一部拡幅するとともに区画道路1号を整備することで、水辺回遊ネットワークを形成させ水辺の賑わい空間の創出を図る。

(ロ) 公共施設調書

種別	名称	幅員 (m)	延長 (m)	面積 (㎡)	公共施設管理者	備考
道路	都市計画道路放射第28号線（国道1号・中央通り）および都市計画道路放射第28号線に付随する部分	13.7 (27.3~27.5)	約 68	1,796.60	国土交通省	既設
	都市計画道路放射第12号線（都道316号・昭和通り）	22.0 (43.8~44.0)	約 177	3,936.87	東京都	既設
	特別区道中日第273号線	18.0	約 168	2,901.73	中央区	拡幅
	特別区道中日第278号線	10.5	約 122	1,277.77	中央区	拡幅
	特別区道中日第279号線	6.5	約 40	262.82	中央区	拡幅
	特別区道中日第20号線	5.5~11.0	約 11	93.29	中央区	既設 (再整備)
	区画道路1号	8.0	約 24	192.74	中央区	新設、 歩行者専用道路
河川	一級河川日本橋川	-	-	158.93	東京都	拡幅※

※親水空間創出のための護岸改良

(ハ)その他

日本橋周辺のまちづくりと連携した首都高速道路地下化の取組を含めた、日本橋川沿いにおける歴史・文化を踏まえた魅力ある水辺空間の整備に協力する。

5) 住宅建設の概要

(イ) 住宅戸数

住宅床面積	戸数	タイプ	備考
25 m ² 以上 40 m ² 未満	40 戸	1R	
40 m ² 以上 60 m ² 未満	9 戸	1DK～1LDK	
60 m ² 以上 80 m ² 未満	2 戸	2LDK～3LDK	
合計	51 戸		

(ロ) 住宅延べ面積

住宅延べ面積： 約 2,370 m²

平均住戸面積： 約 32 m²

(2) 設計図

1) 施設建築物の設計図

添付書類（３）-１）のとおり

2) 施設建築敷地の設計図

添付書類（３）-２）のとおり

3) 公共施設の設計図

添付書類（３）-３）のとおり

5 事業施行期間

(1) 事業施行期間（予定）

自 組合設立認可公告の日 ～ 至 令和 9 年 3 月末日

(2) 建築工事期間（予定）

解体着工 令和 2 年 10 月（2020 年度）

竣工 令和 8 年 3 月（2025 年度）

6 資金計画

(1) 資金計画

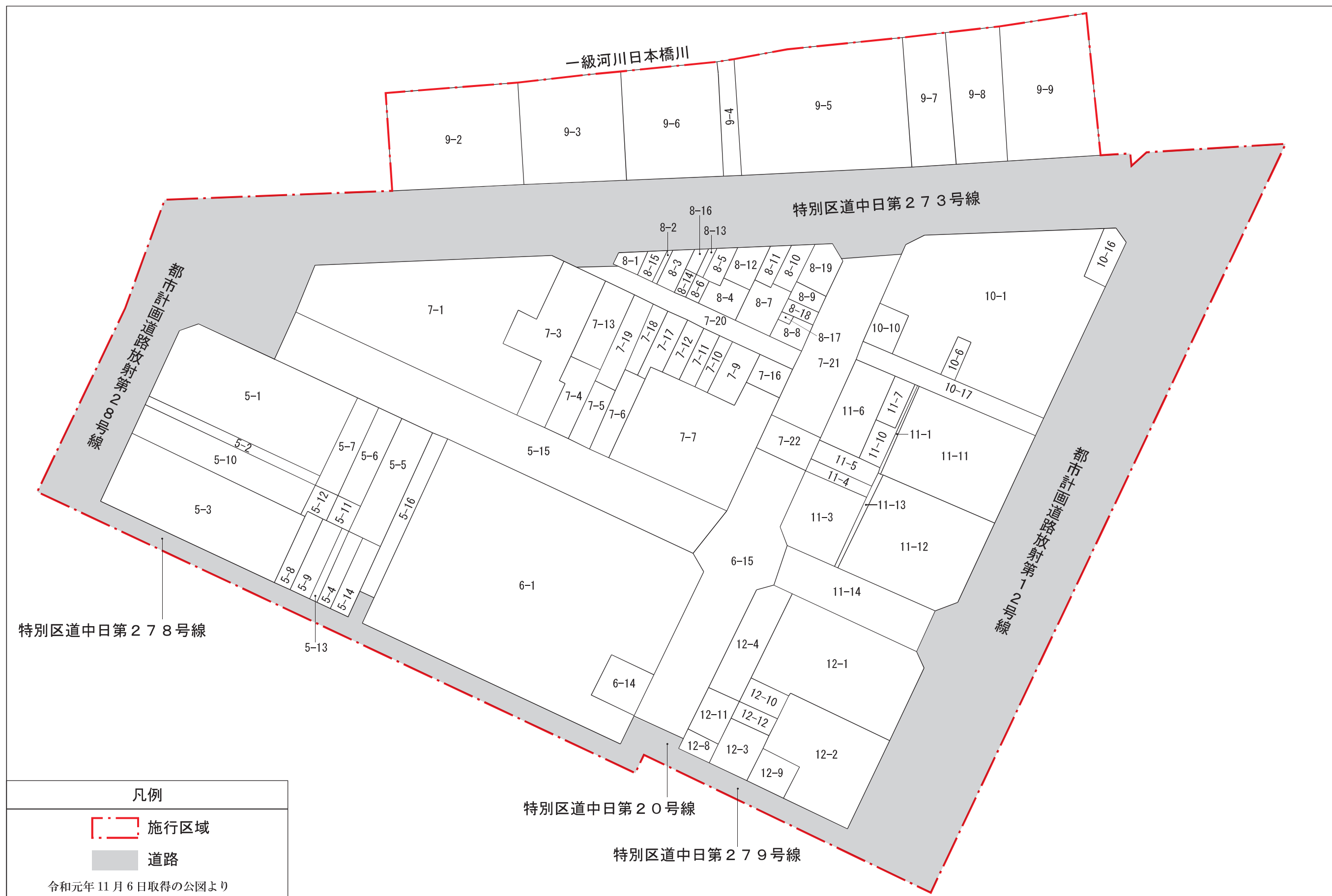
(単位:百万円)

収入金	補助金	27,257	支出金	調査設計計画費	8,540
	保留床処分金等	297,700		土地整備費	8,950
				補償費	66,350
				工事費	215,446
				事務費等	25,671
	合計	324,957		合計	324,957

添付書類（１）施行地区の位置図



添付書類（２）施行地区の区域図



添付書類（３）設計図

１）施設建築物の設計図

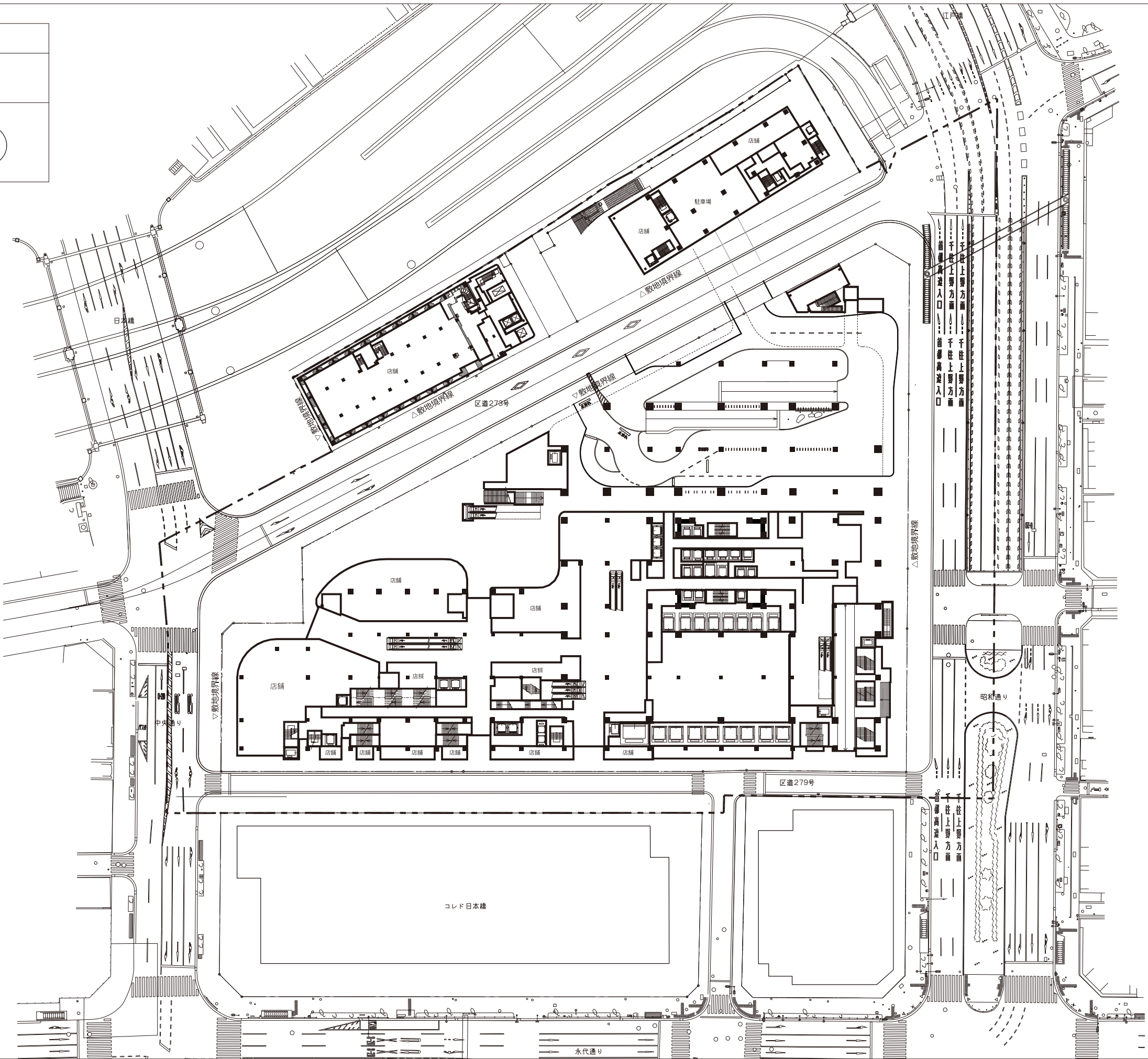
- ・各階平面図
- ・断面図

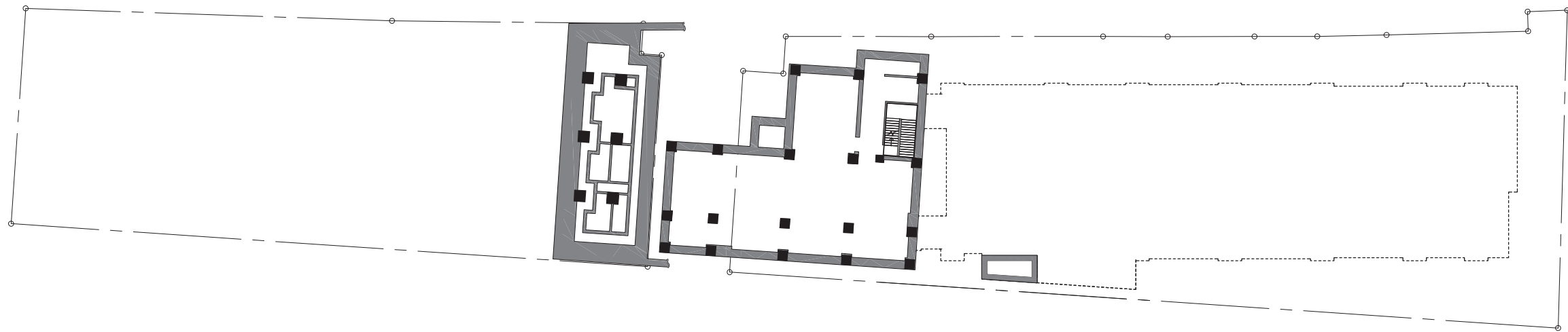
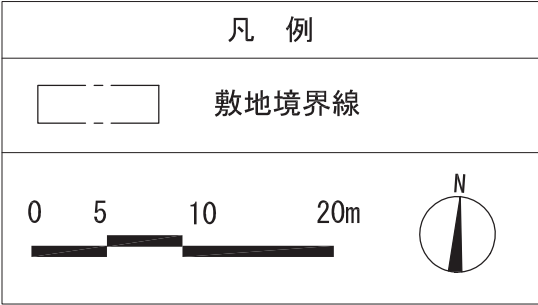
凡 例

施行区域(約3.0ha)

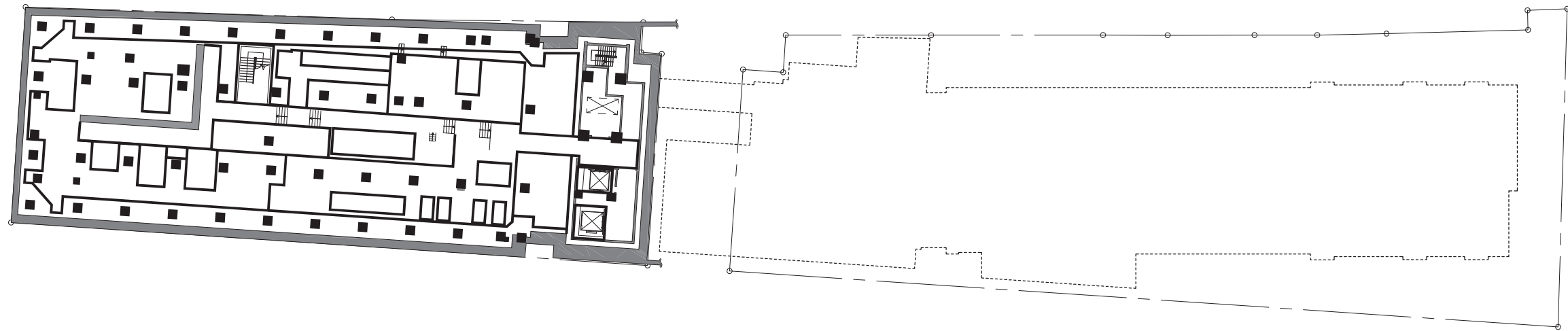
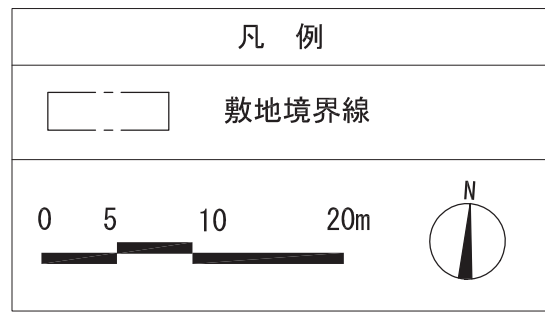
0 5 10 20m

N

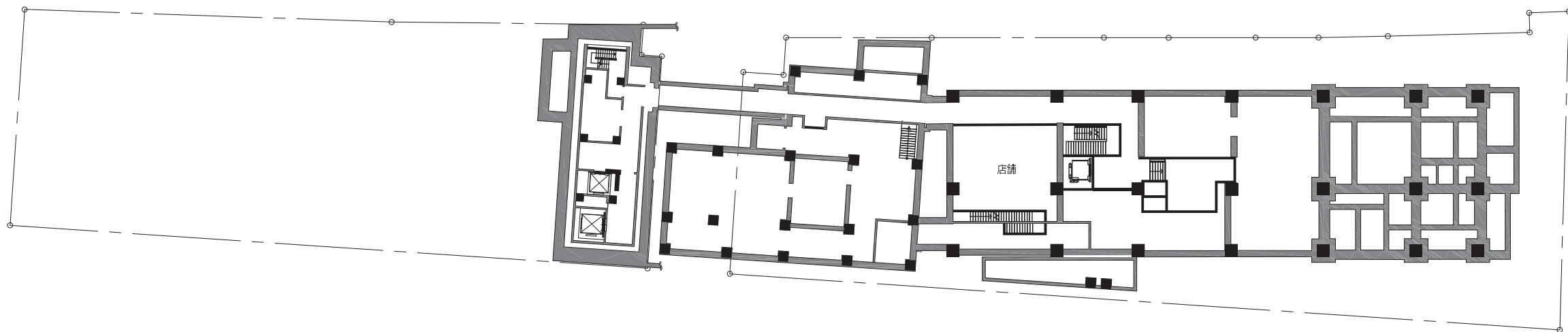




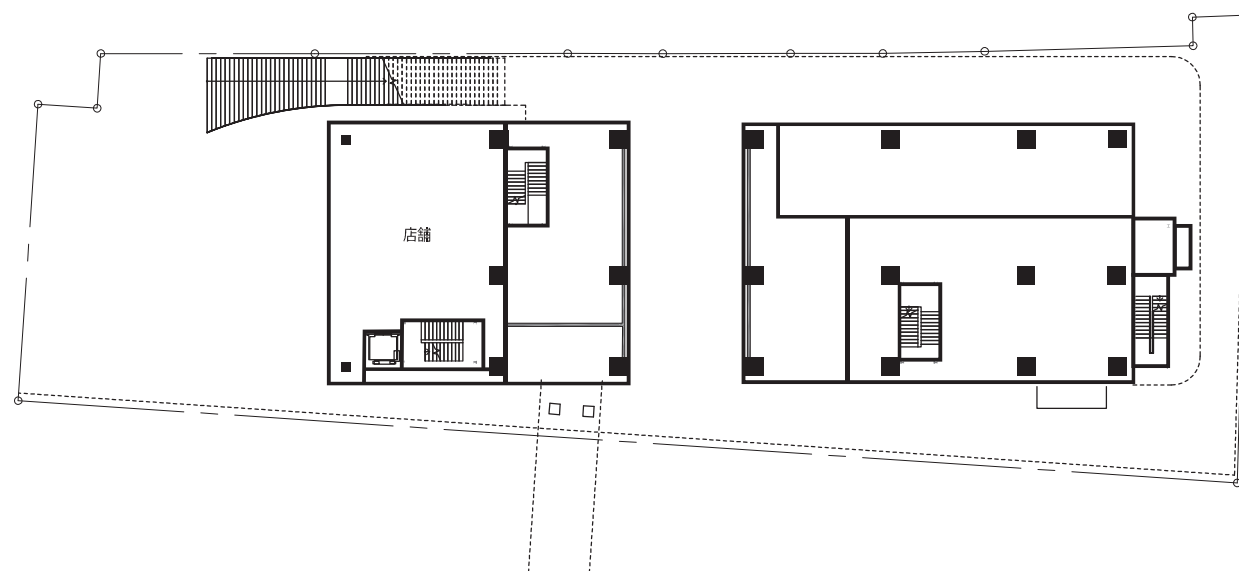
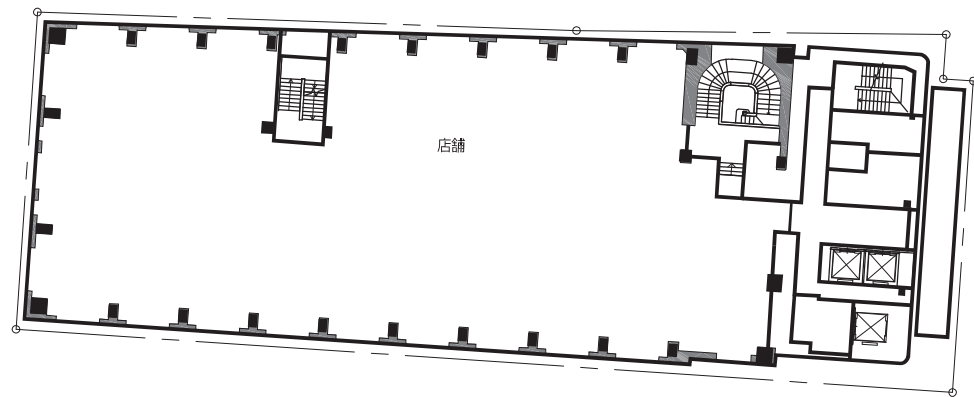
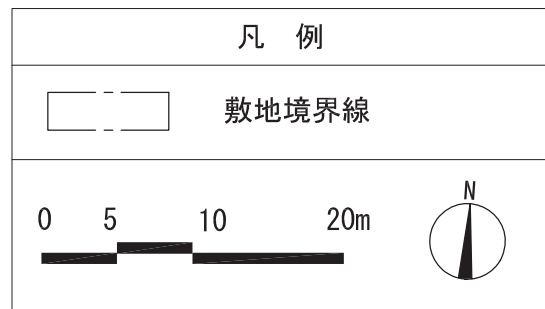
A街区コアPIT・B街区 B2階



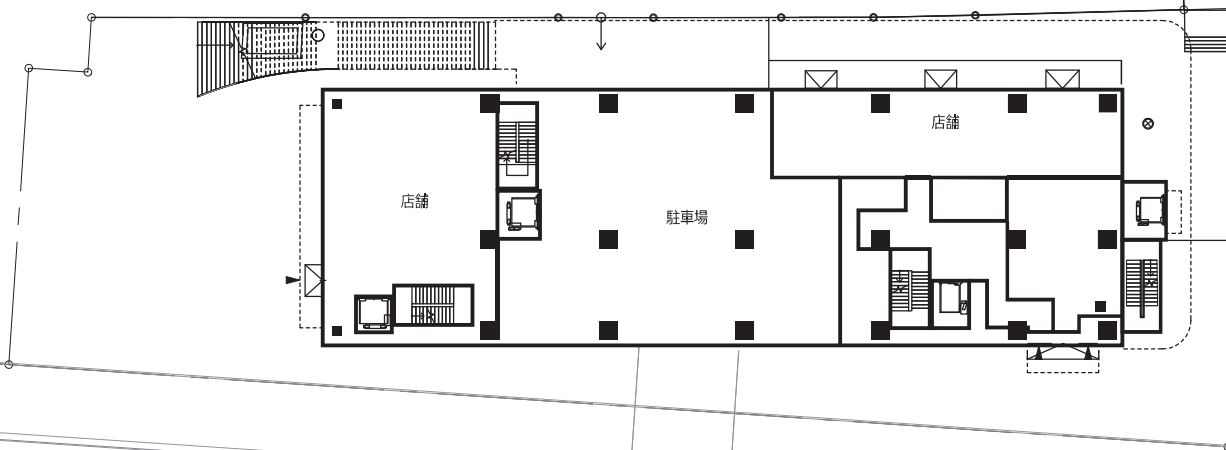
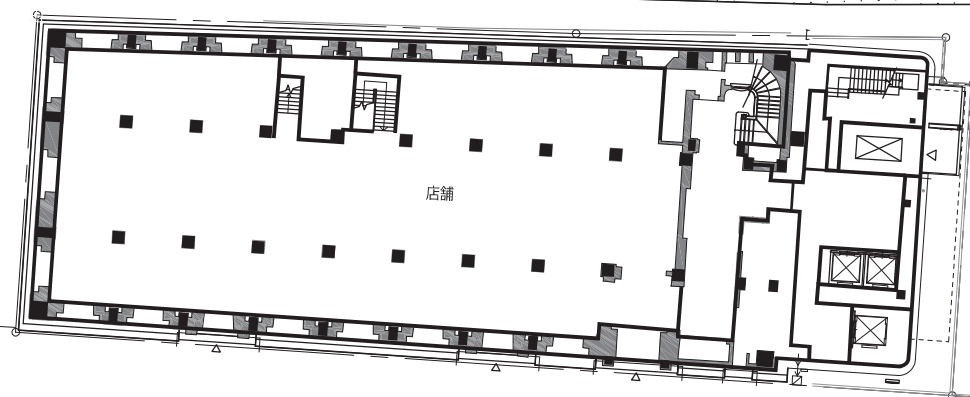
A街区 B1階・B街区 B1階(上部)



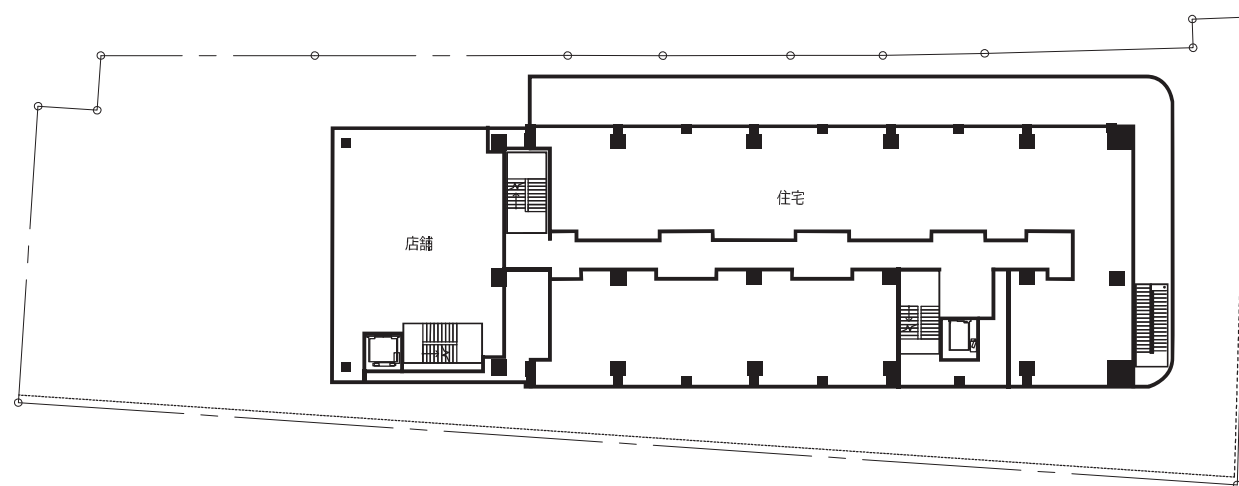
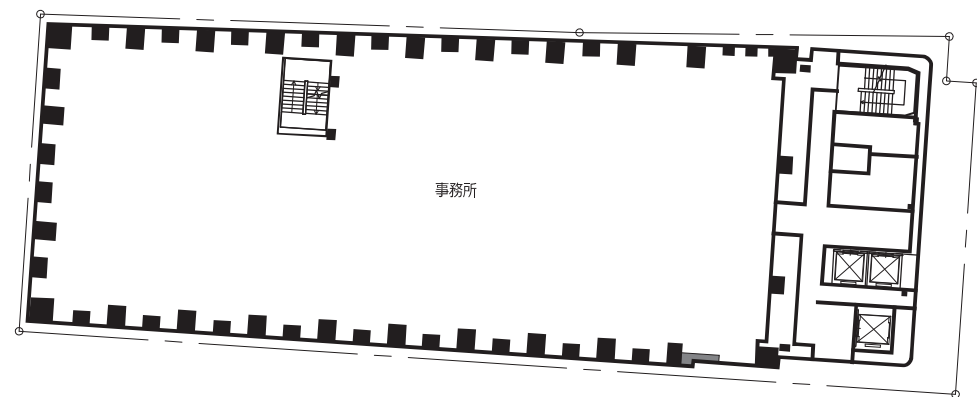
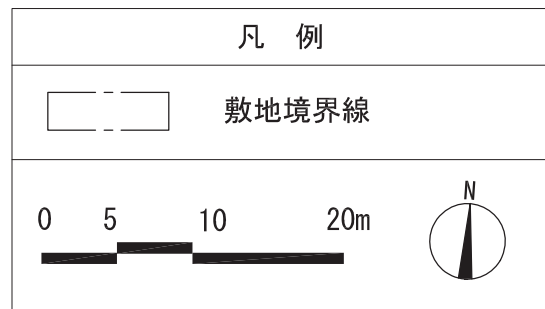
A街区 連絡通路階・B街区 B1階



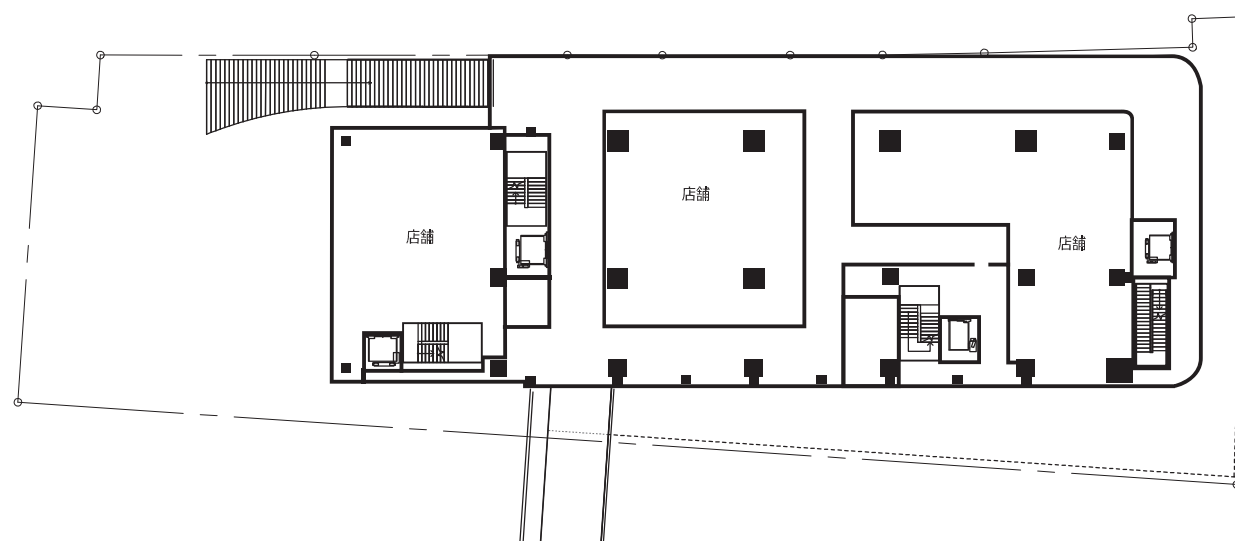
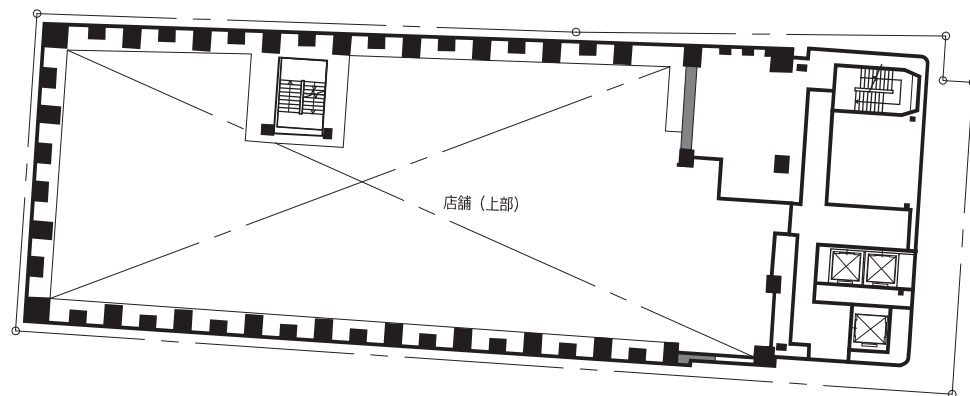
A街区 2階・B街区 2階



A街区 1階・B街区 1階



A街区 3階・B街区 4階



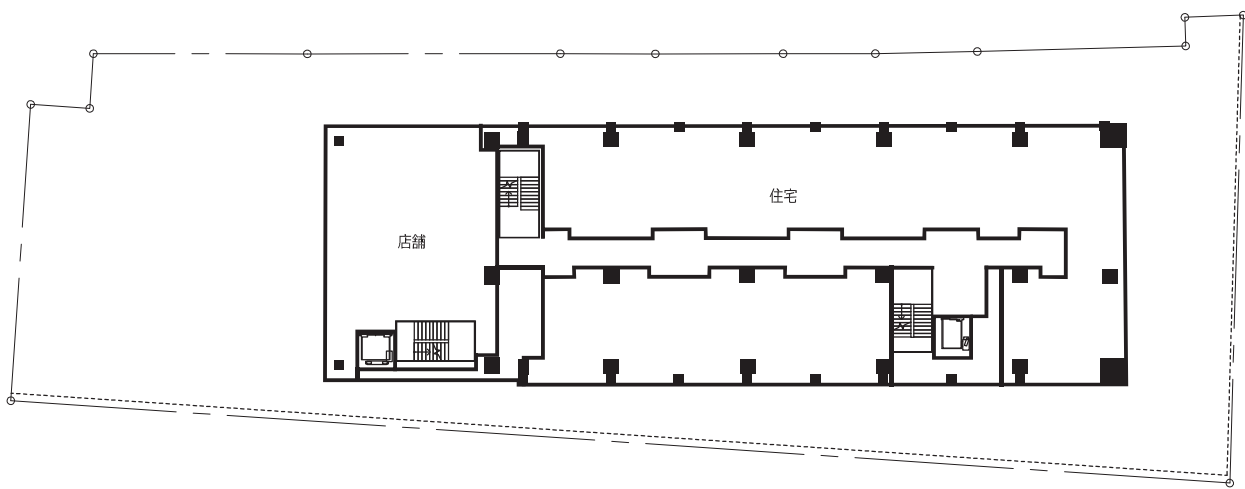
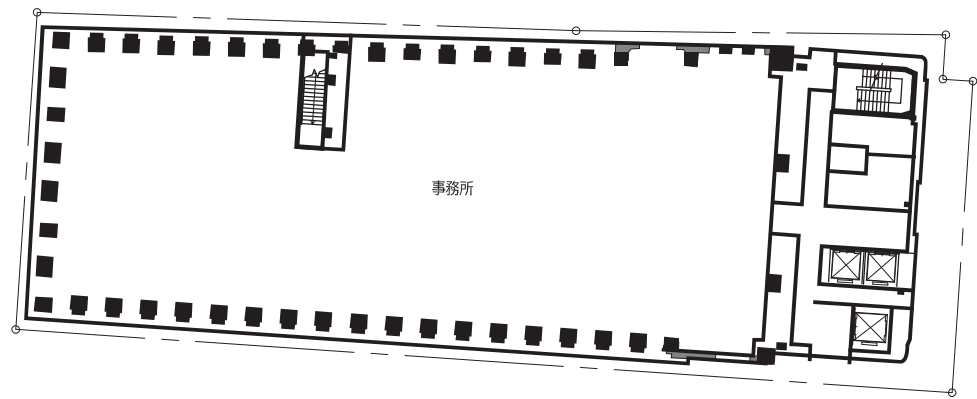
A街区 2階（上部）・B街区 3階

凡 例

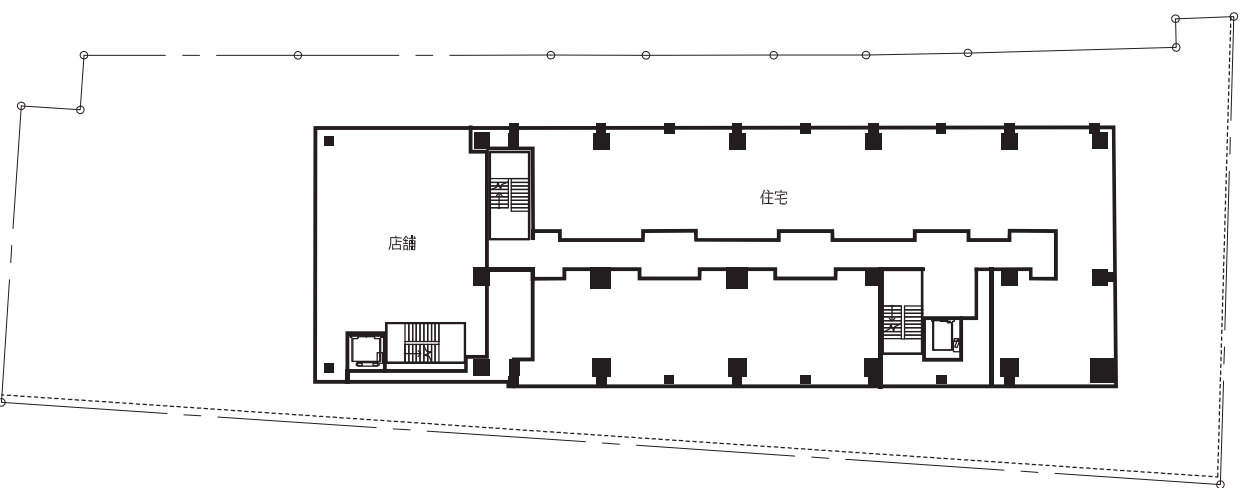
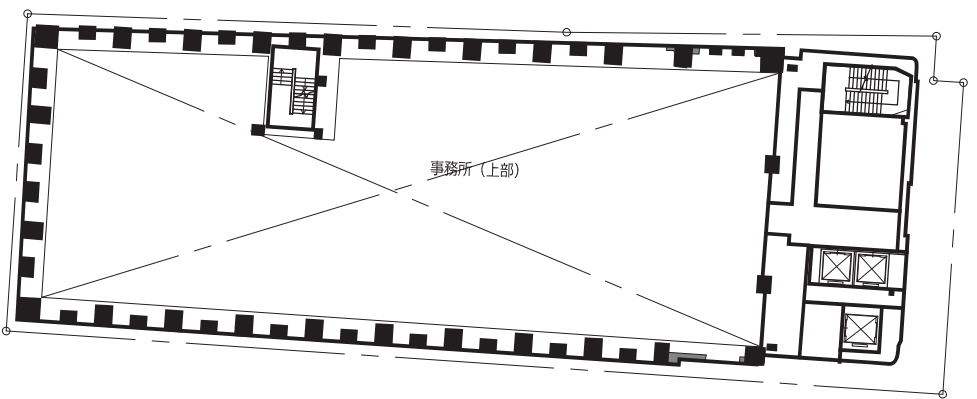
敷地境界線

051020m

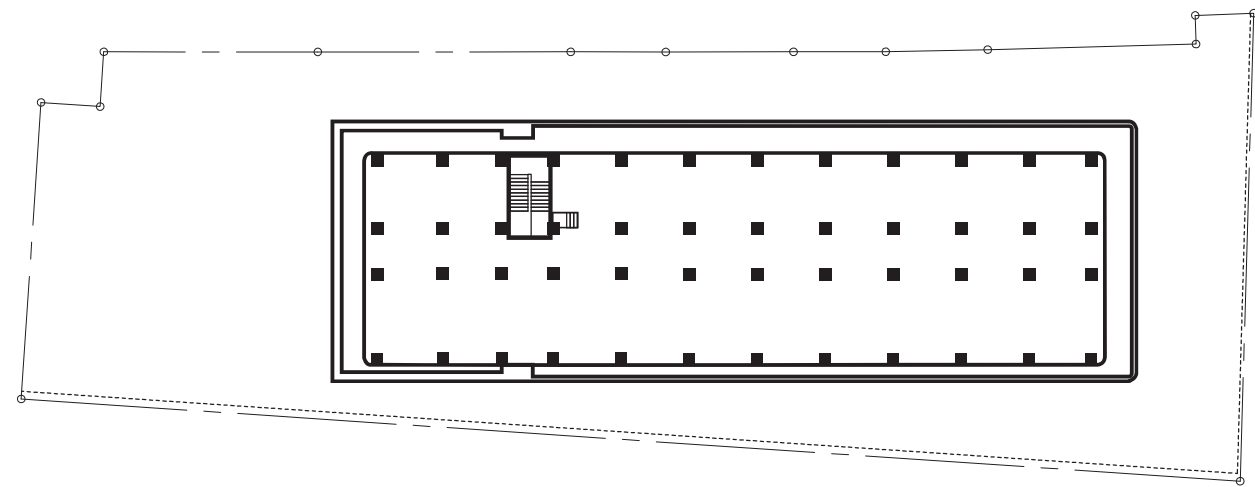
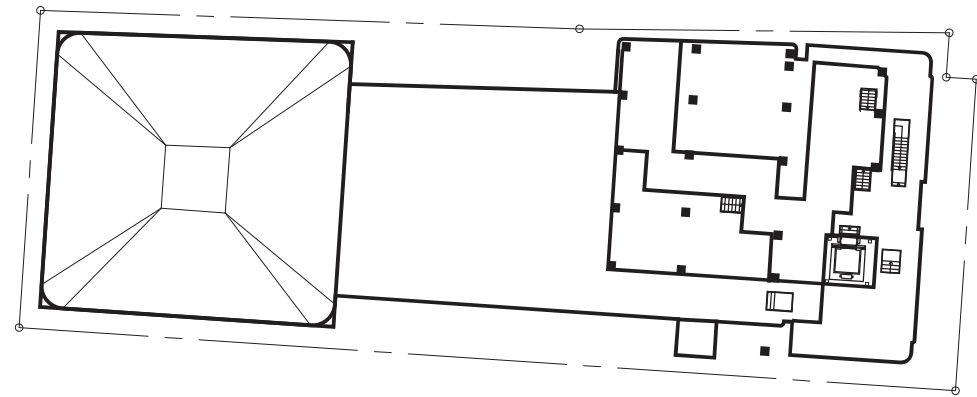
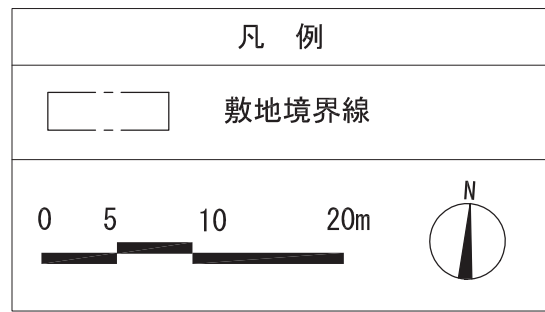
N



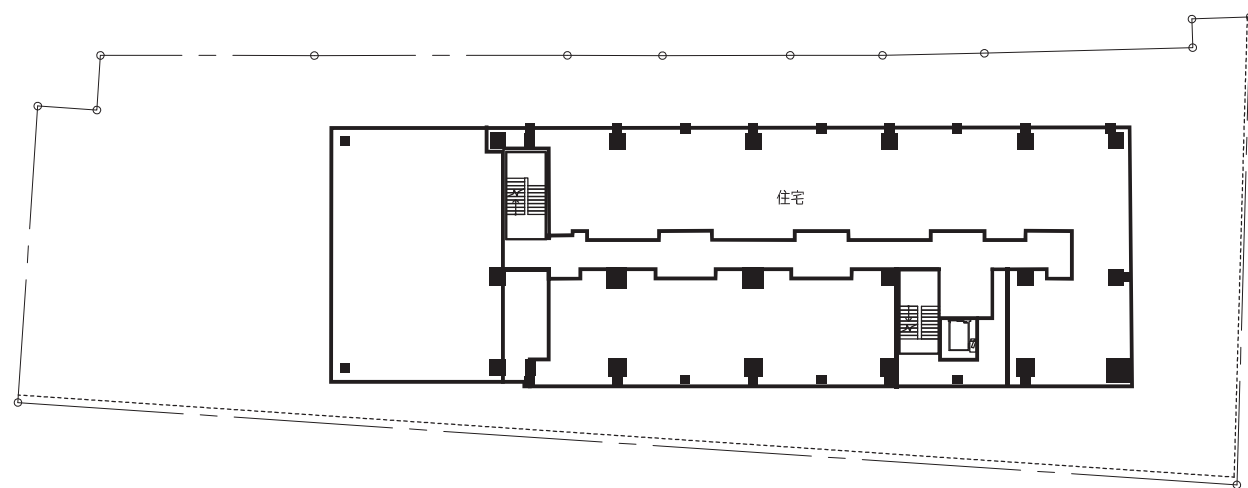
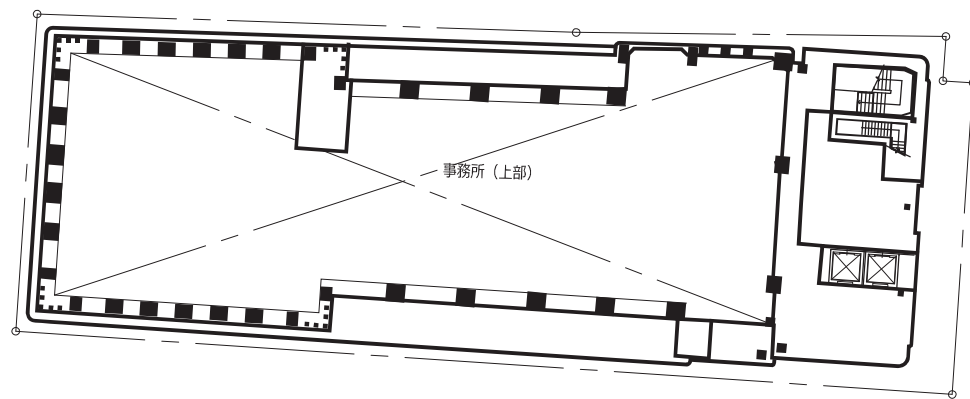
A街区 4階・B街区 6階



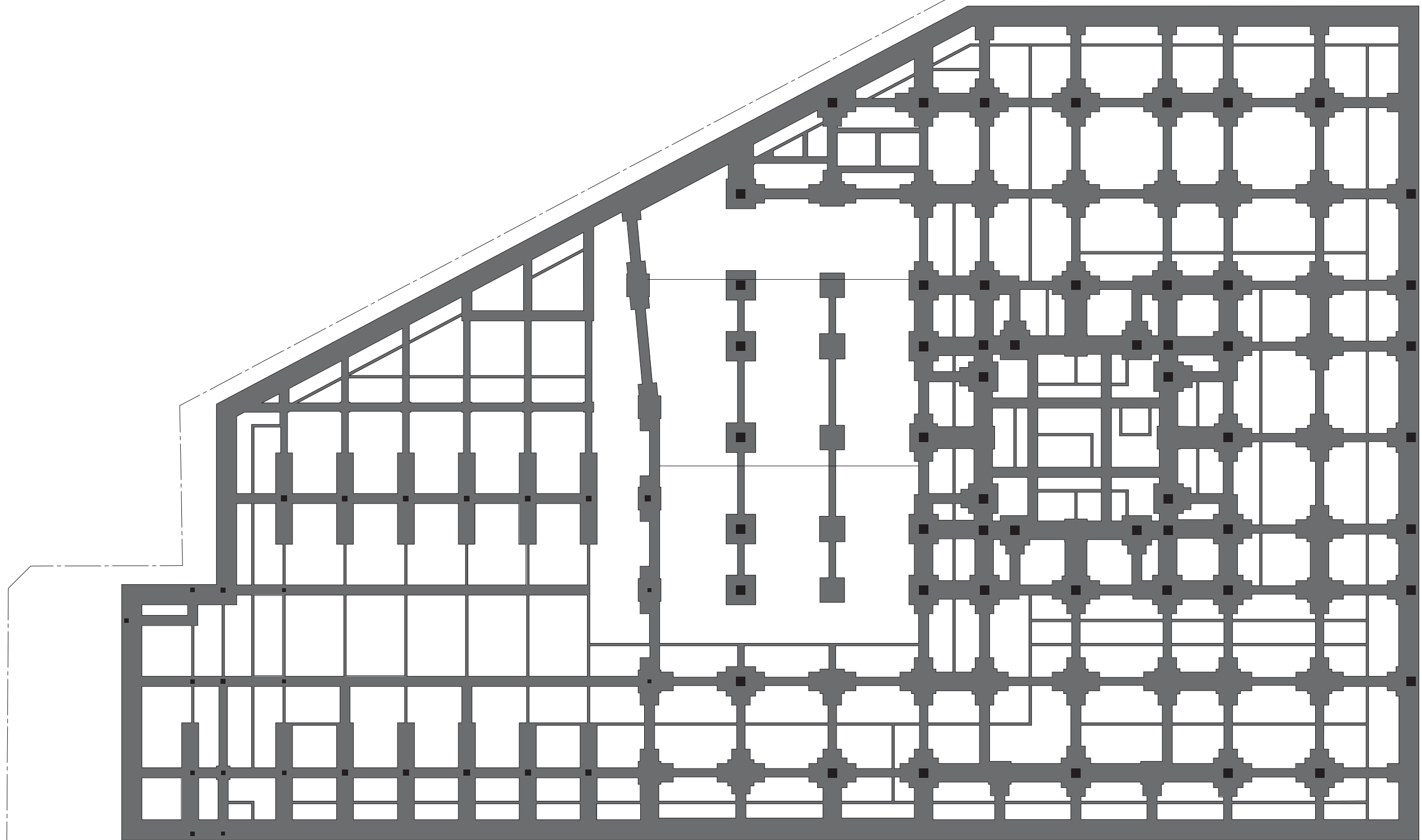
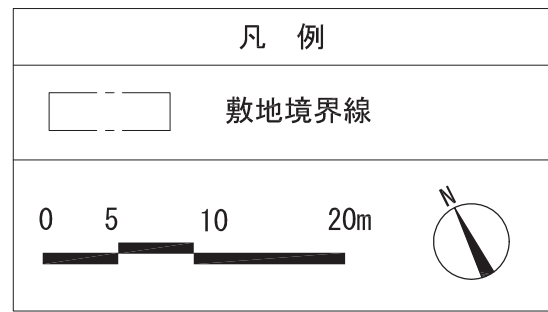
A街区 3階(上部)・B街区 5階

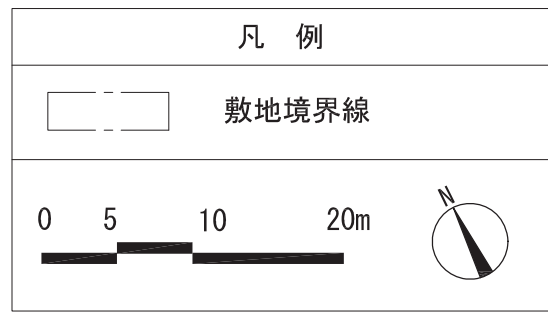


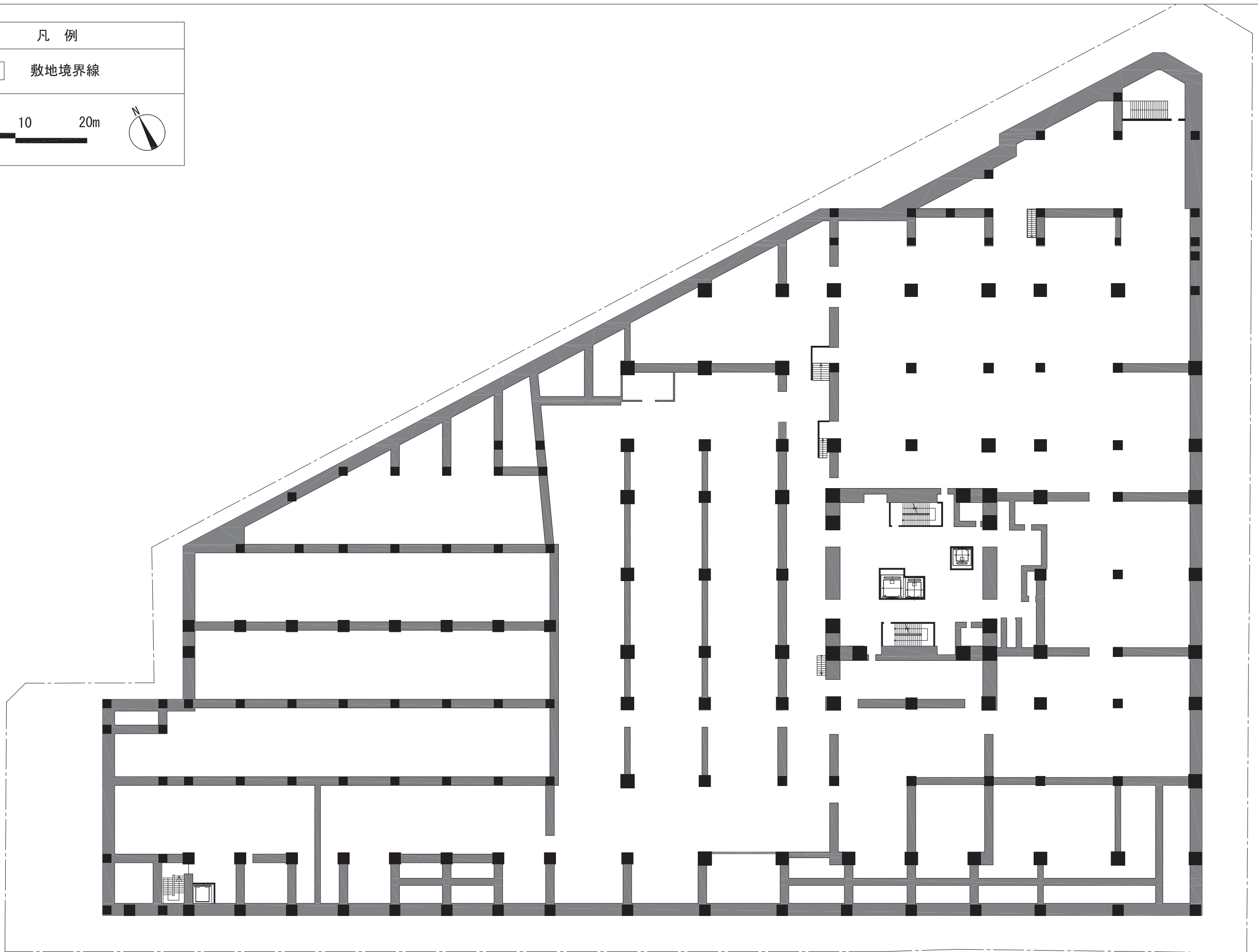
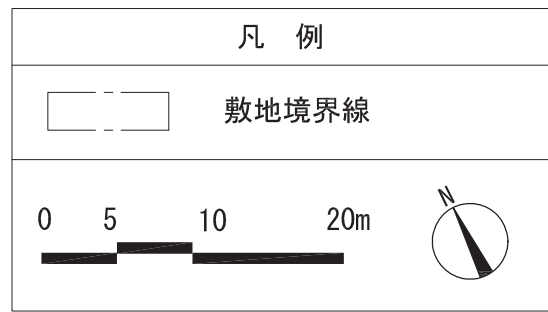
A街区 R階・B街区 R階



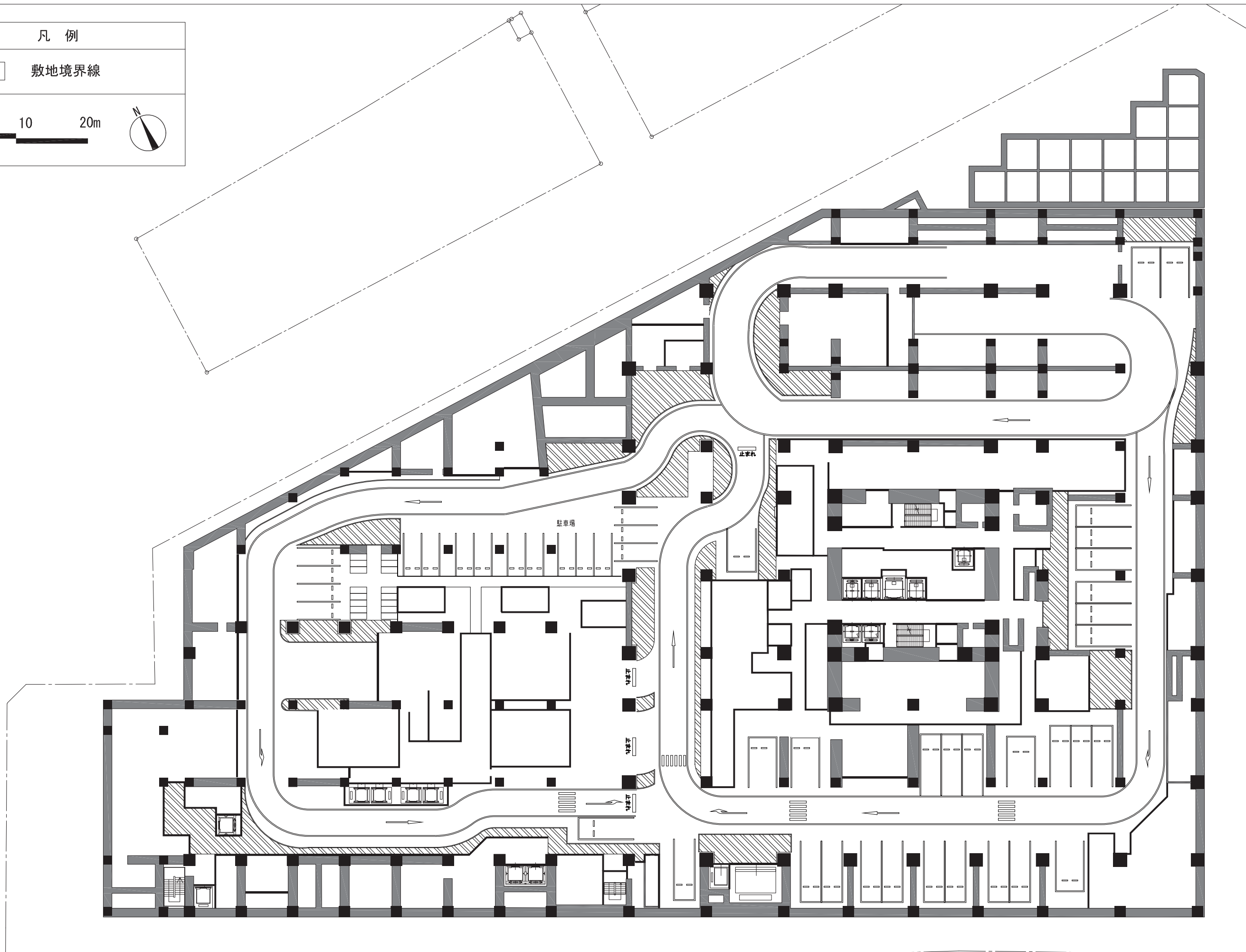
A街区 4階(上部)・B街区 7階

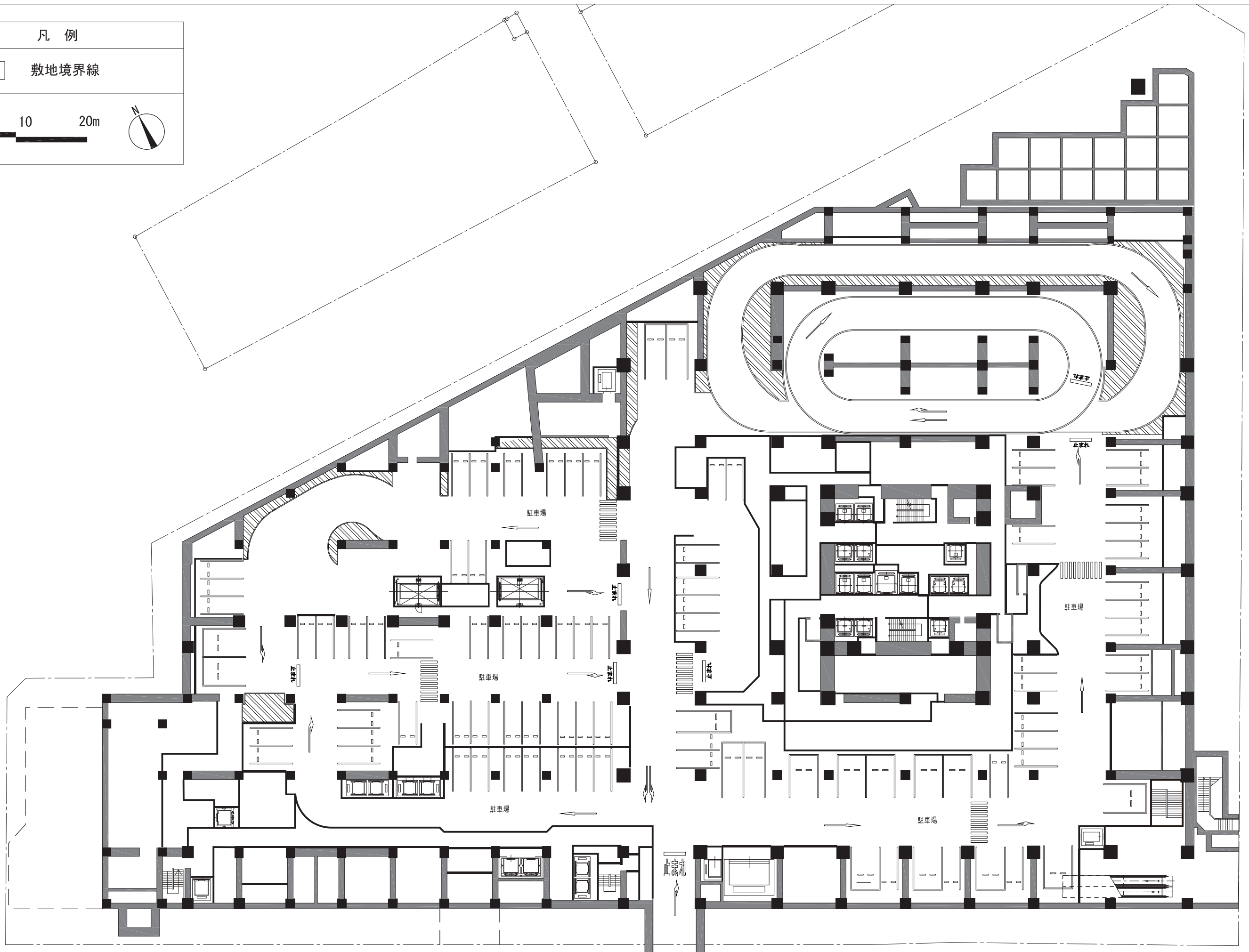
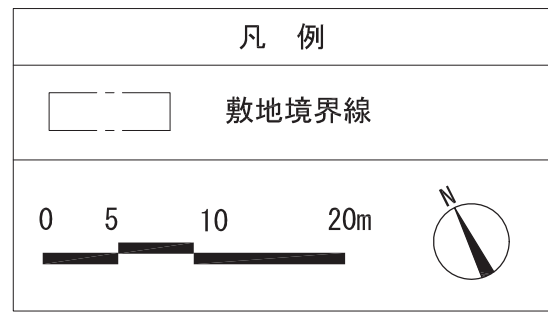


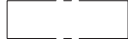


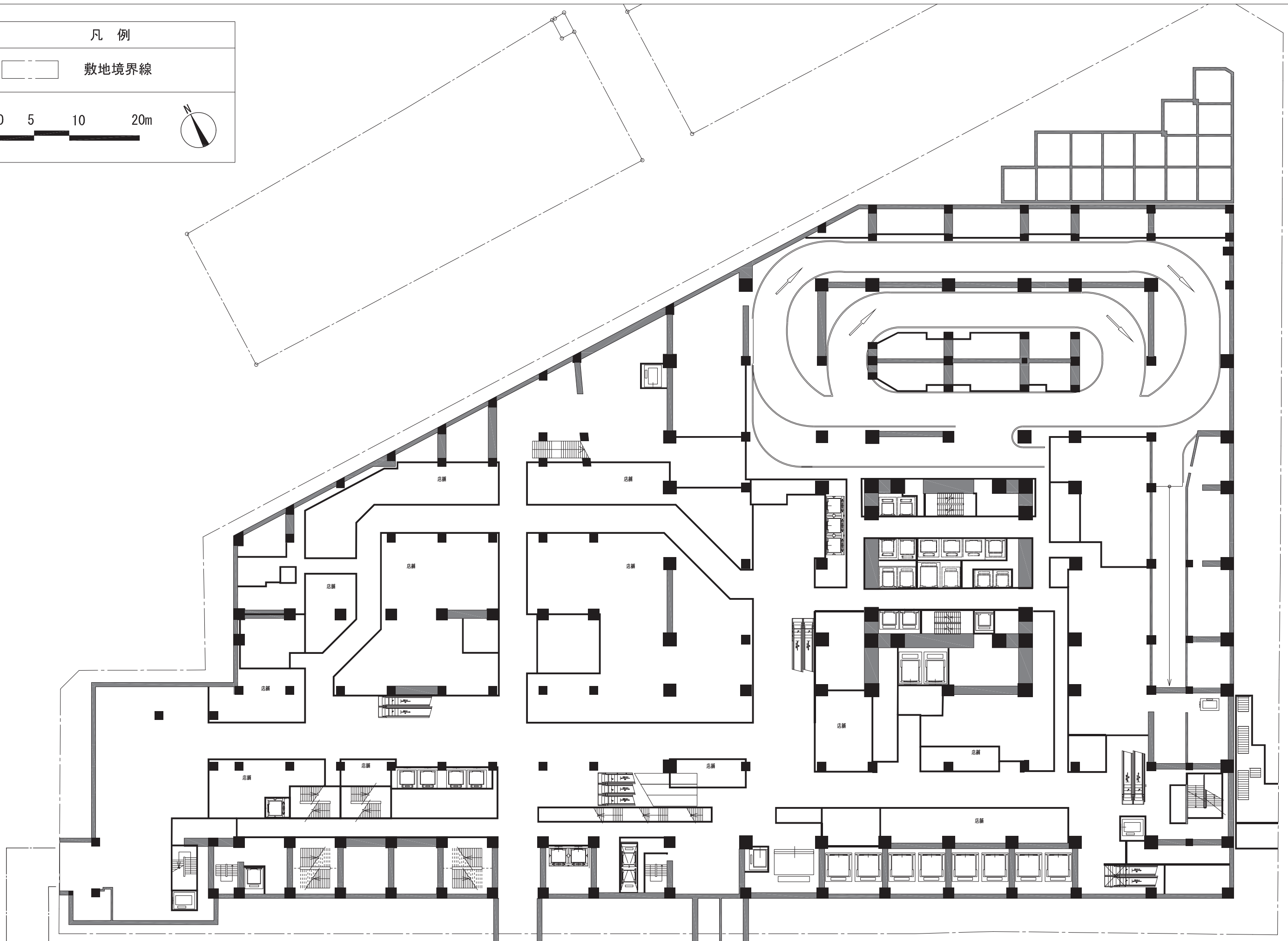


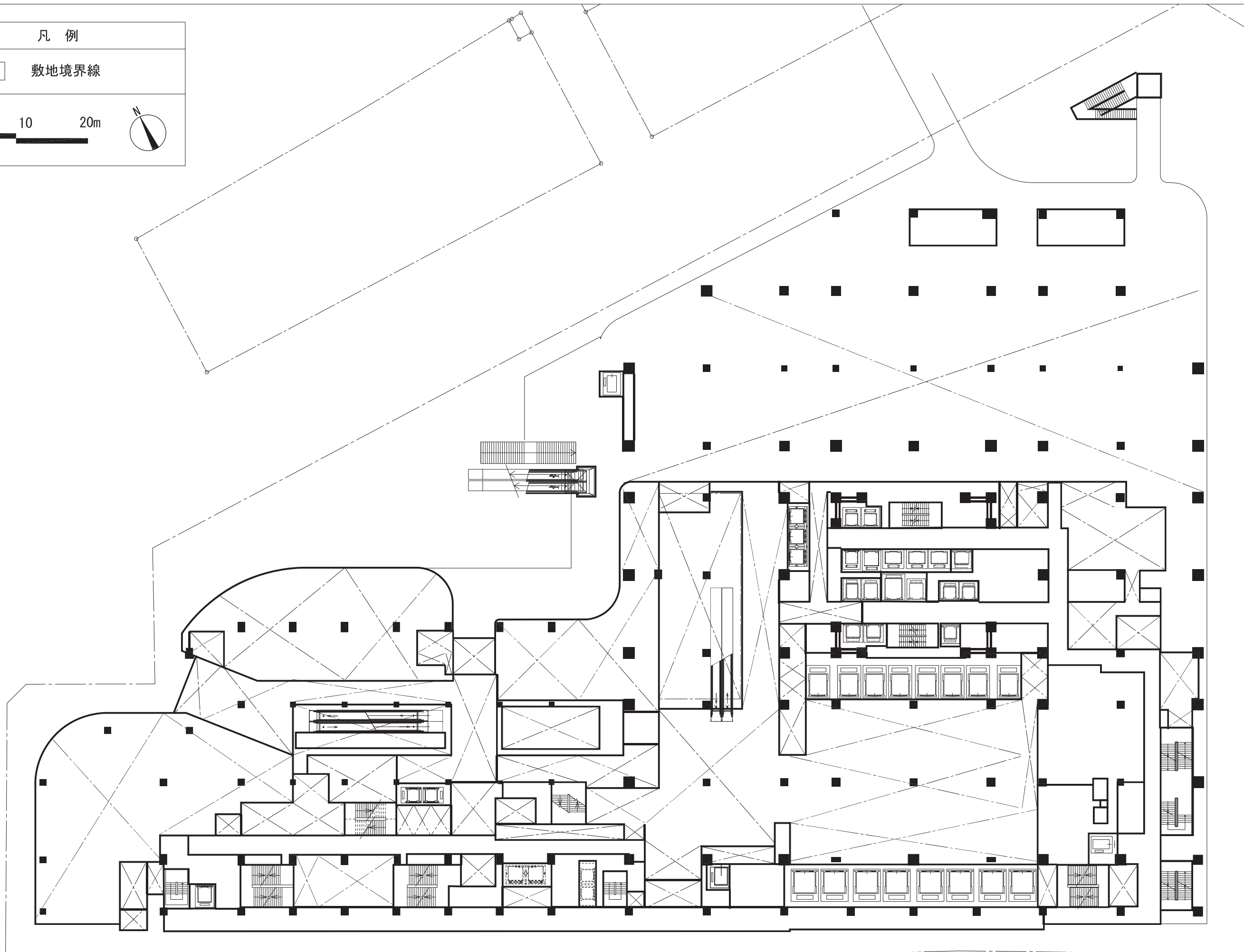
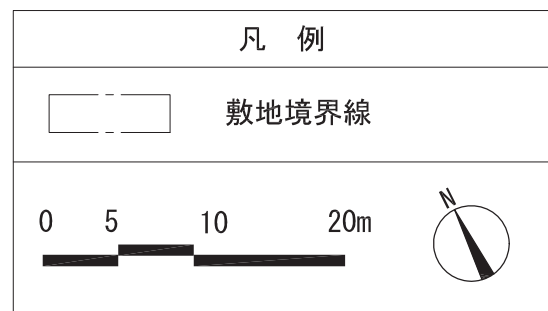
凡 例	
	敷地境界線
0 5 10 20m 	

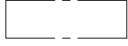


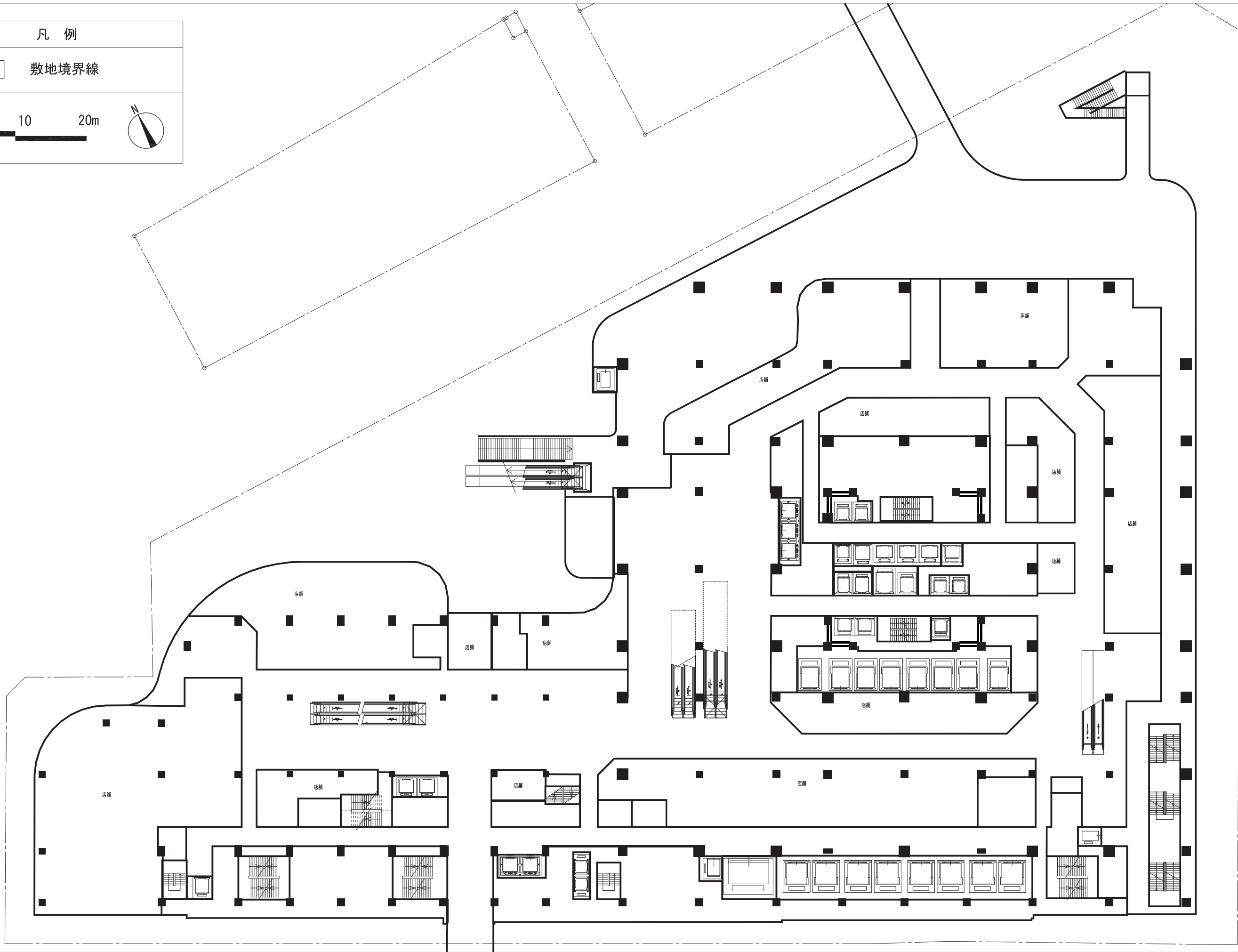


凡 例	
	敷地境界線
0 5 10 20m 	





凡 例	
	敷地境界線
0 5 10 20m 	

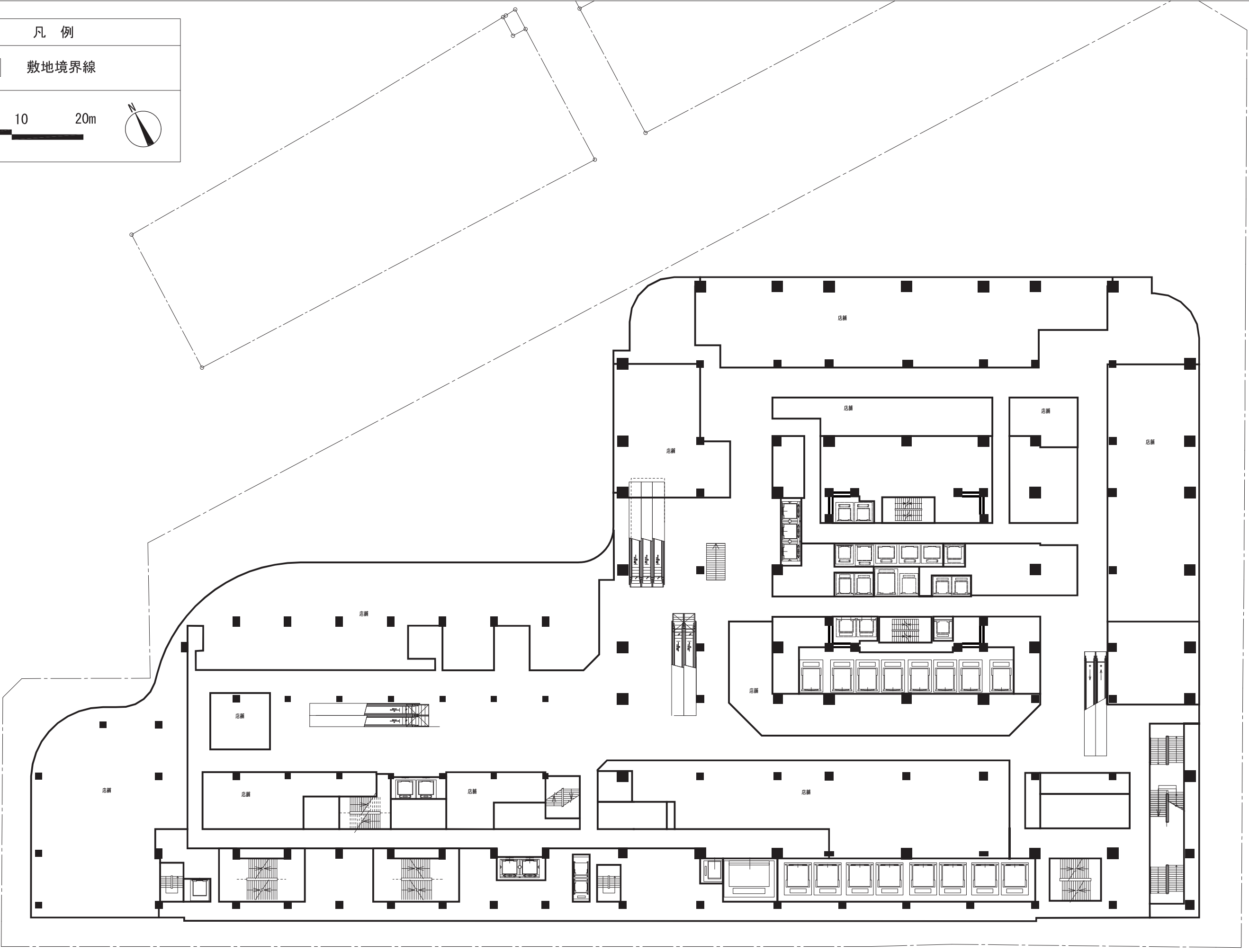


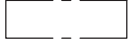
凡 例

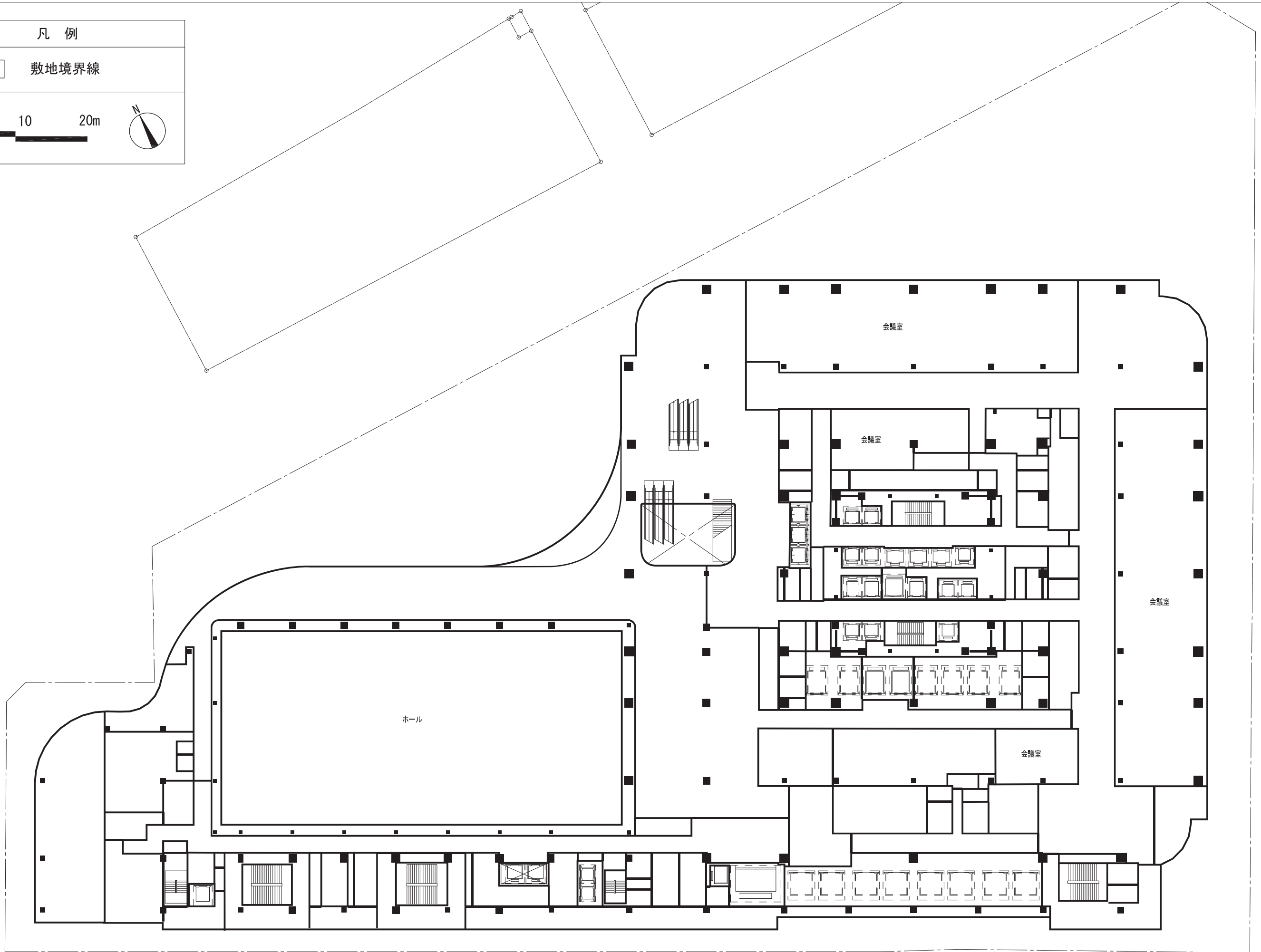
敷地境界線

051020m

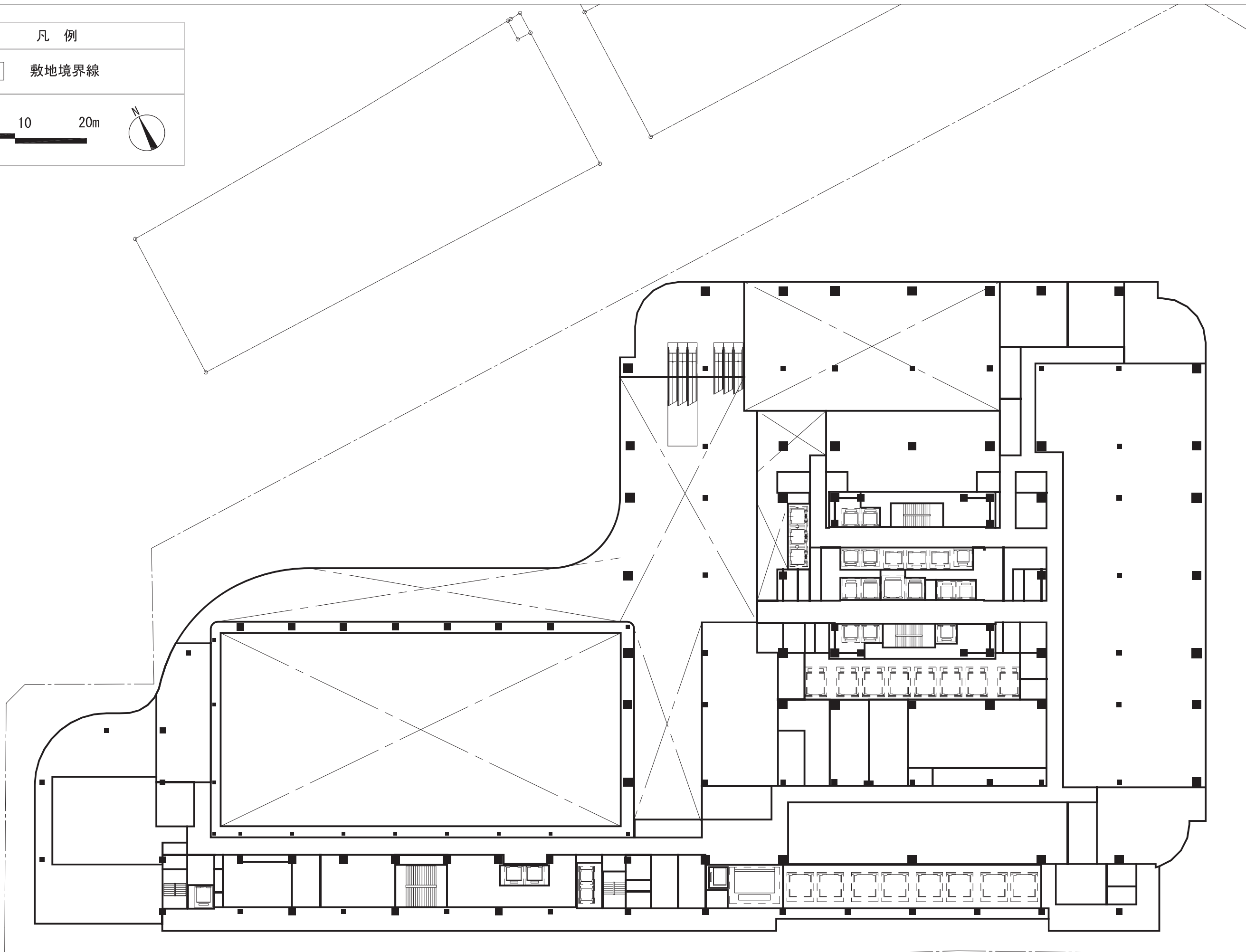
N



凡 例	
	敷地境界線
0 5 10 20m	
	



凡 例	
	敷地境界線
0 5 10 20m 	

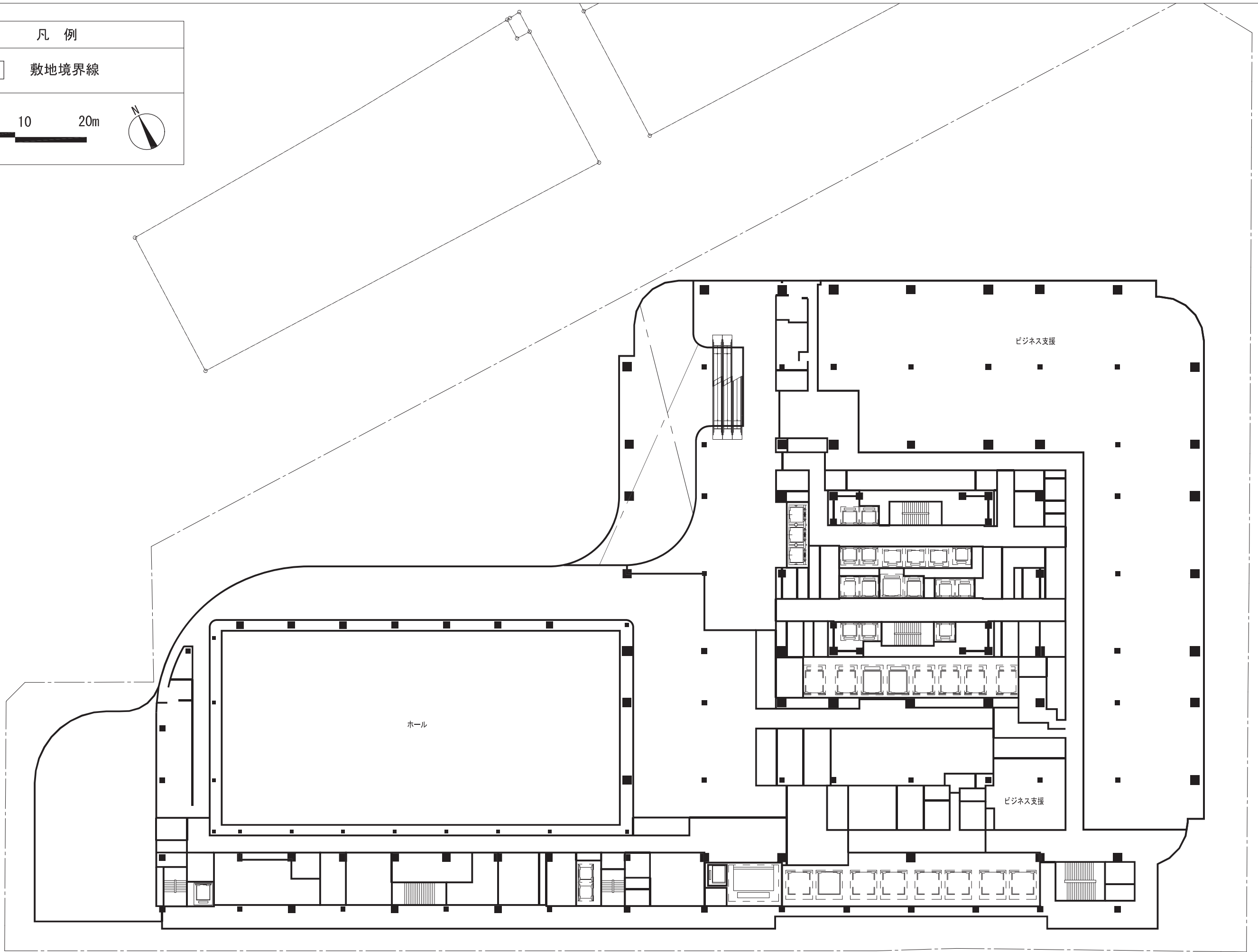


凡 例

敷地境界線

0 5 10 20m

N

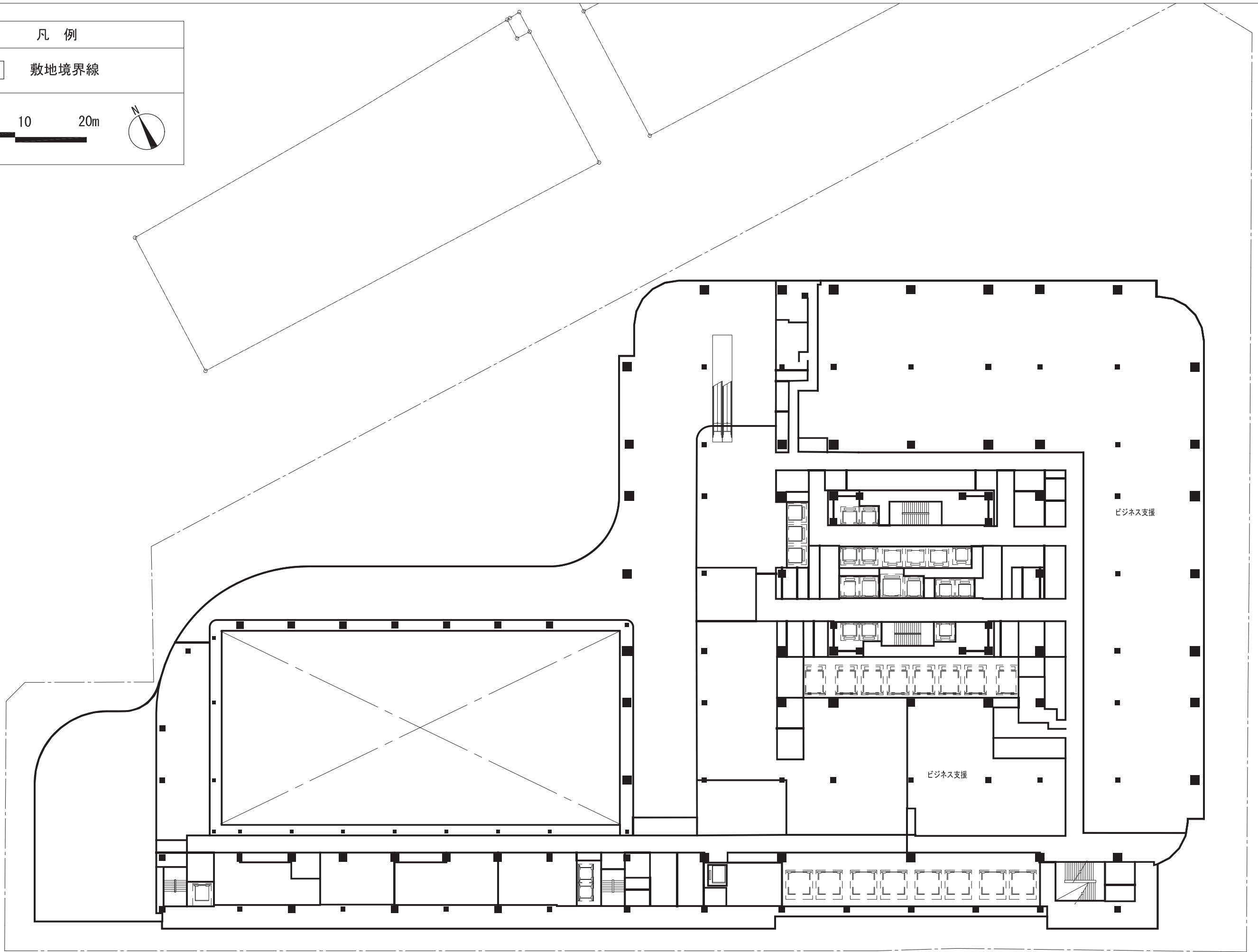


凡 例

敷地境界線

051020m

N

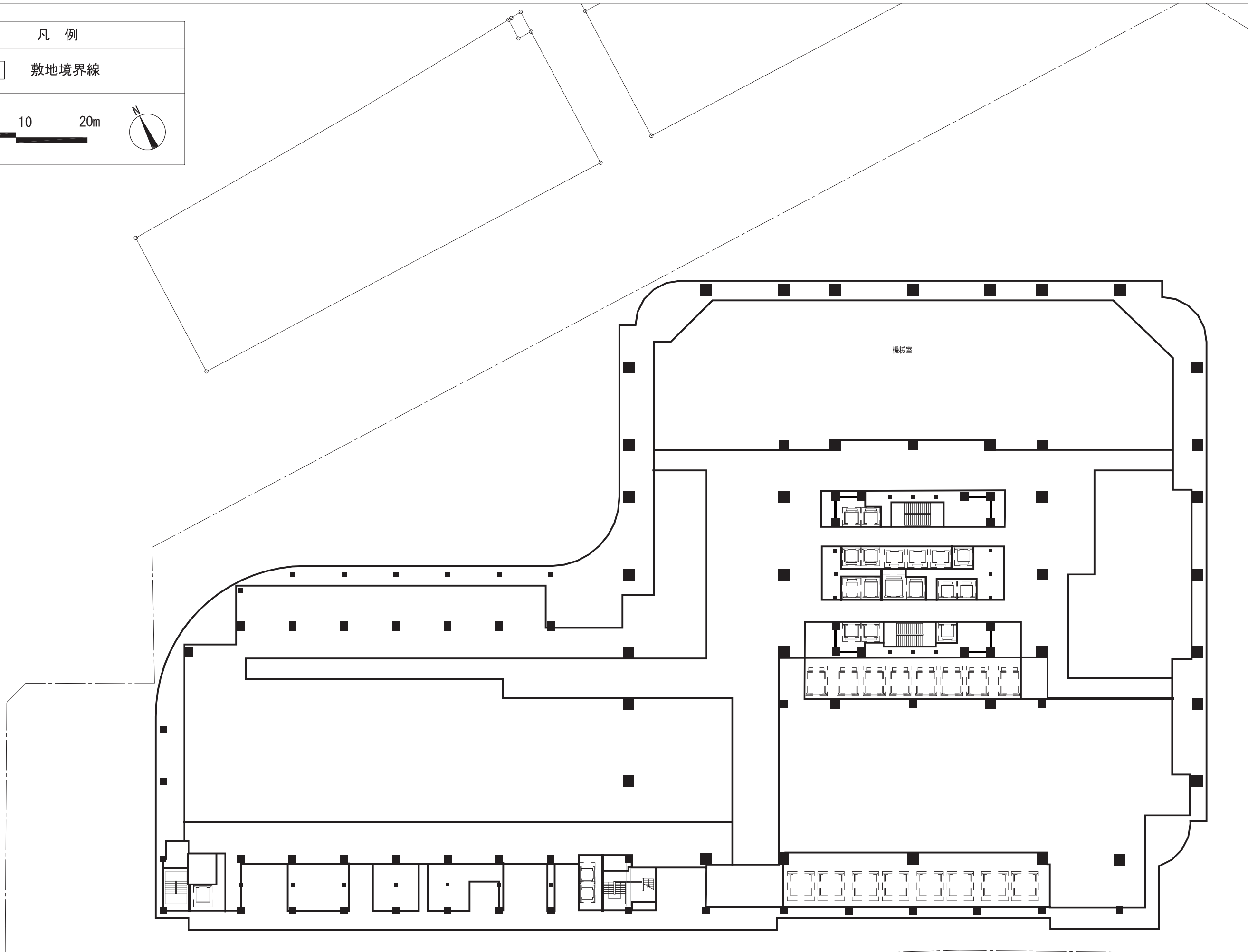


凡 例

敷地境界線

051020m

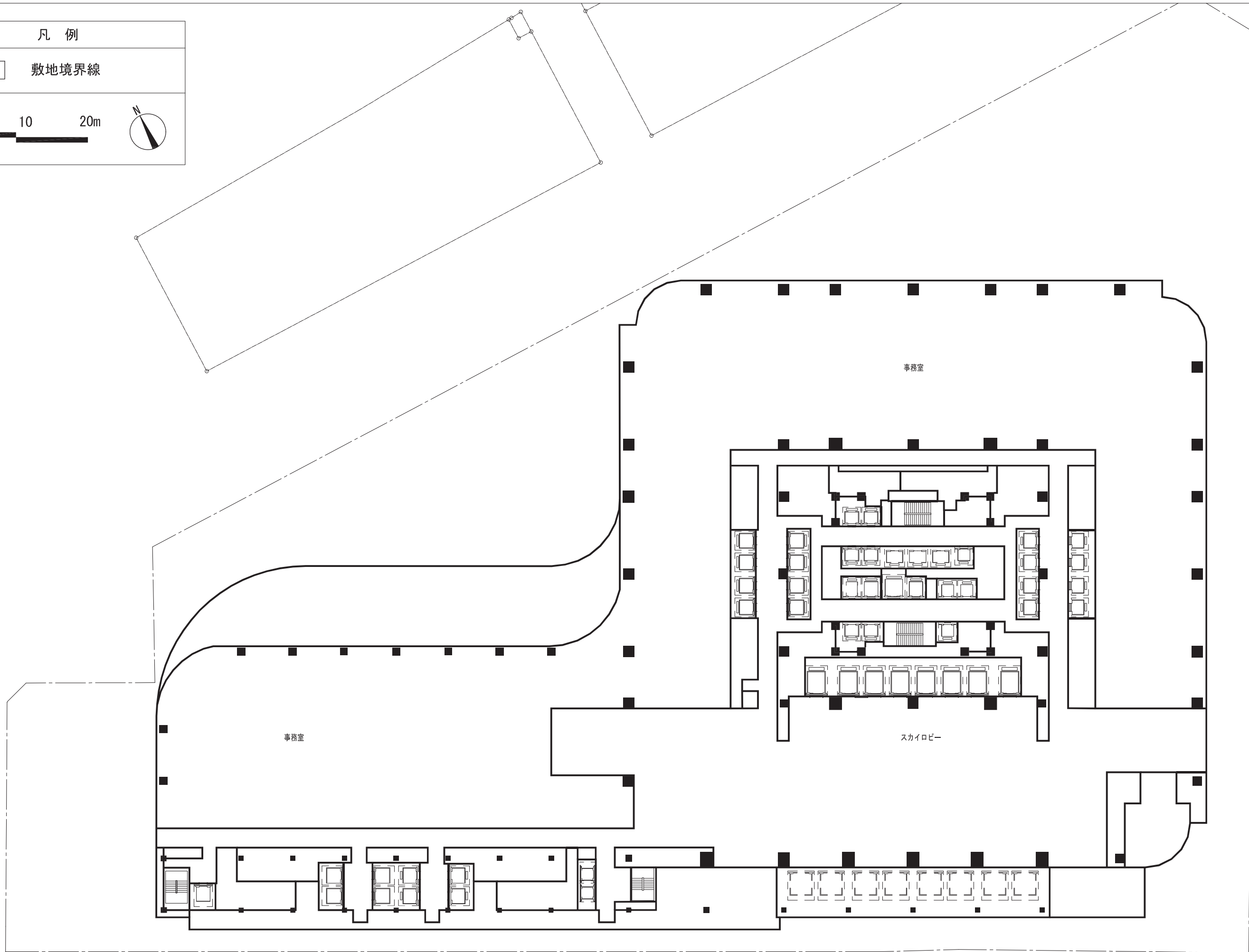
N



凡 例

敷地境界線

051020m

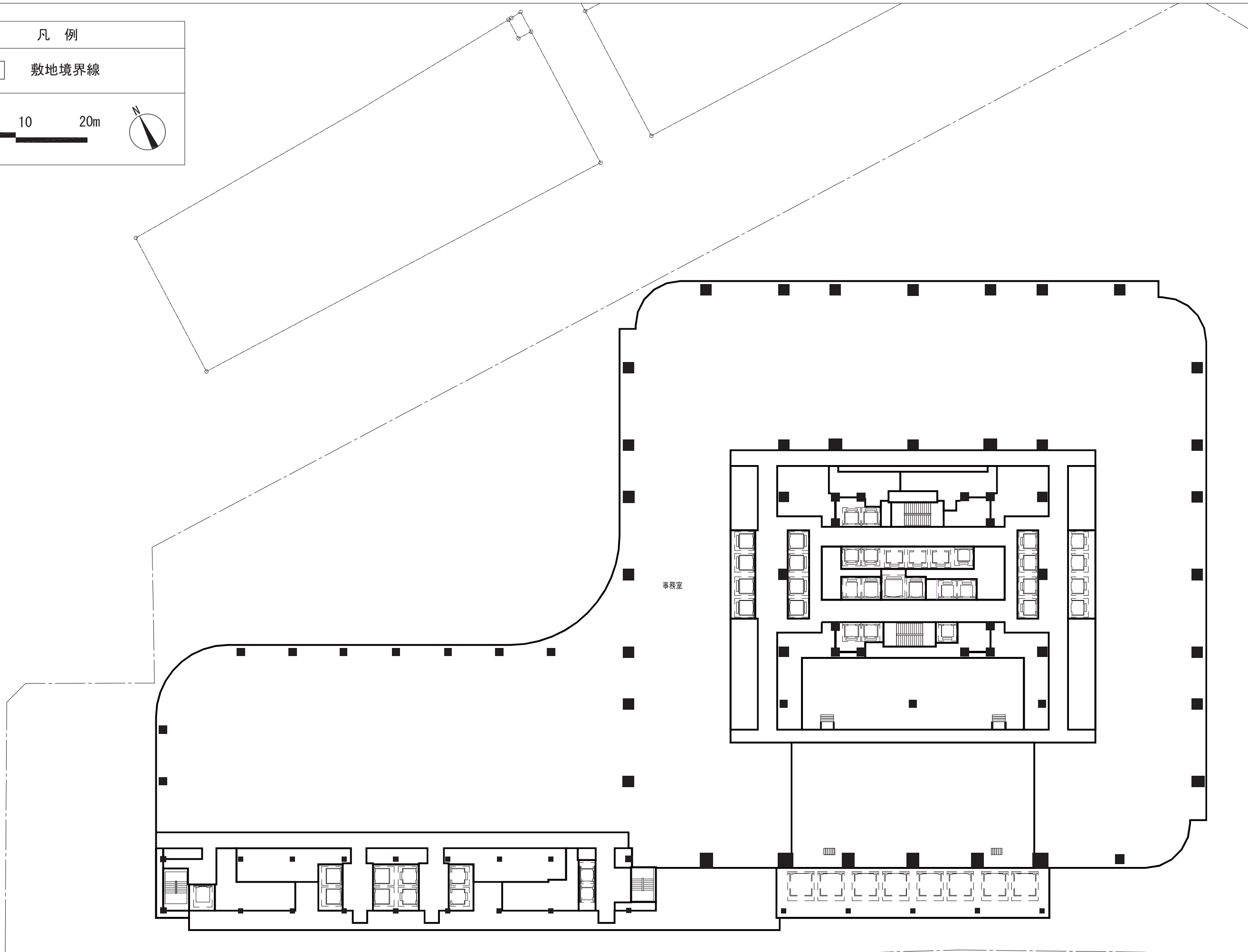


凡 例

敷地境界線

051020m

N

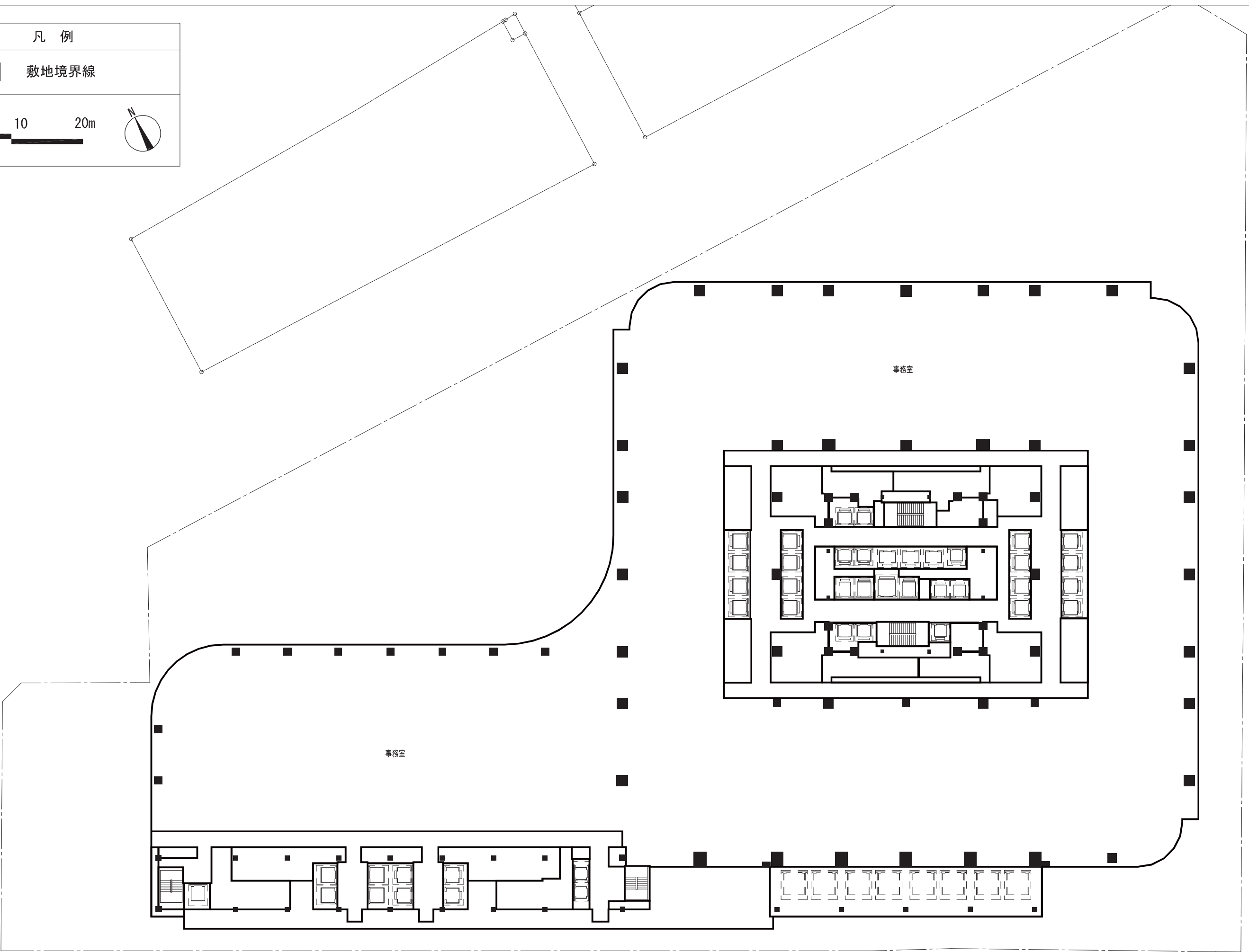


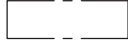
凡 例

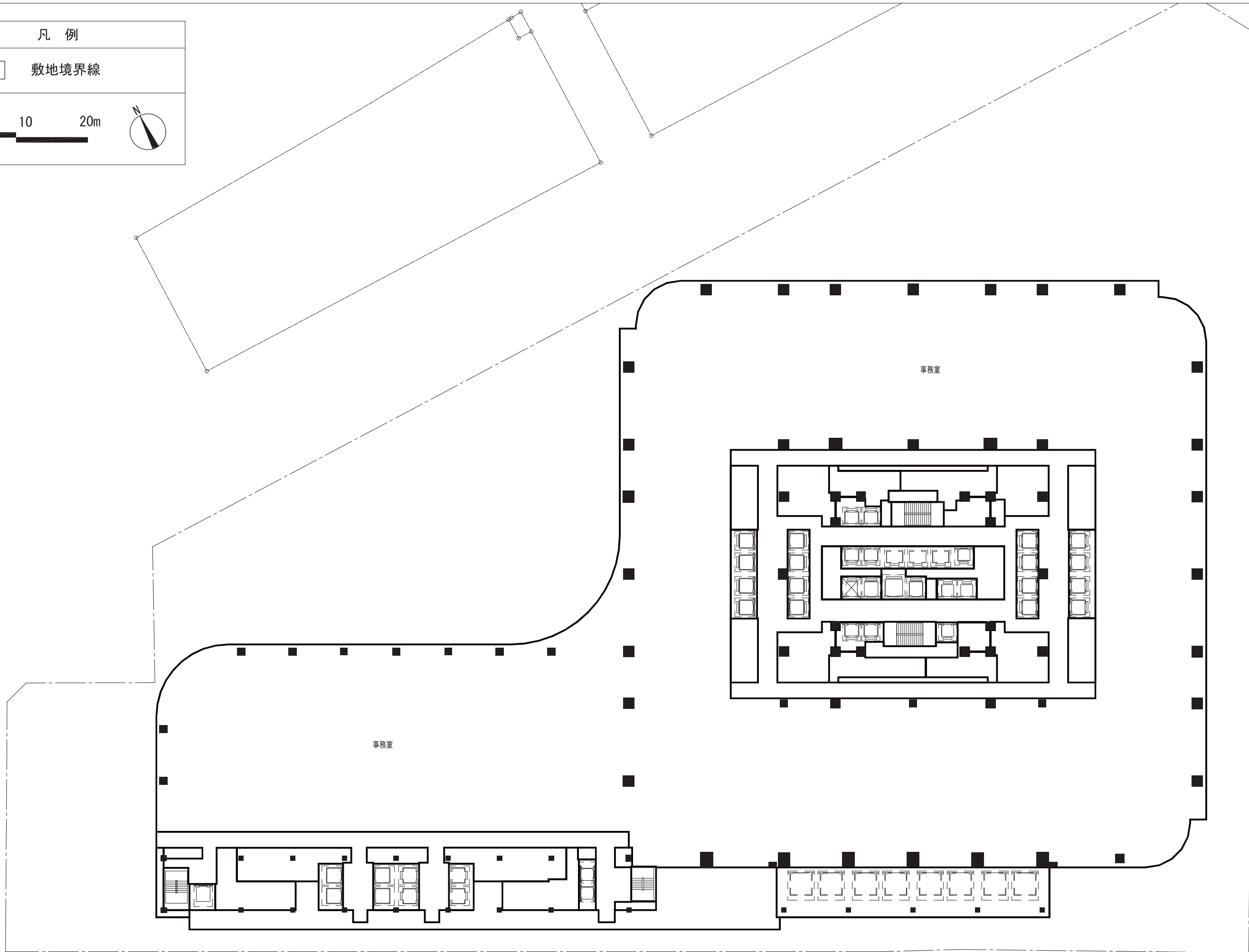
敷地境界線

051020m

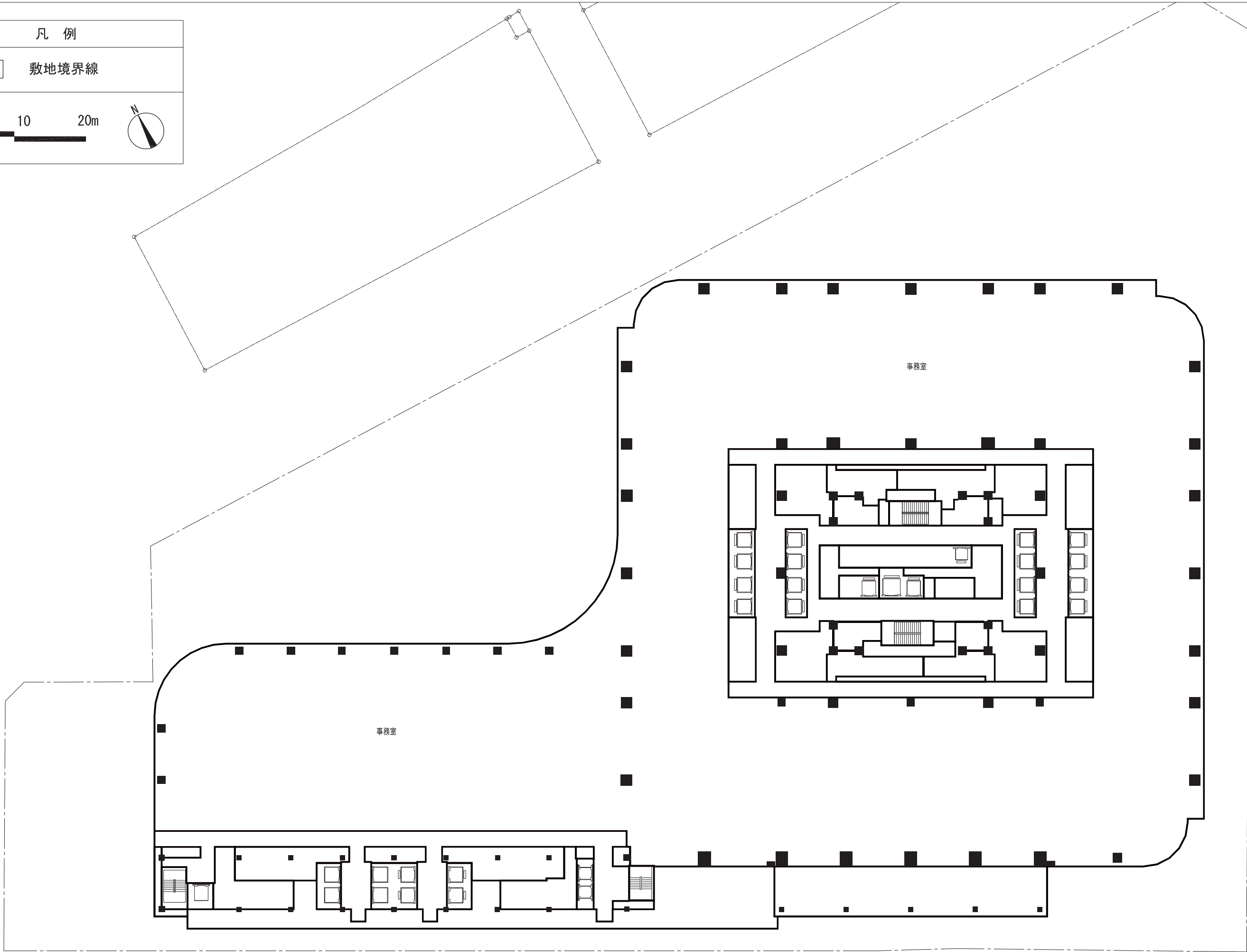
N



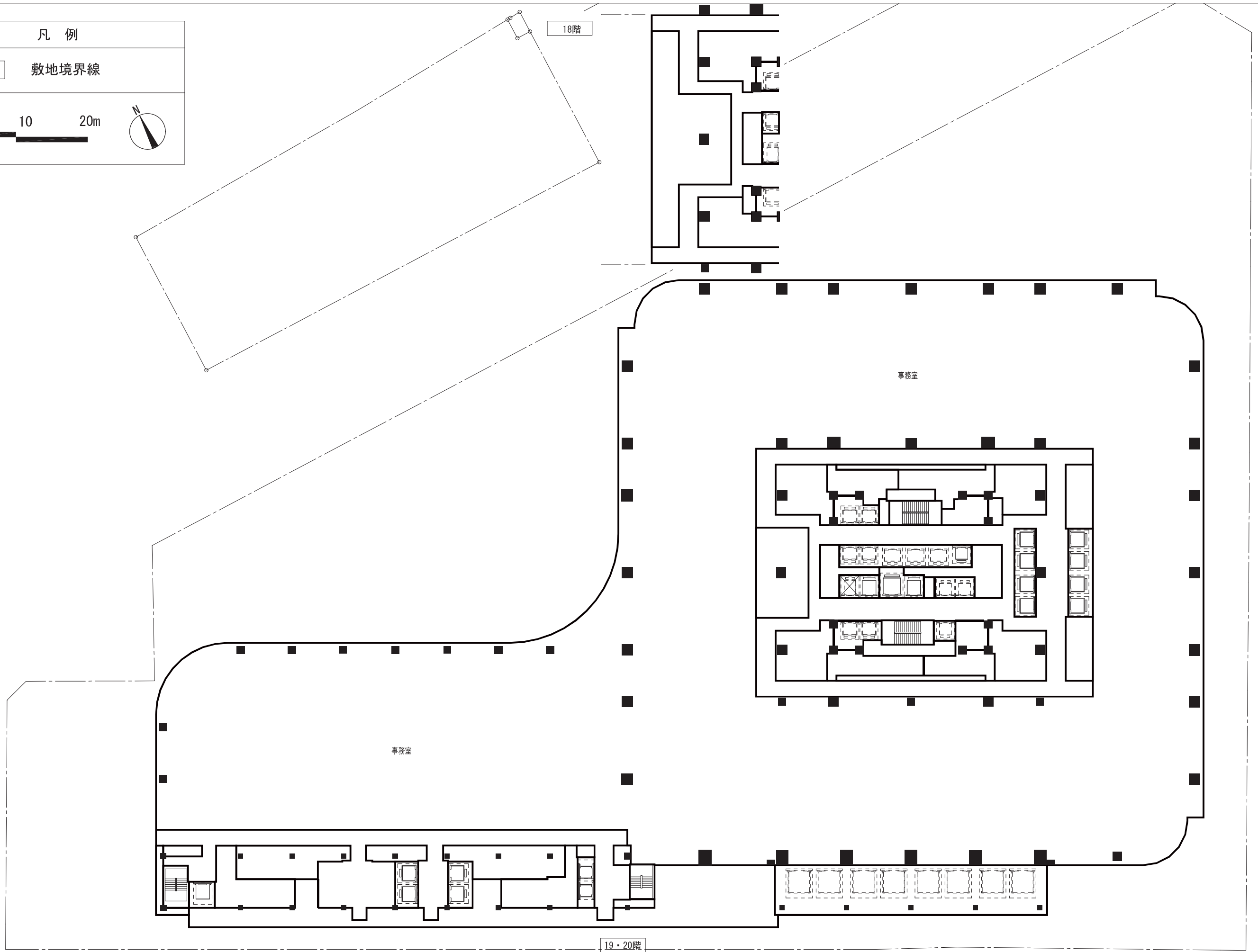
凡 例	
	敷地境界線
0 5 10 20m 	

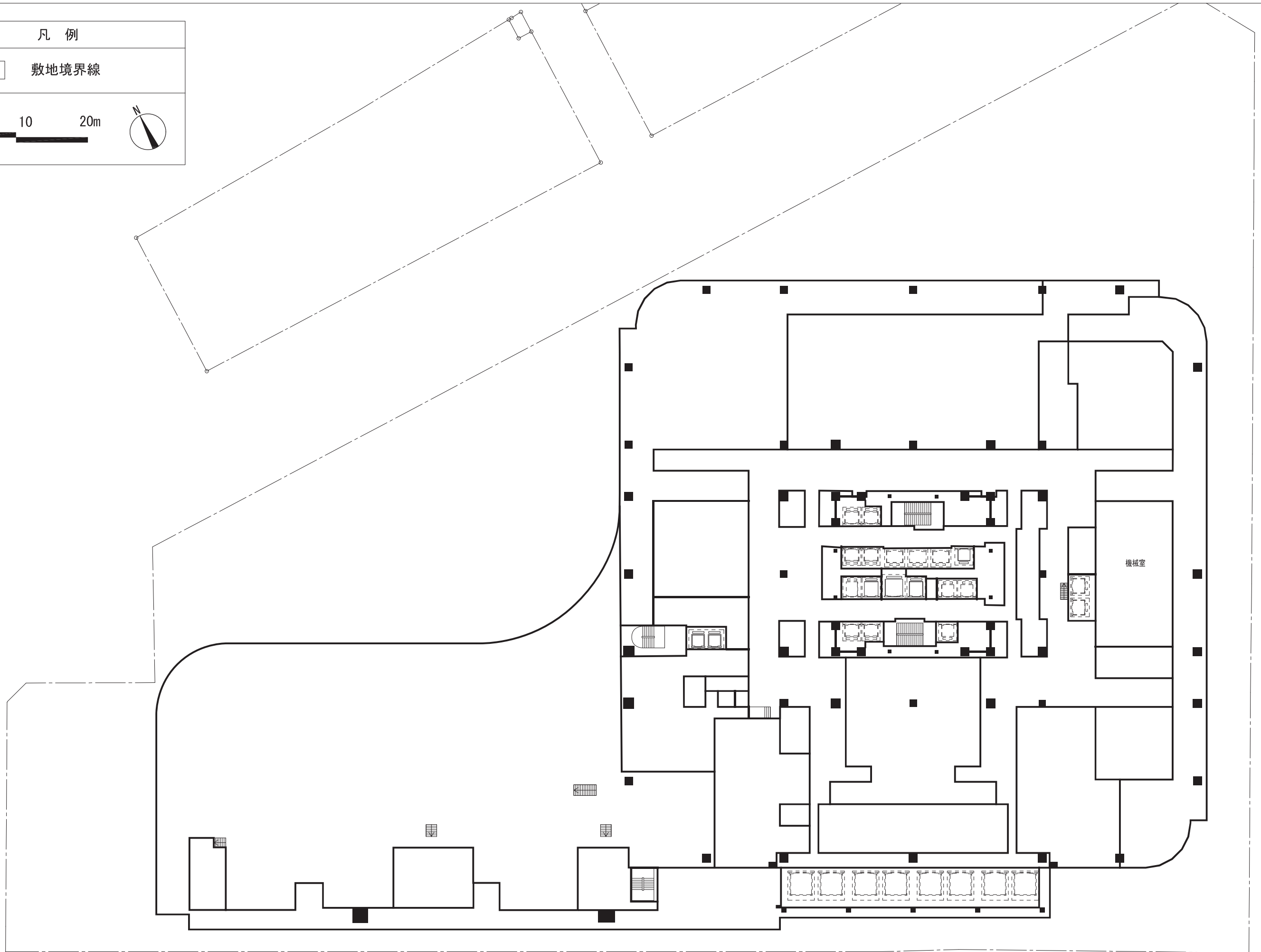
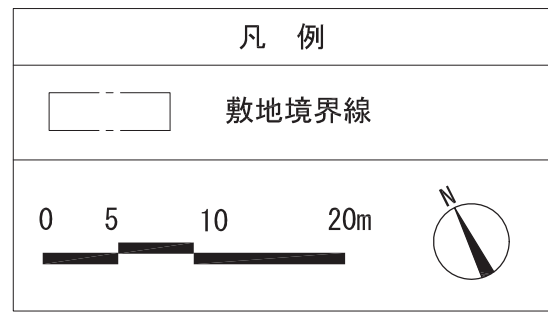


凡 例	
	敷地境界線
0 5 10 20m 	



凡 例	
	敷地境界線
0 5 10 20m 	



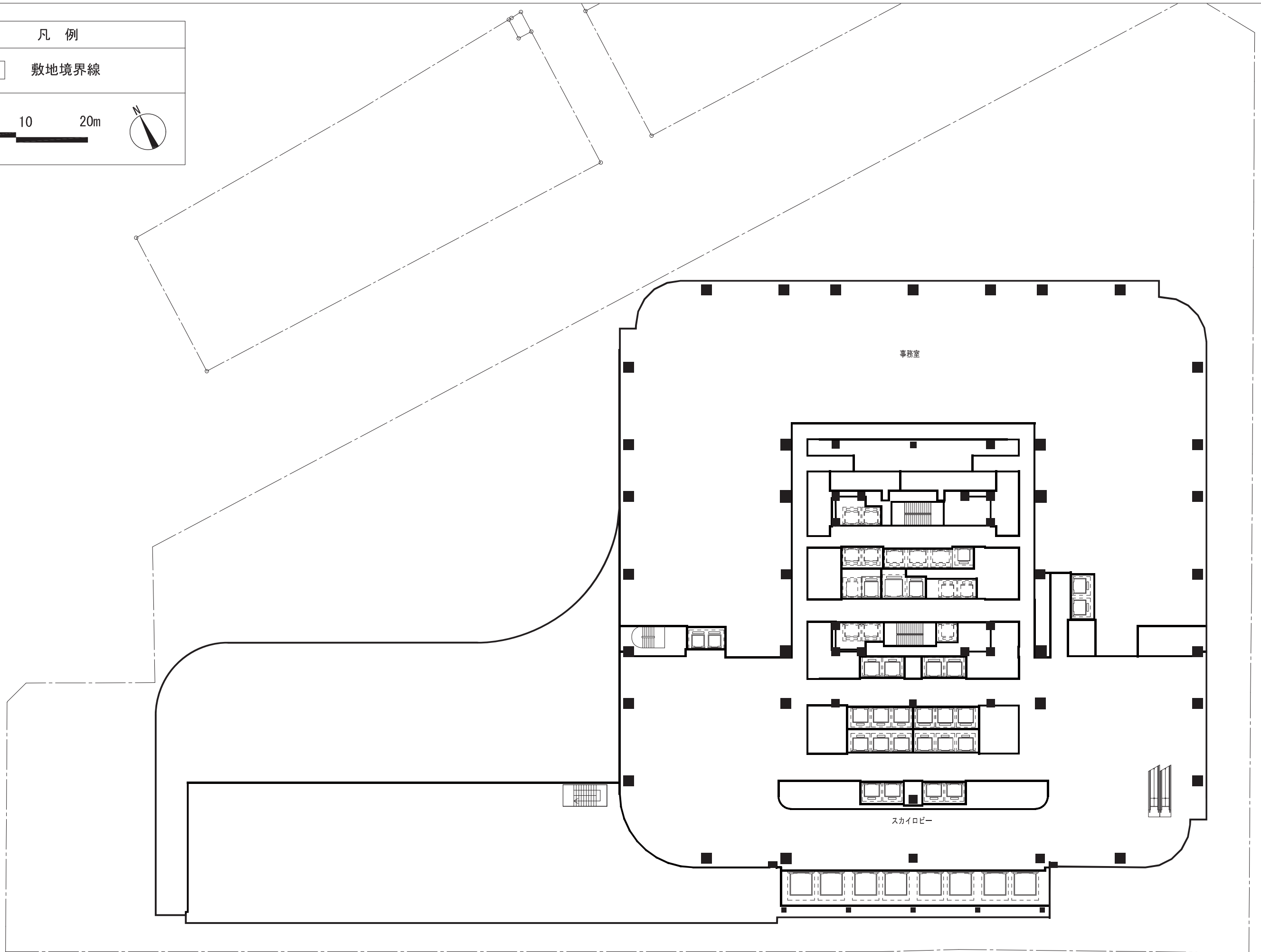


凡 例

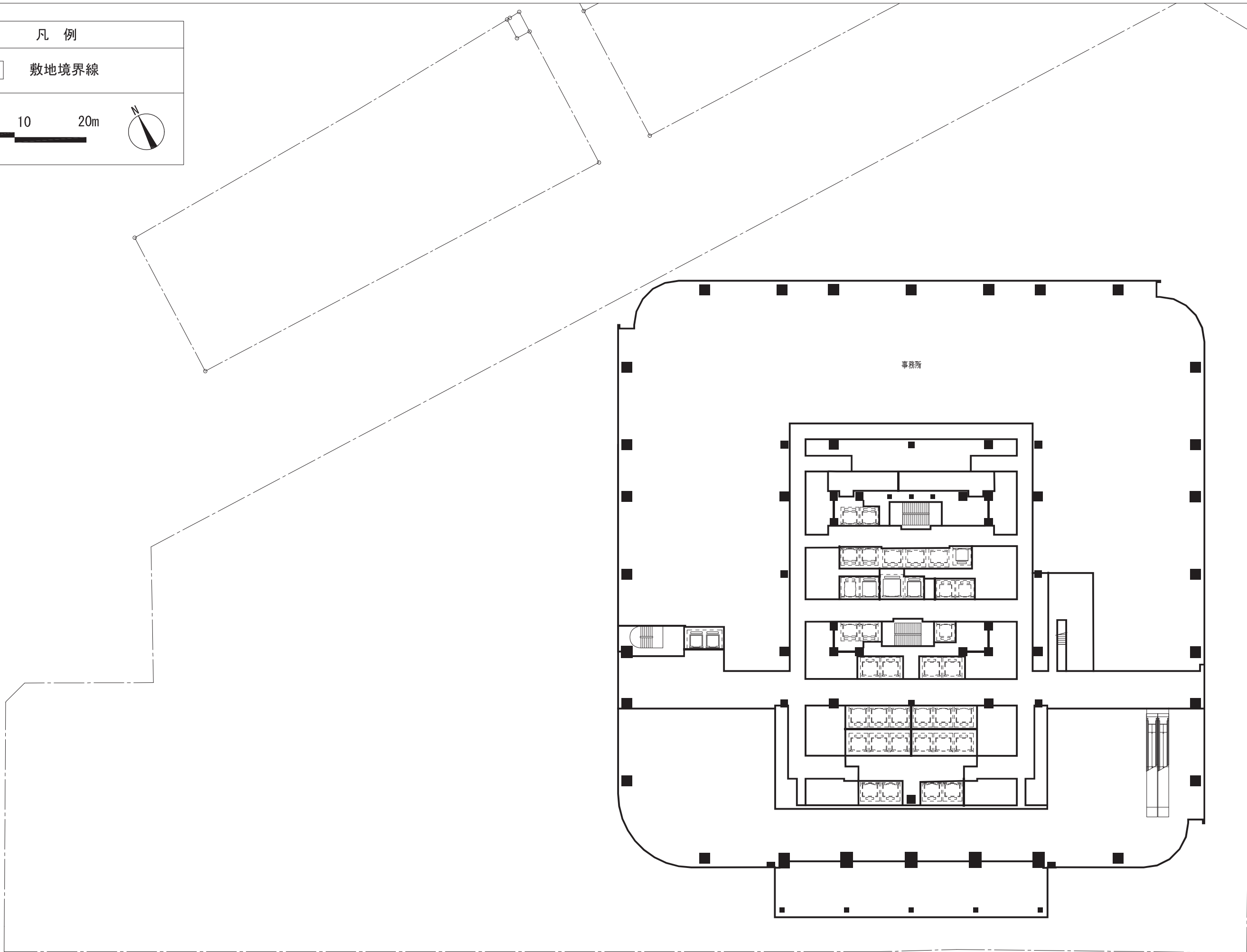
敷地境界線

051020m

N



凡 例	
	敷地境界線
0 5 10 20m 	

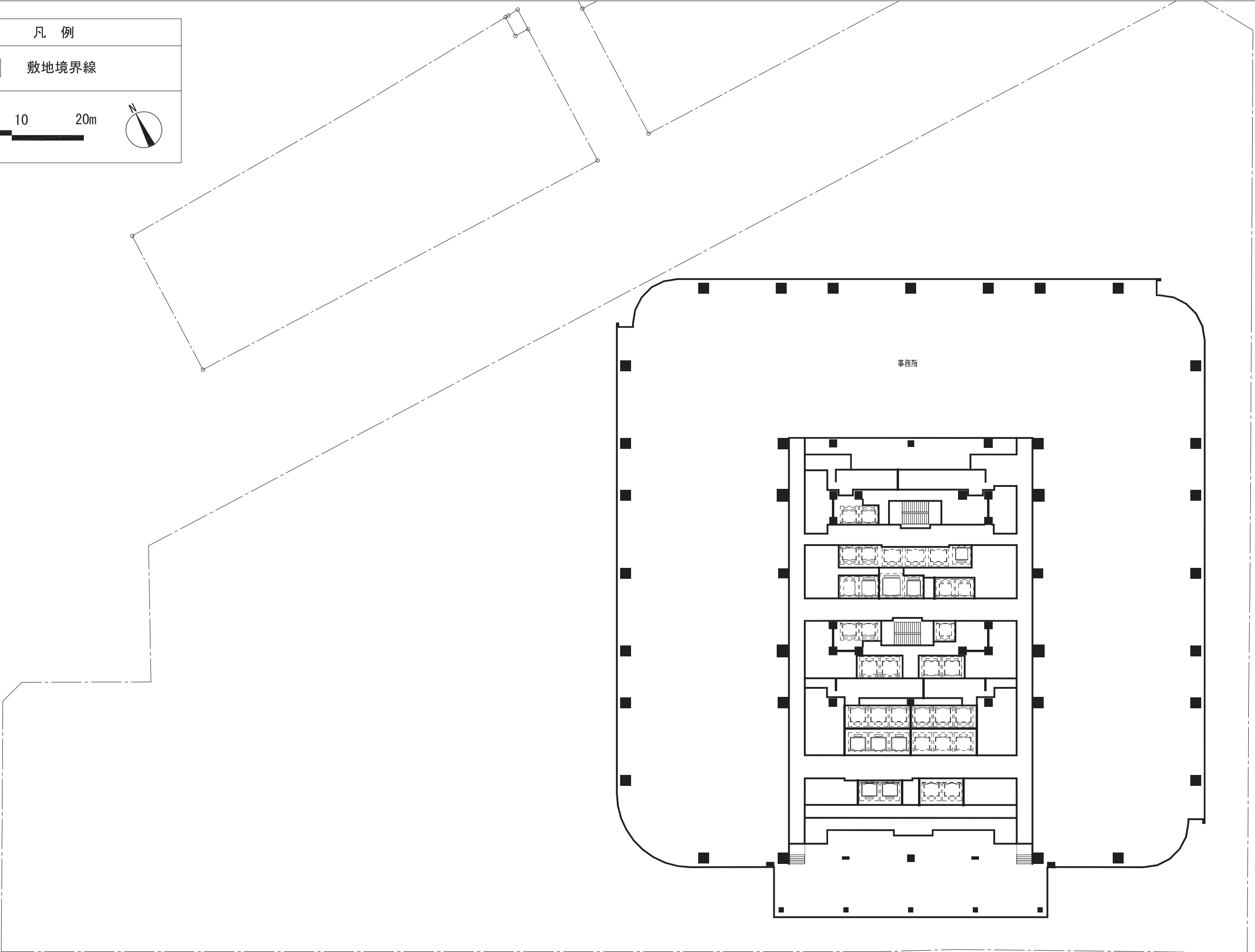


凡 例

敷地境界線

051020m

N

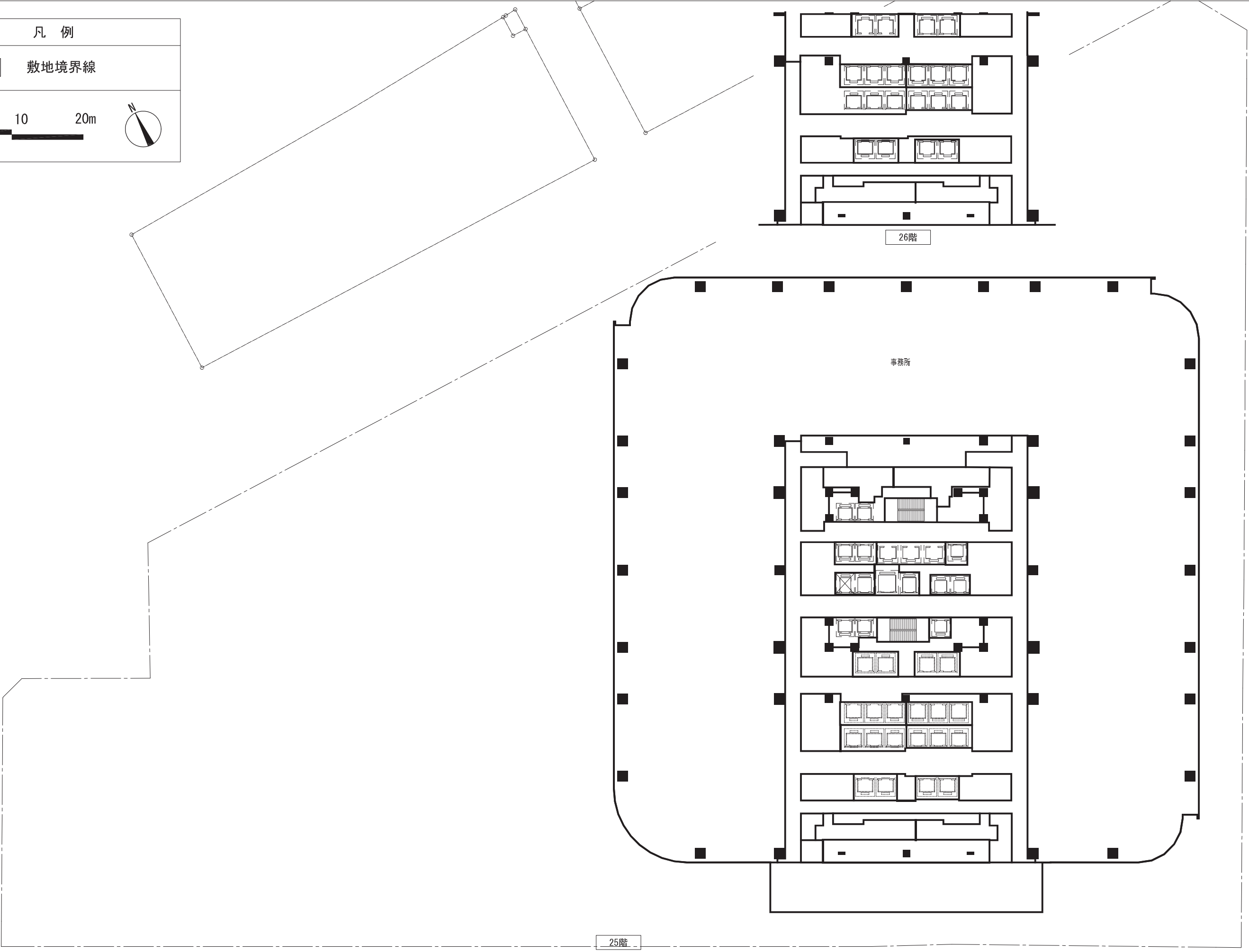


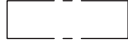
凡 例

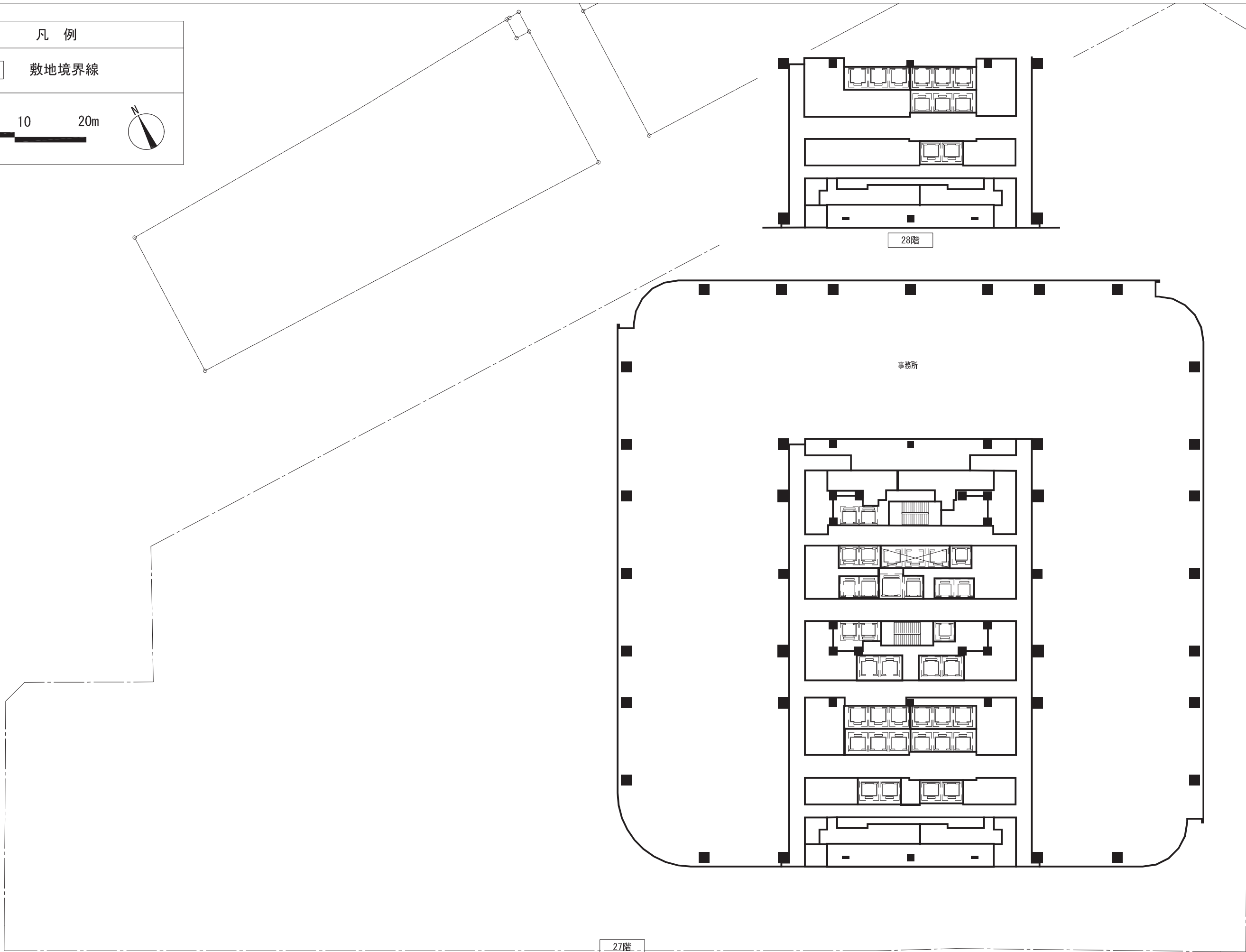
敷地境界線

051020m

N



凡 例	
	敷地境界線
0 5 10 20m 	

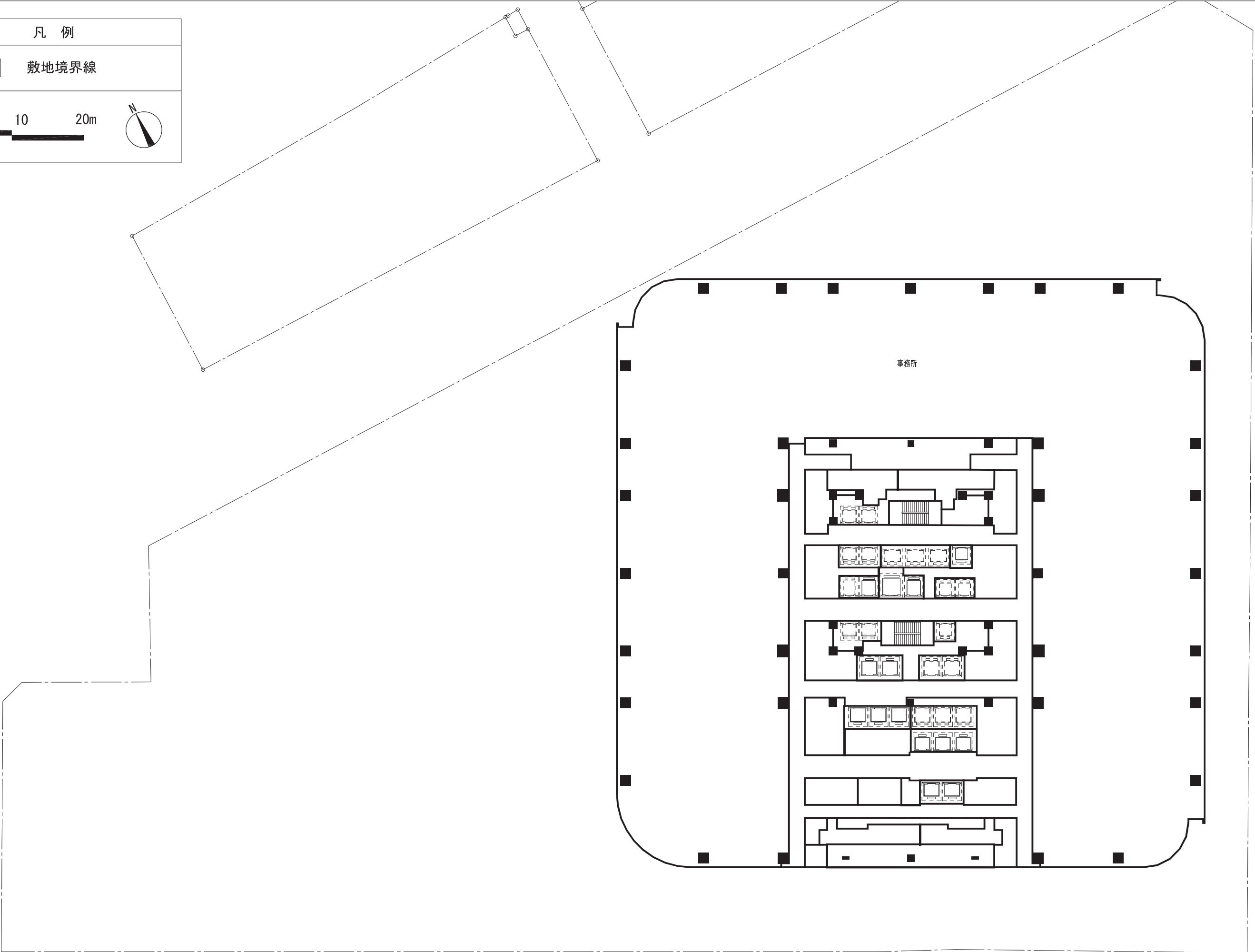


凡 例

敷地境界線

051020m

N

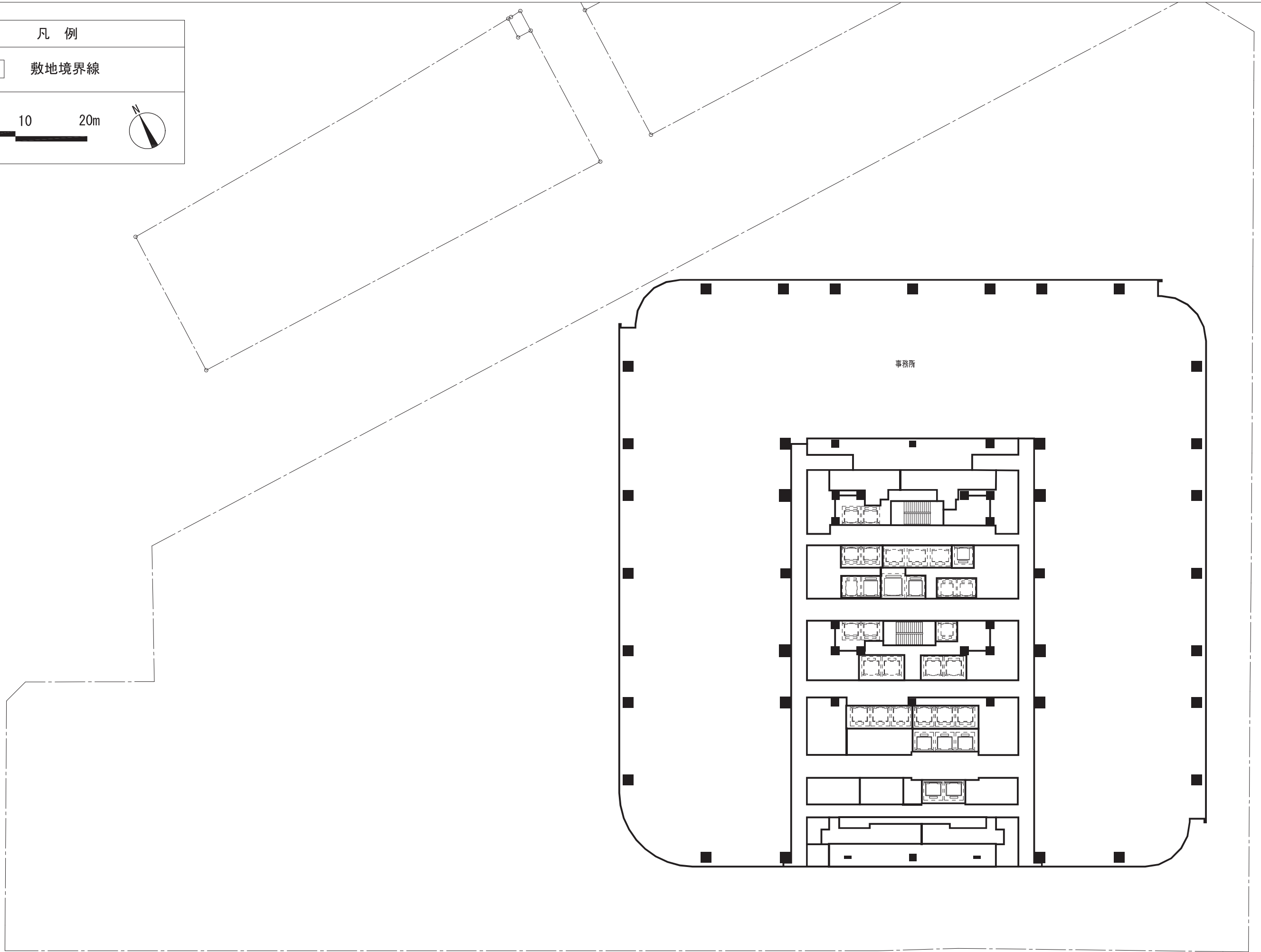


凡 例

敷地境界線

051020m

N

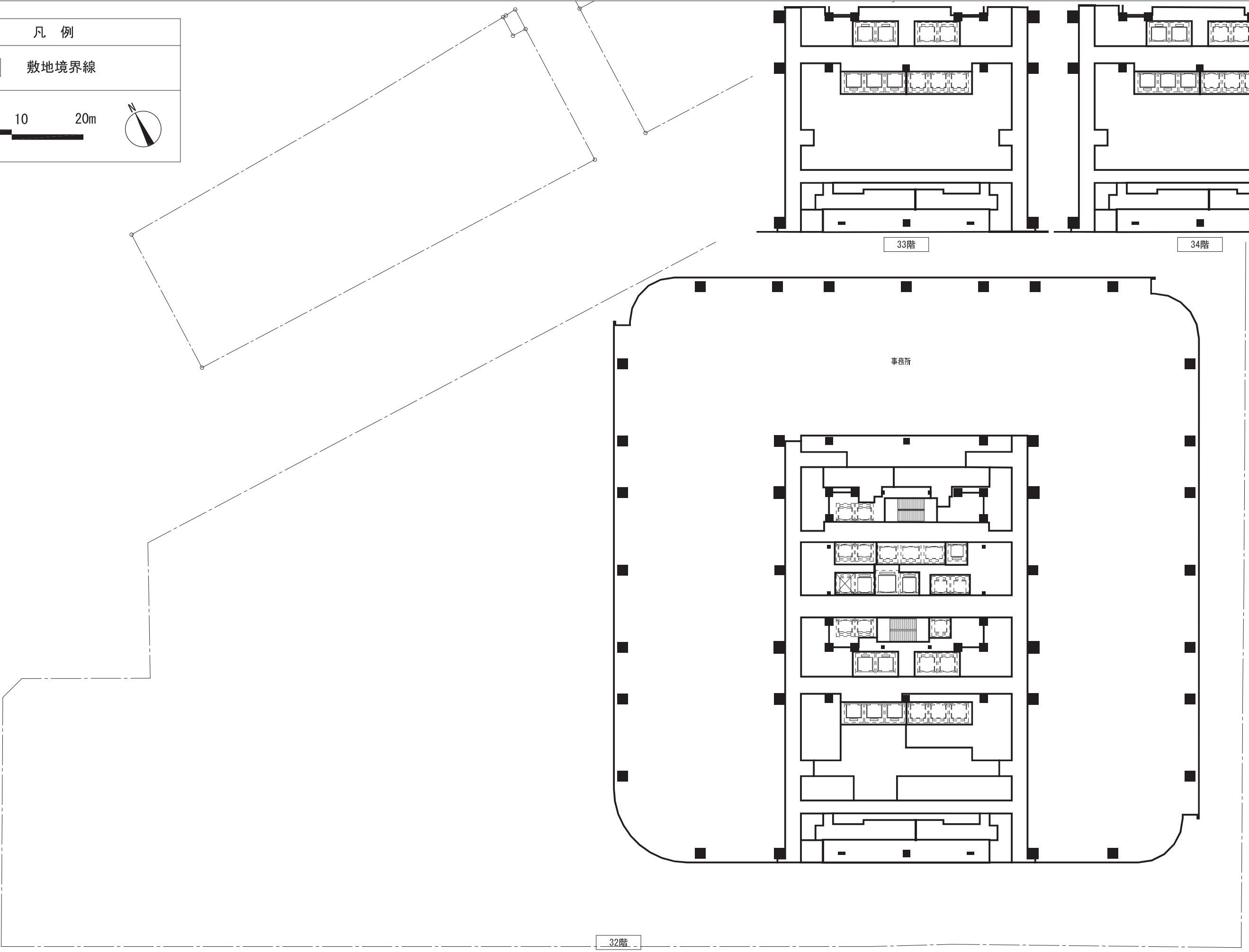


凡 例

敷地境界線

051020m

N

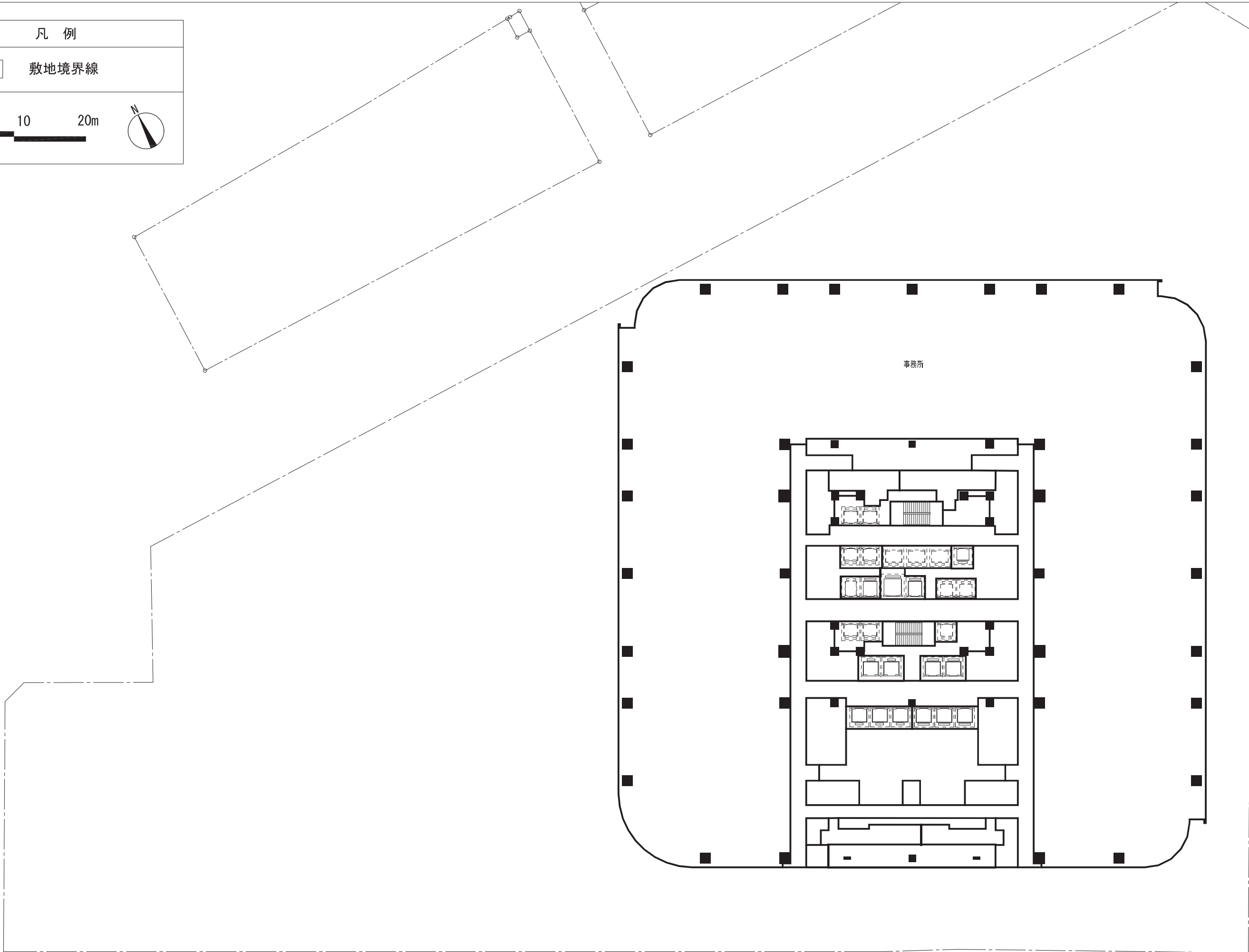


凡 例

敷地境界線

051020m

N

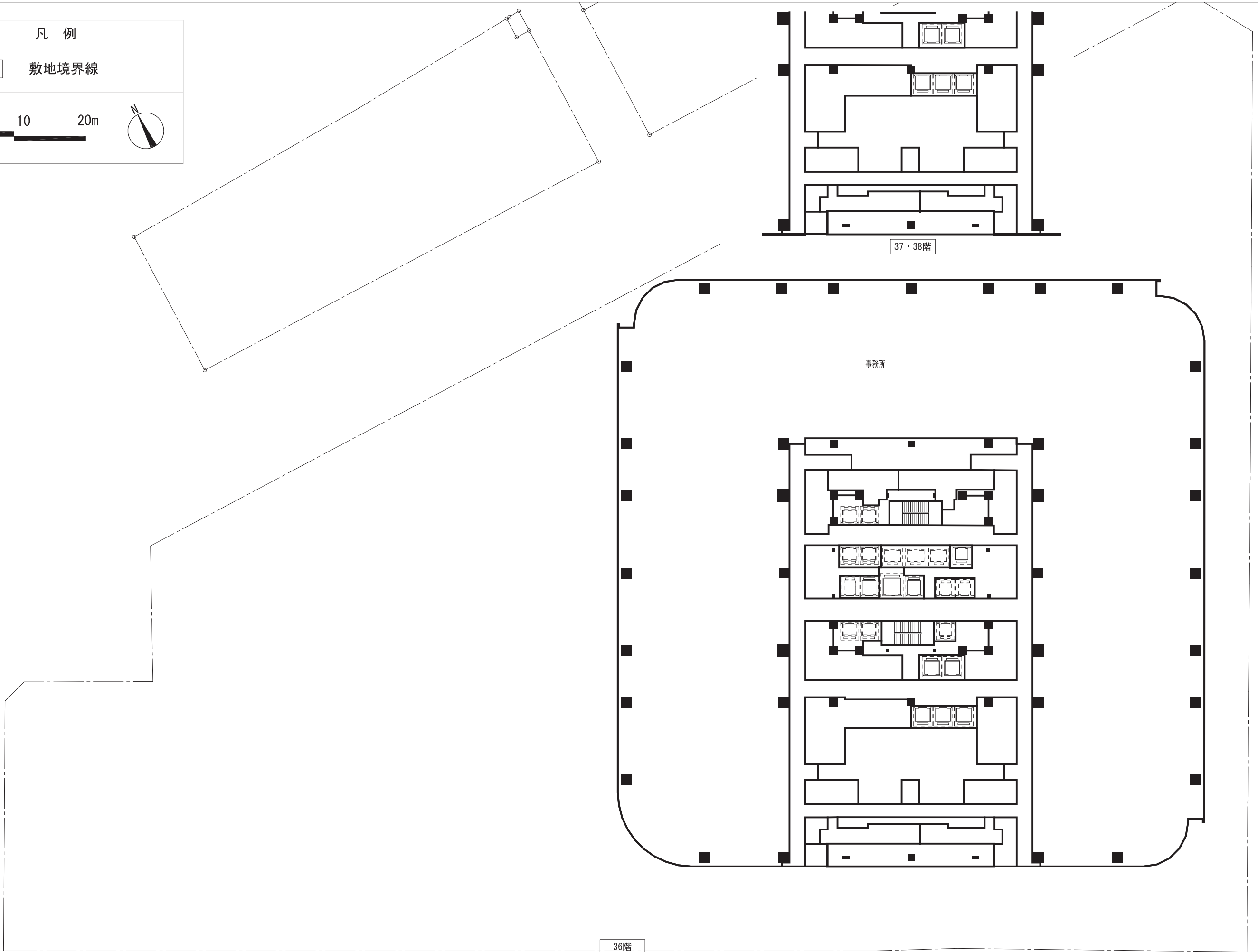


凡 例

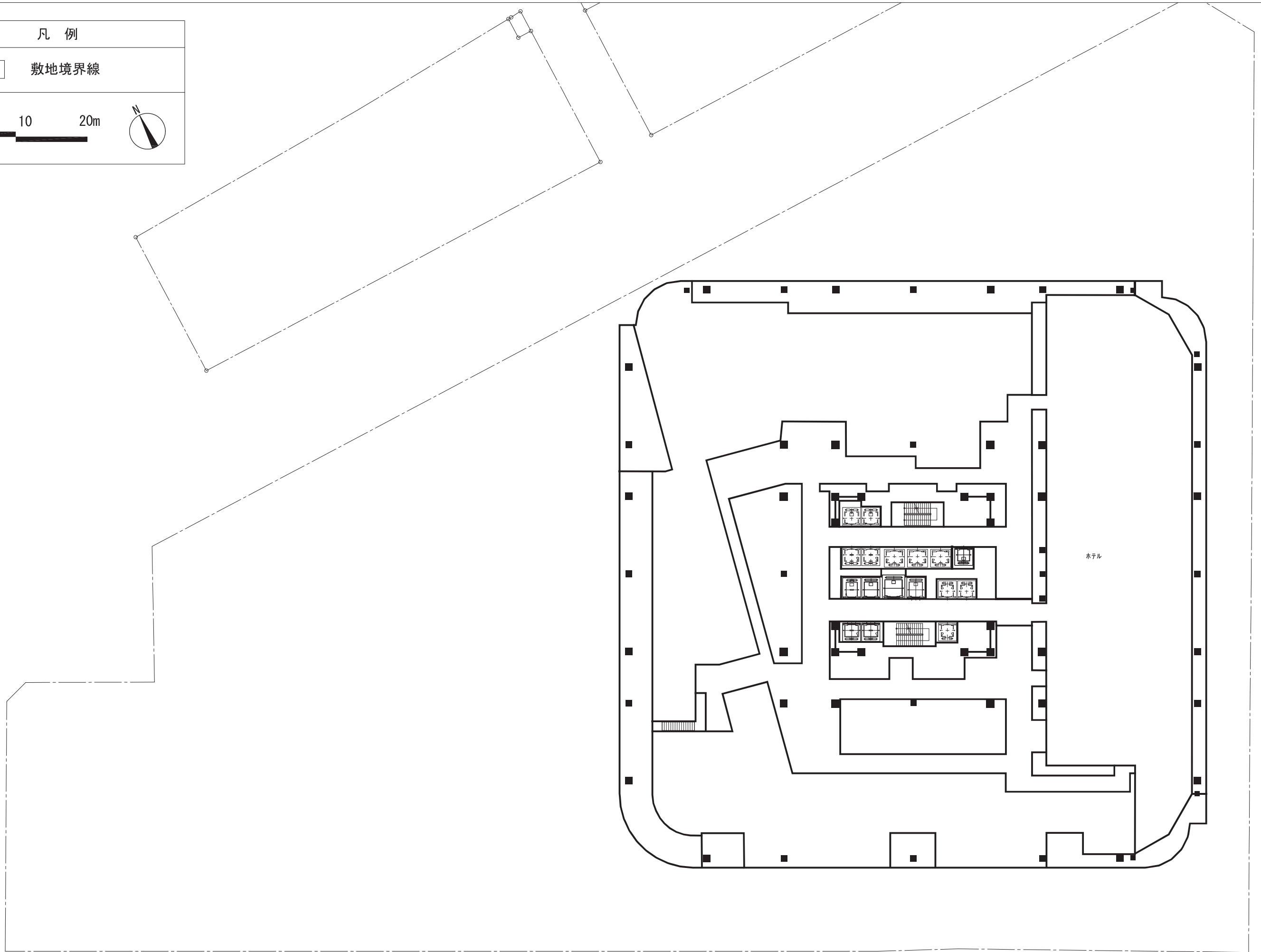
敷地境界線

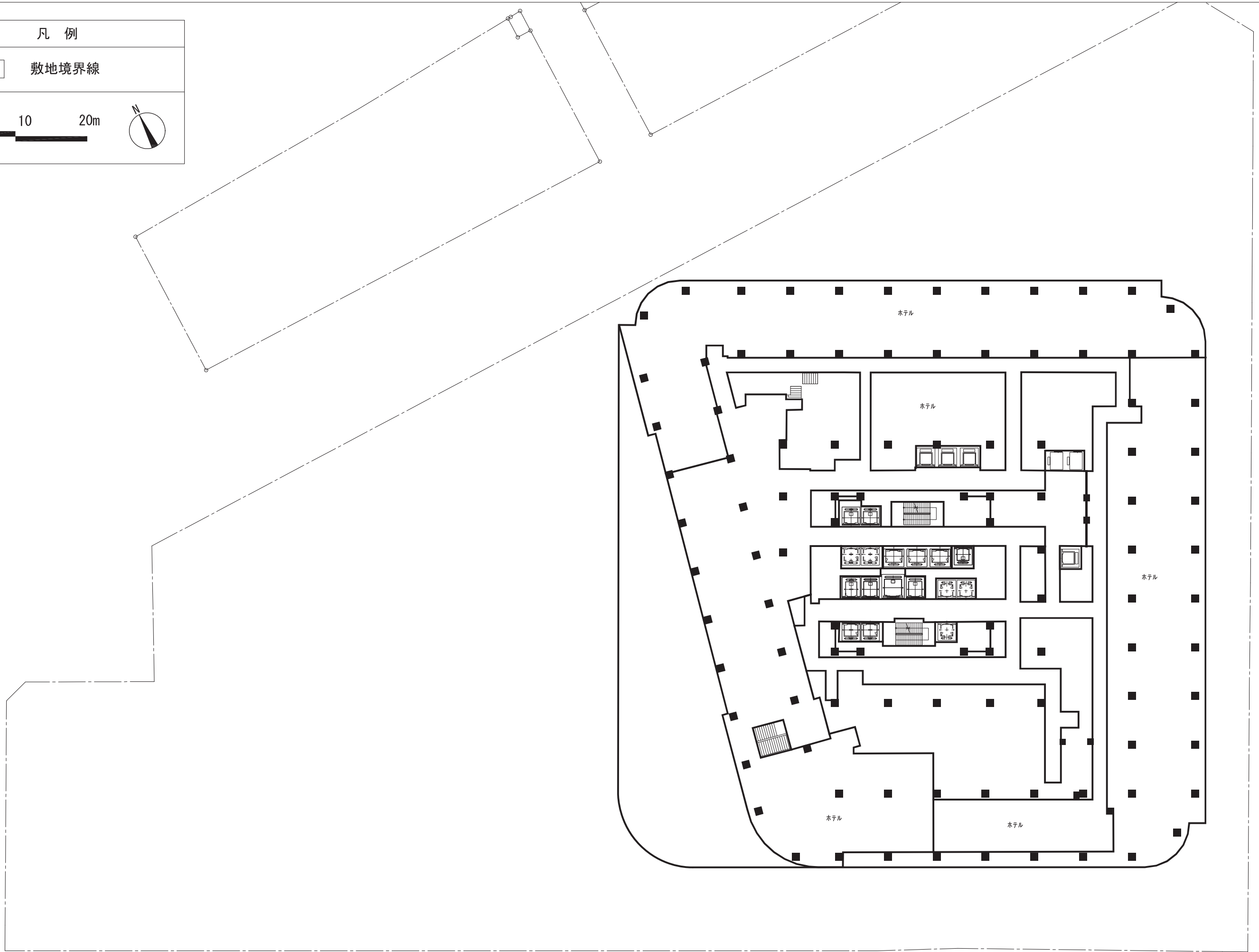
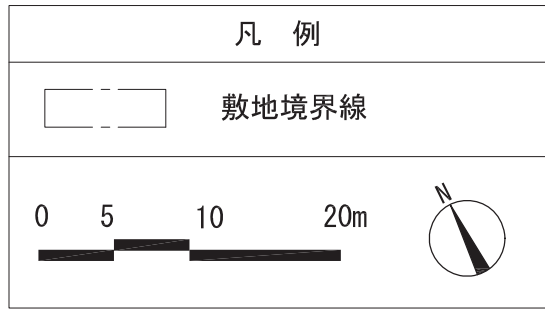
051020m

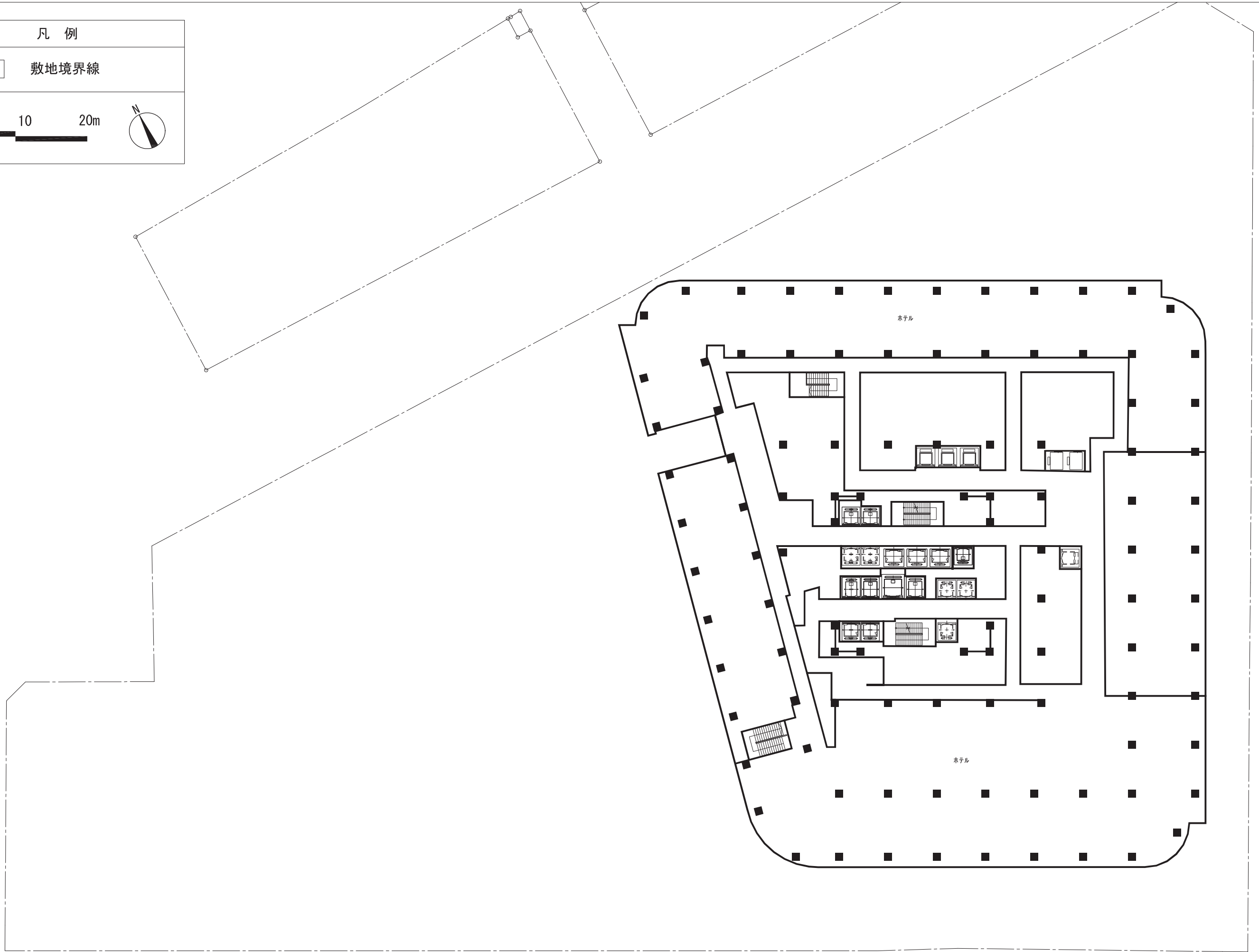
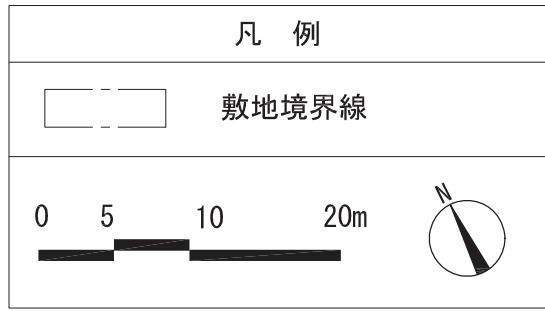
N



凡 例	
	敷地境界線
0 5 10 20m	





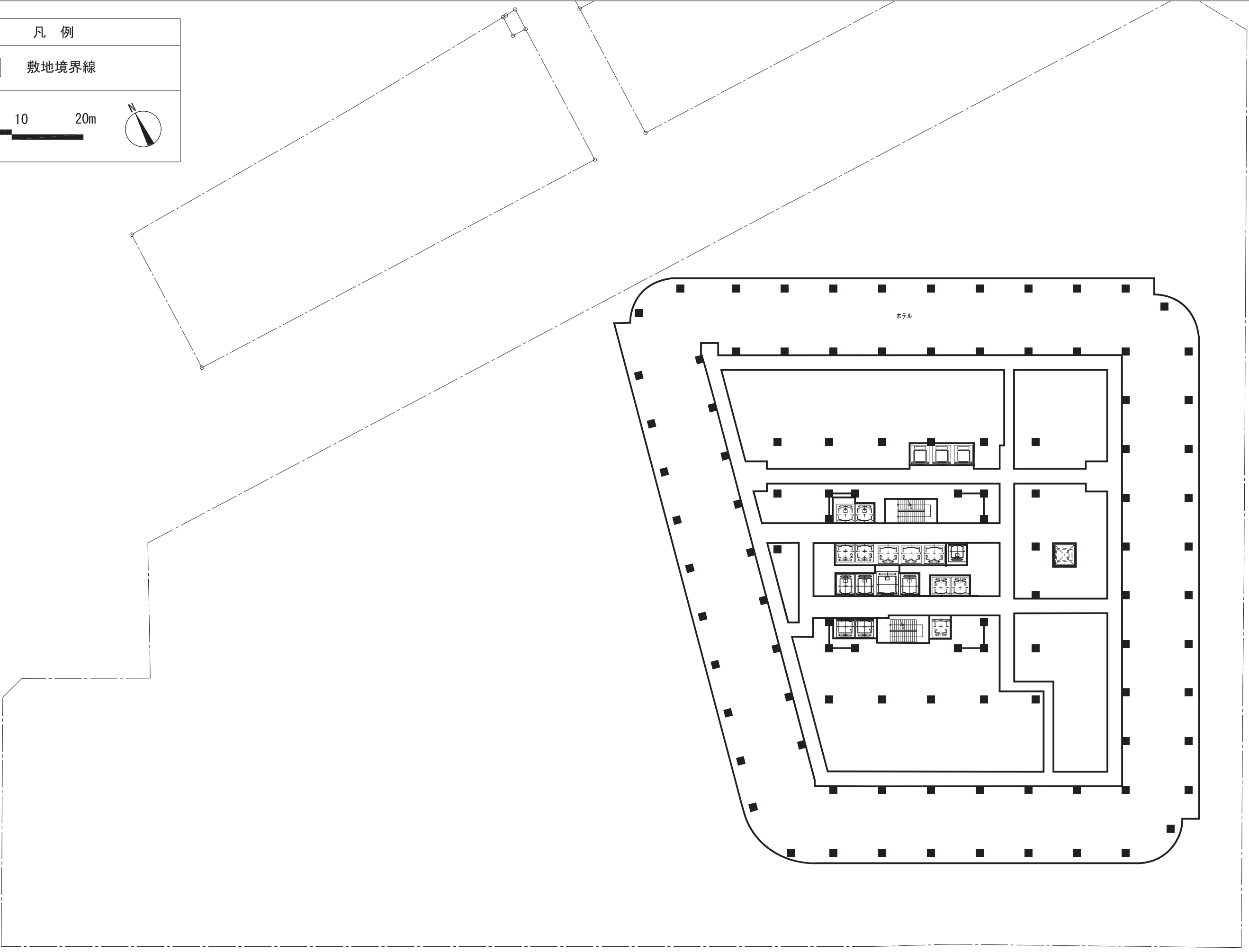


凡 例

敷地境界線

051020m

N

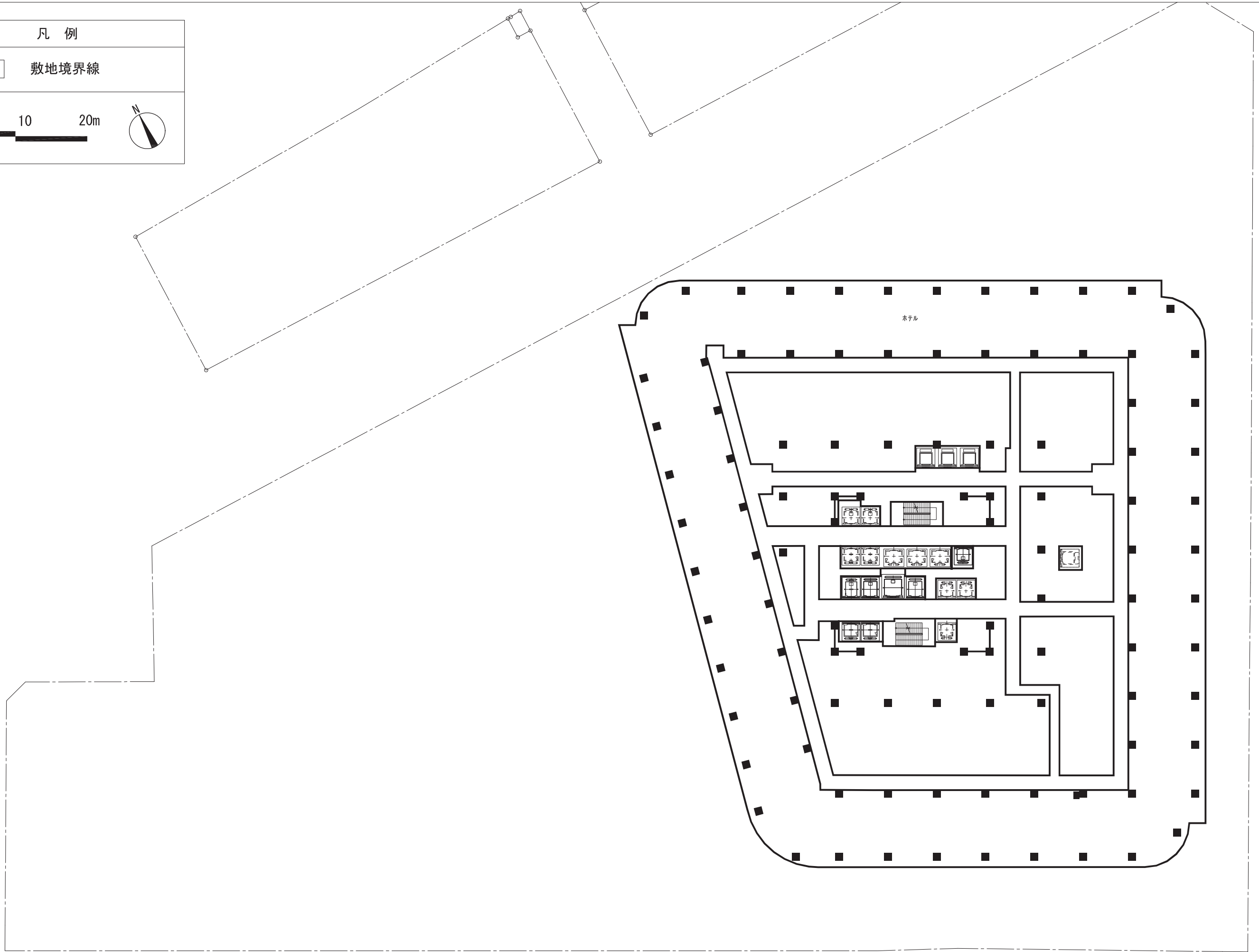


凡 例

敷地境界線

051020m

N

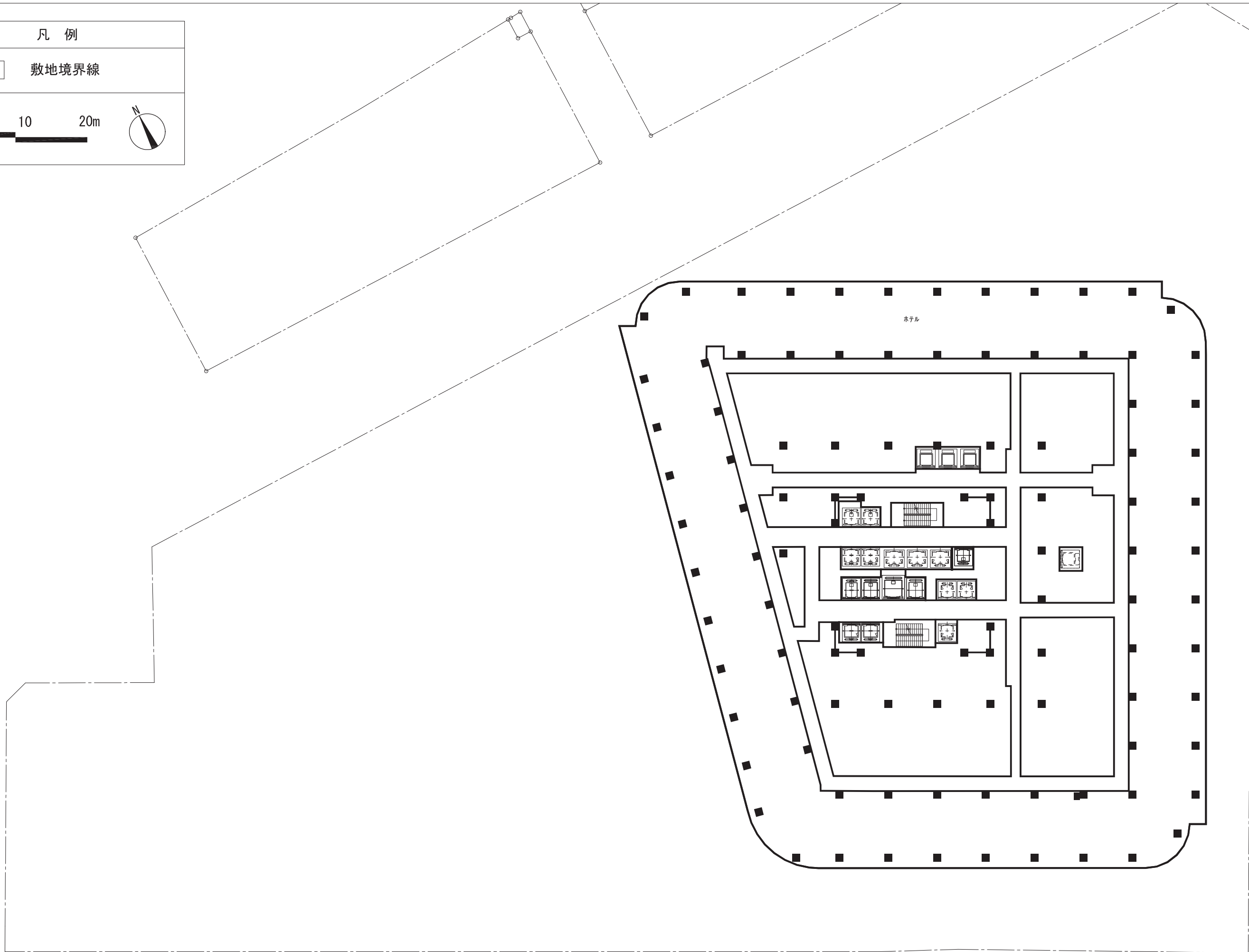


凡 例

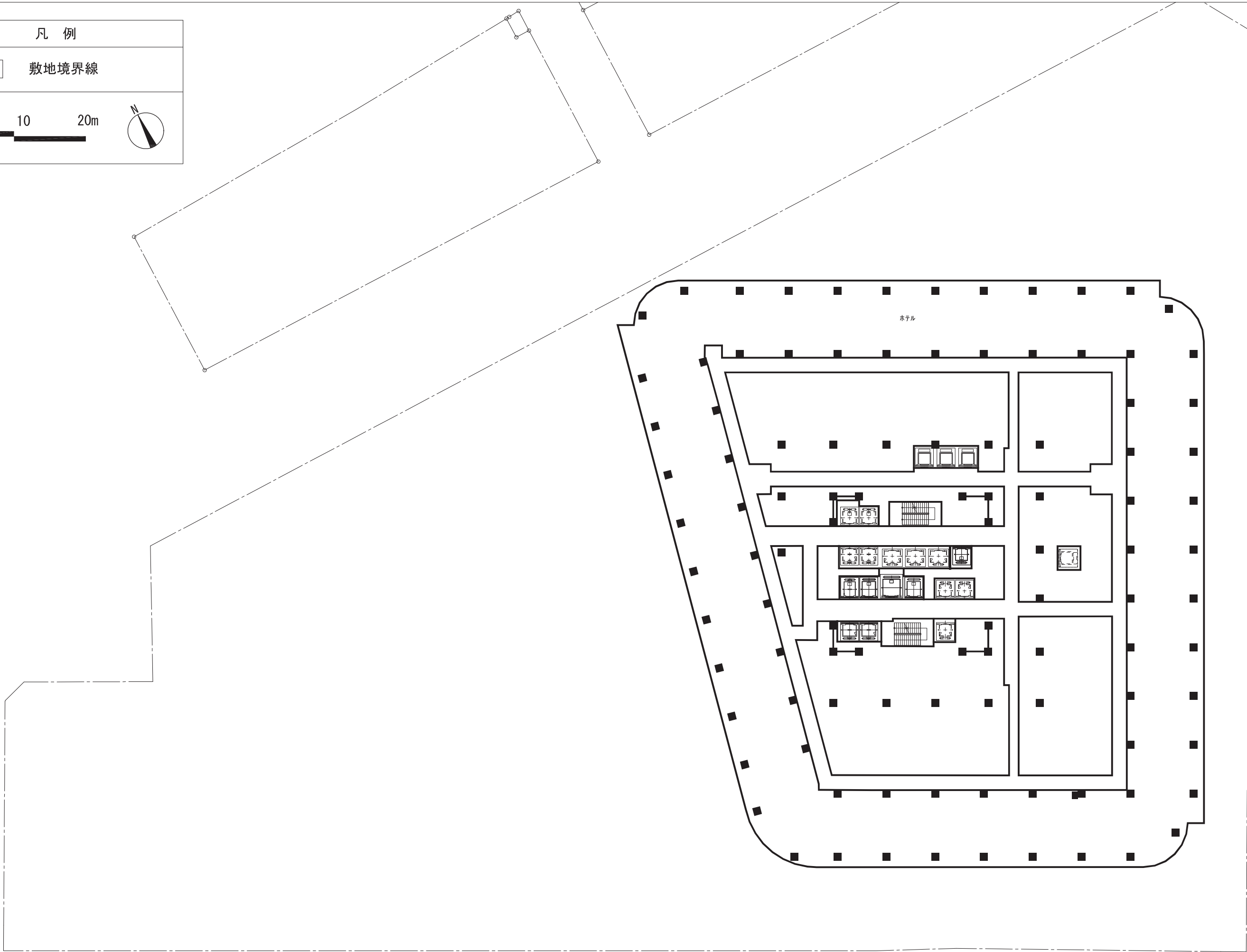
敷地境界線

051020m

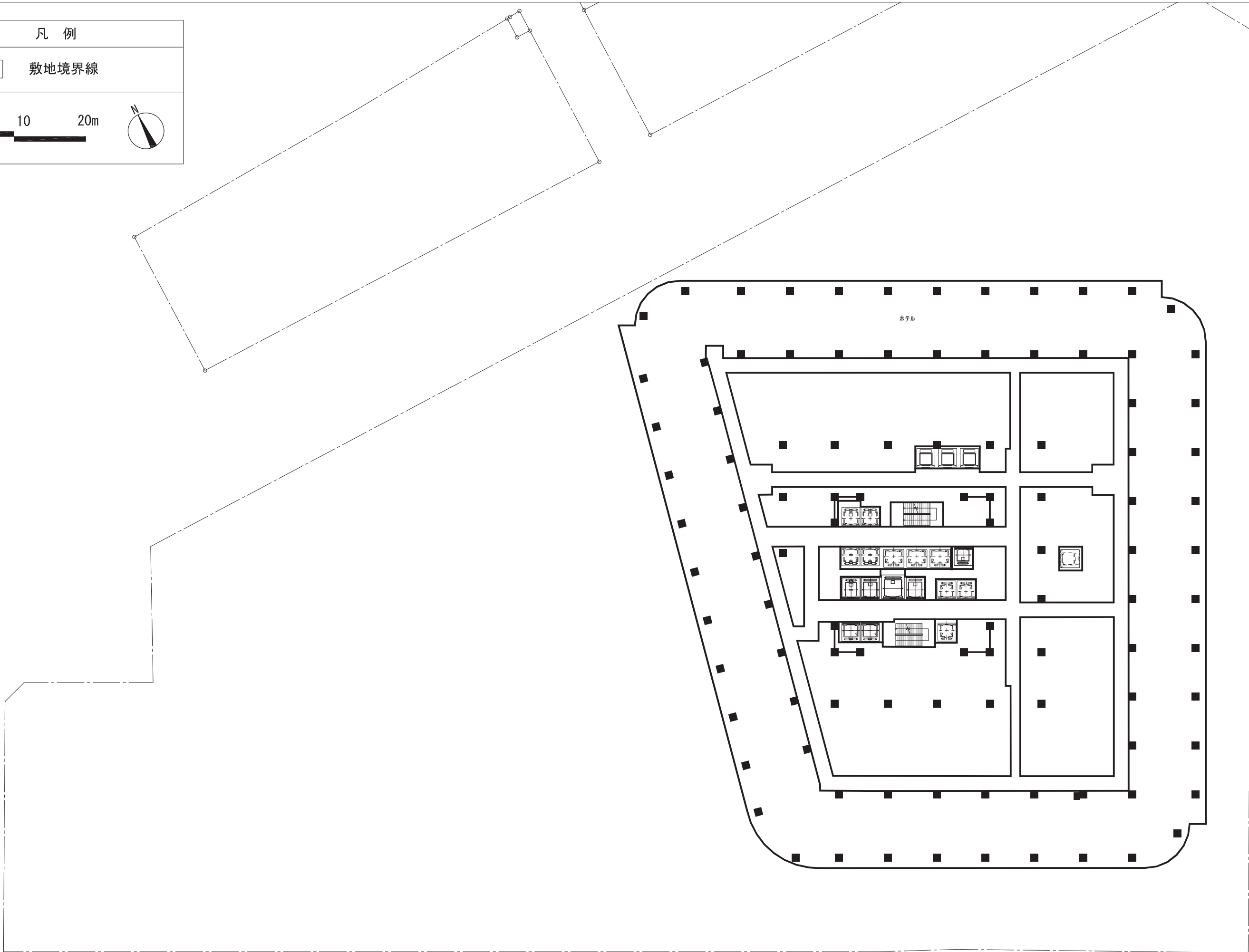
N

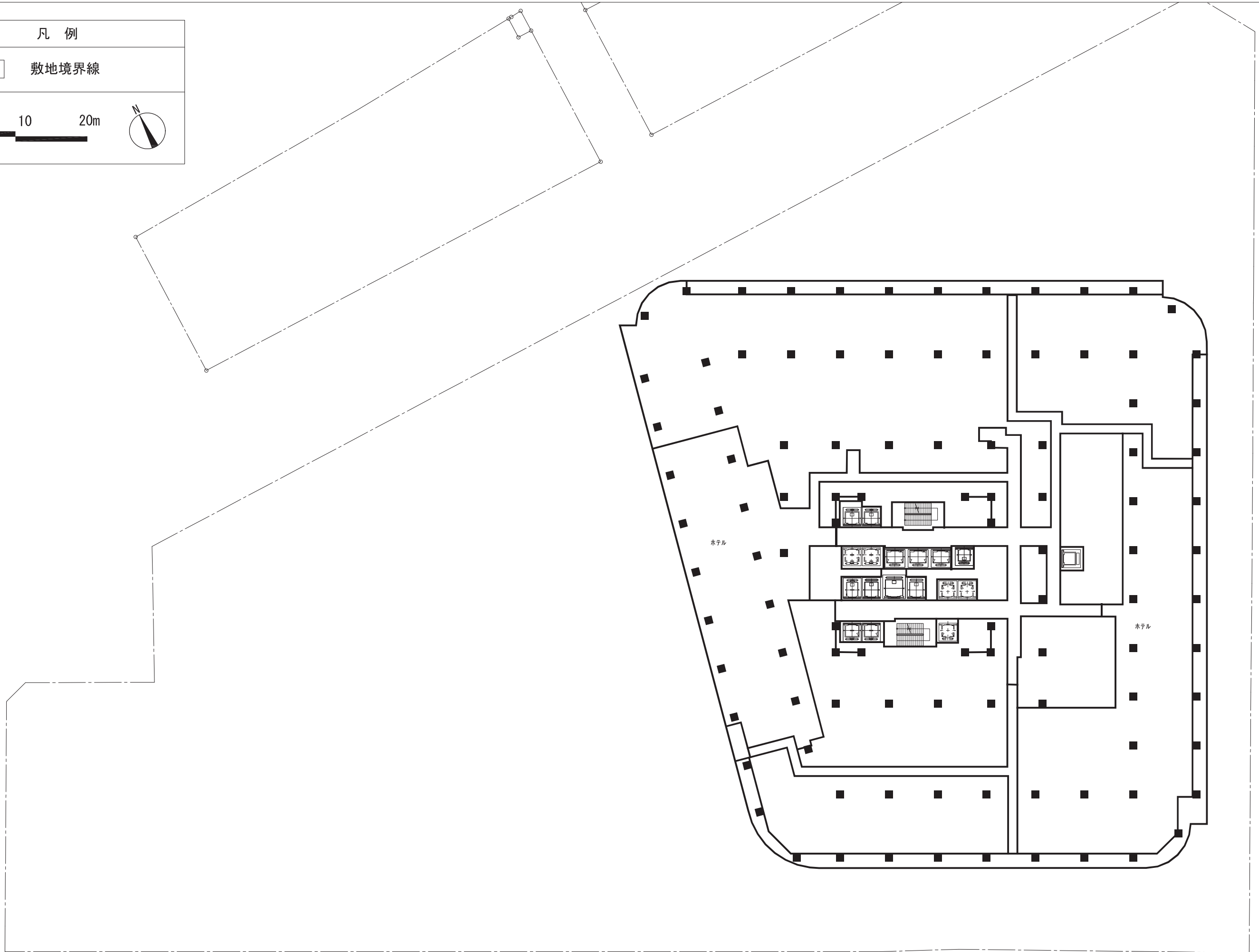
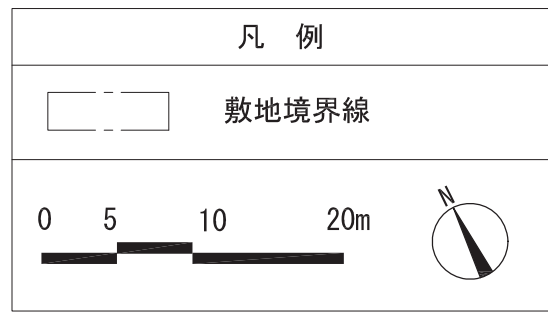


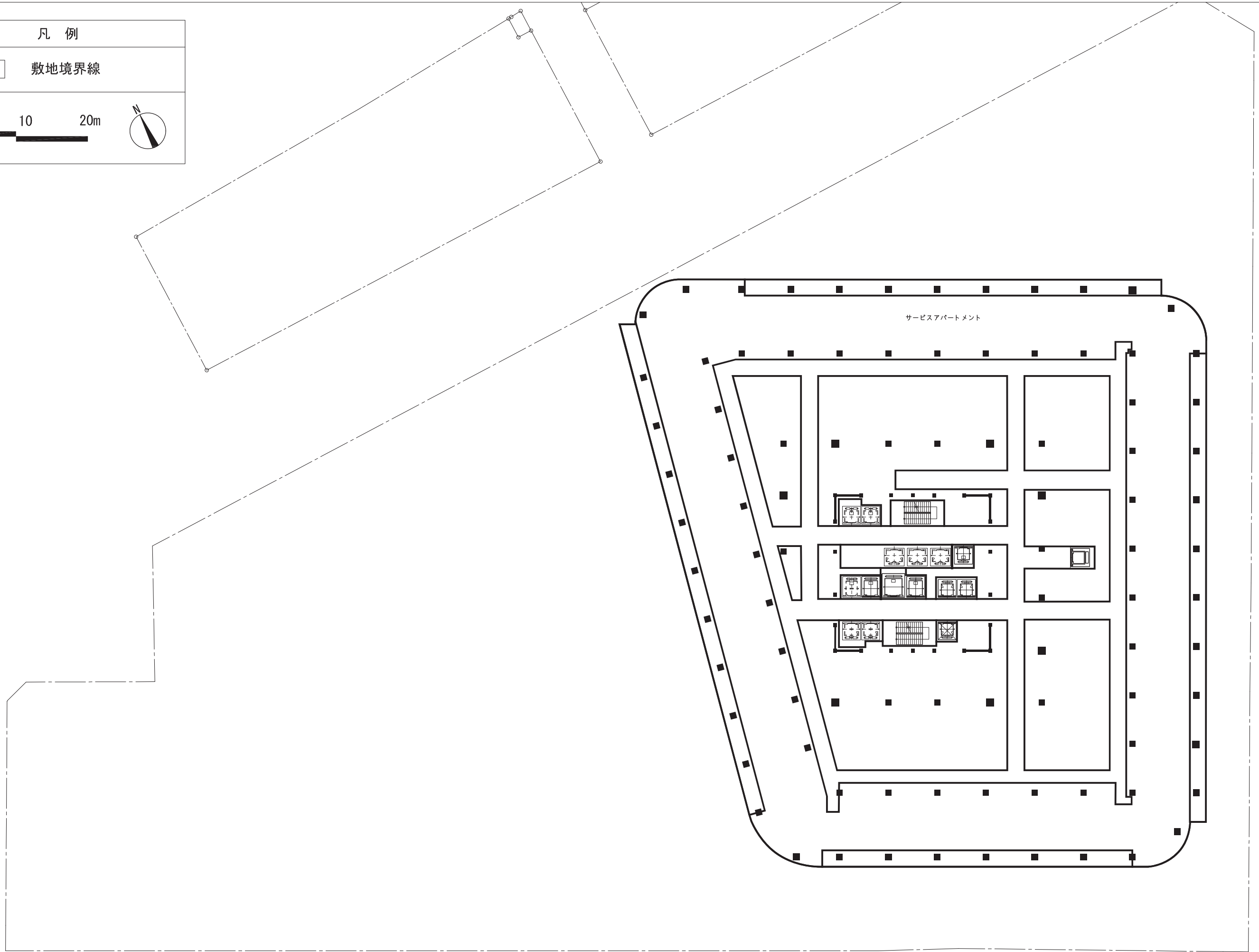
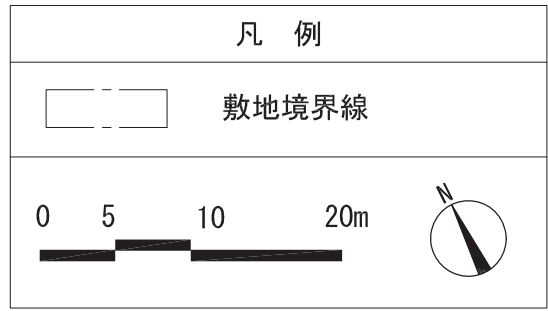
凡 例	
	敷地境界線
0 5 10 20m 	



凡 例	
	敷地境界線
0 5 10 20m 	





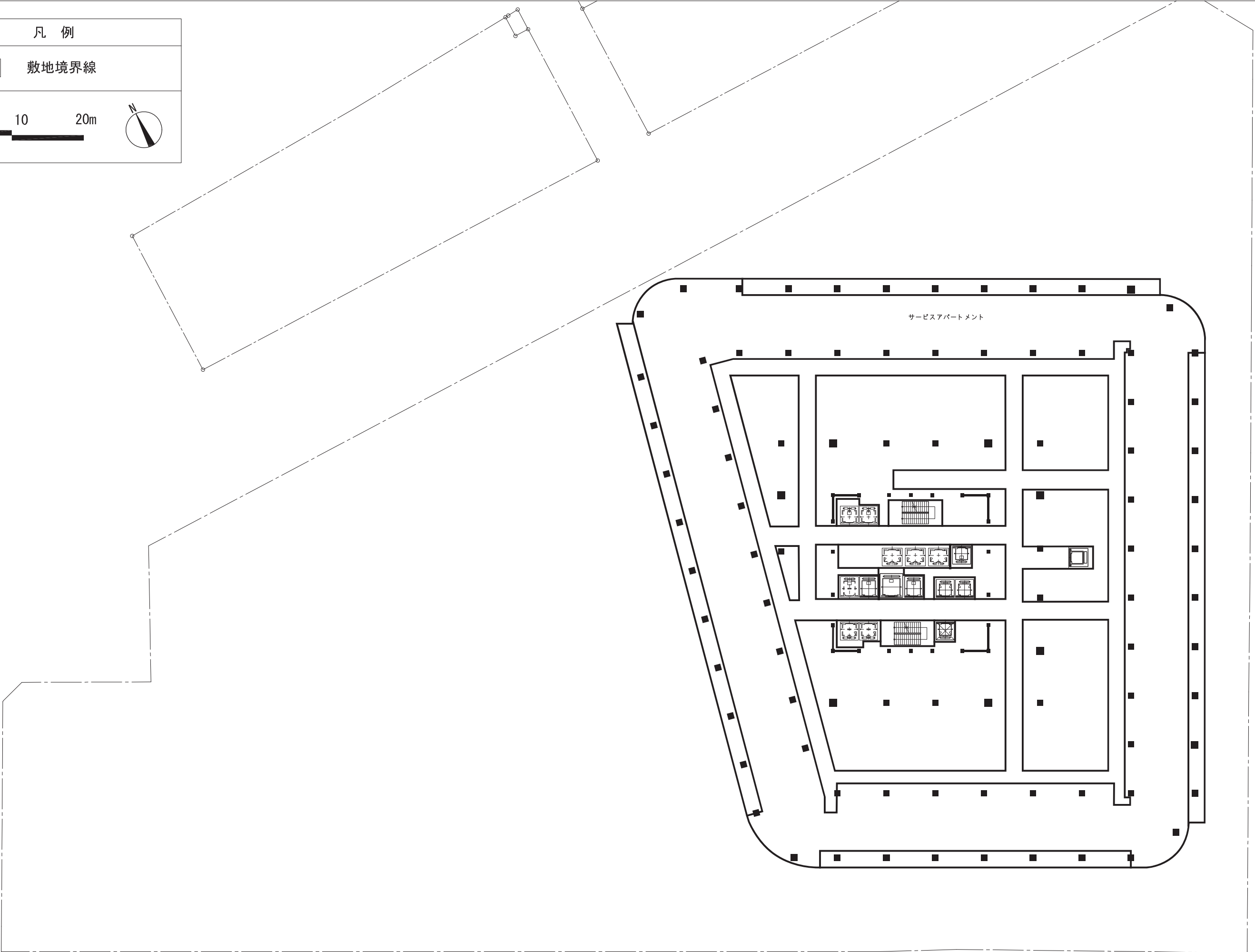


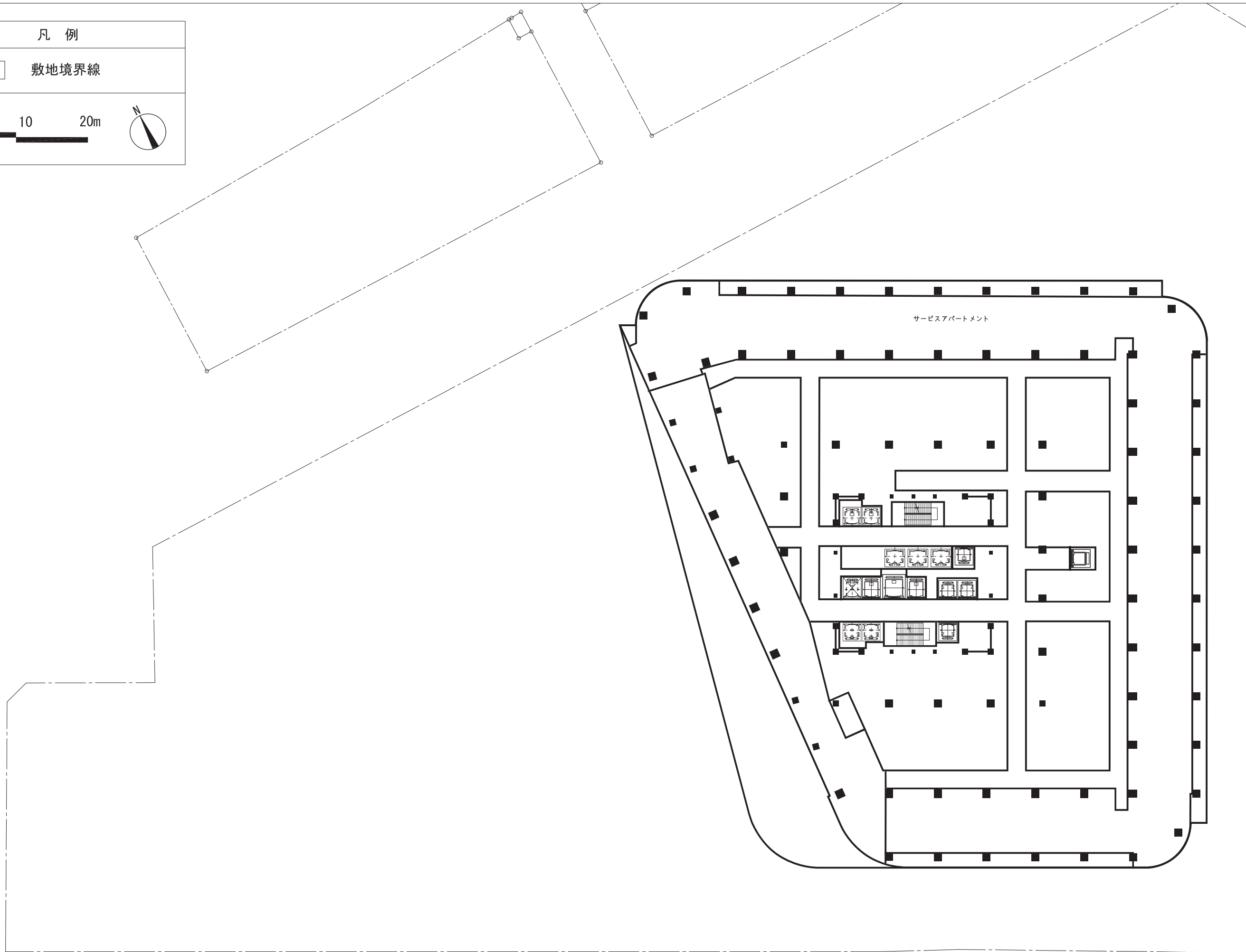
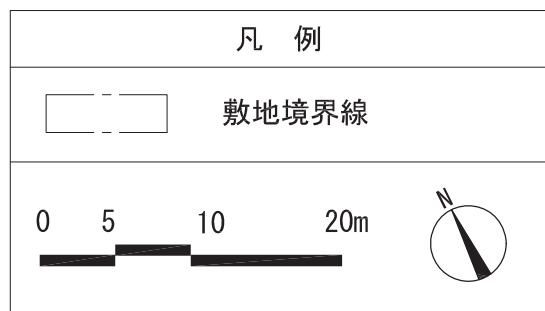
凡 例

敷地境界線

051020m

N



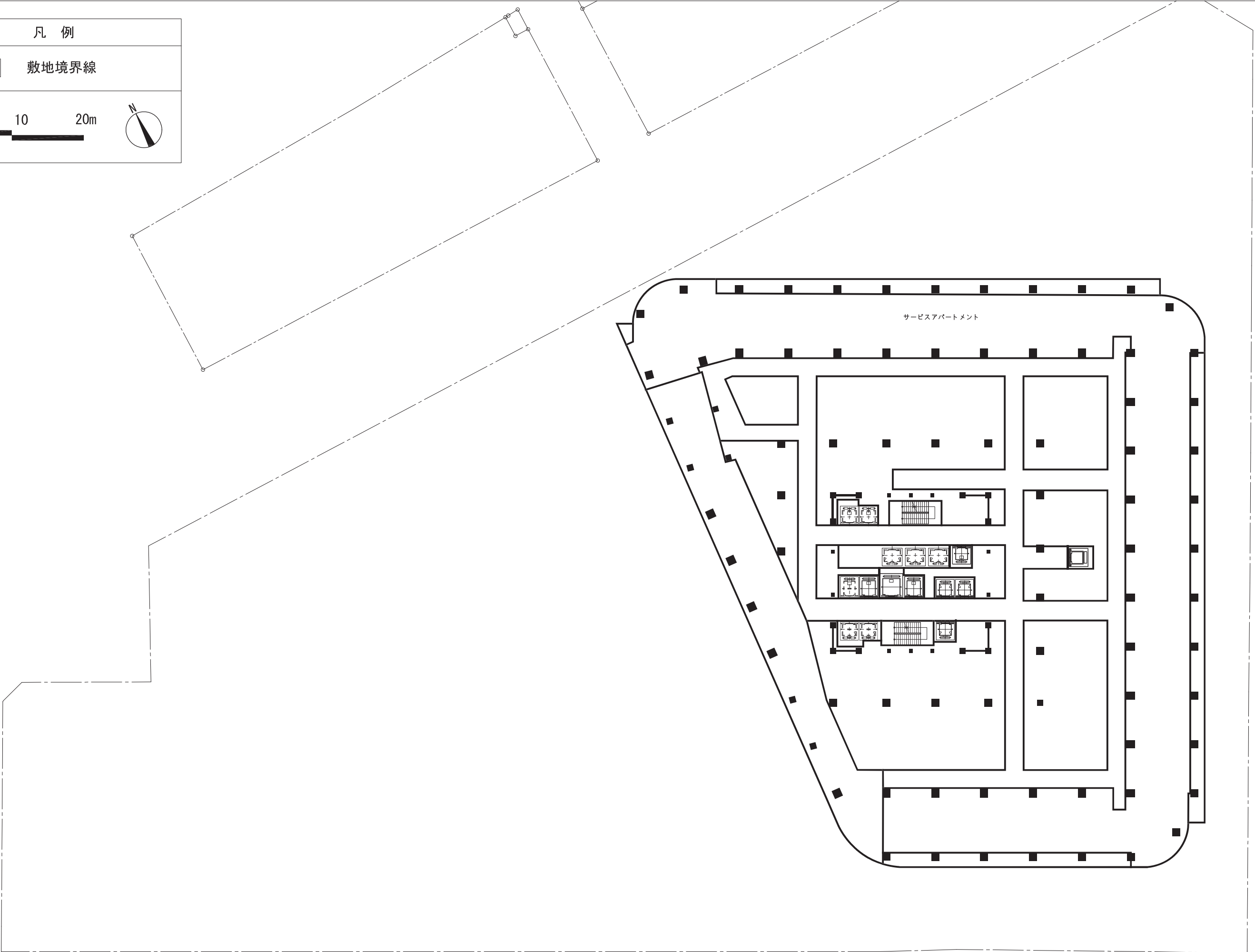


凡 例

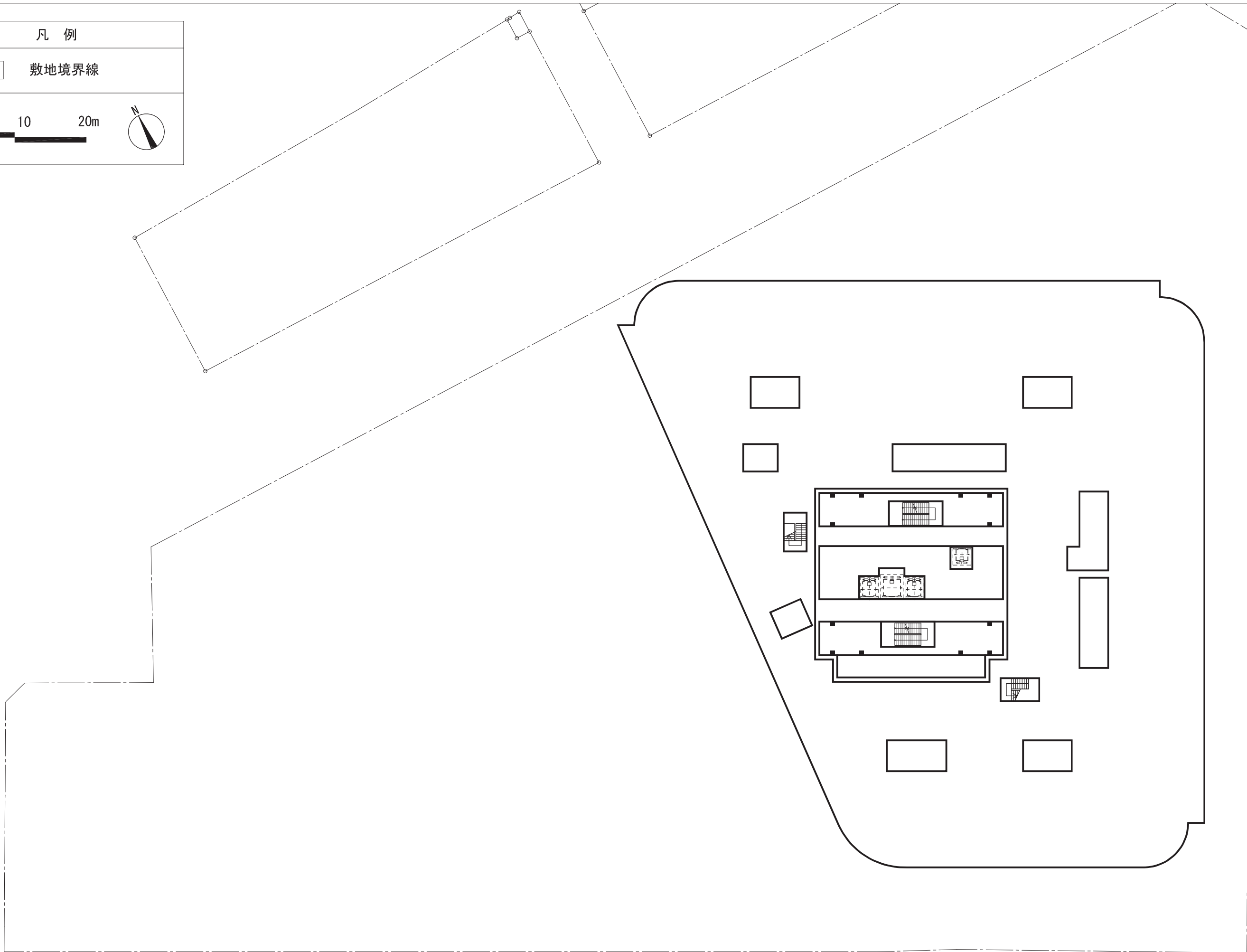
敷地境界線

051020m

N



凡 例	
	敷地境界線
0 5 10 20m 	

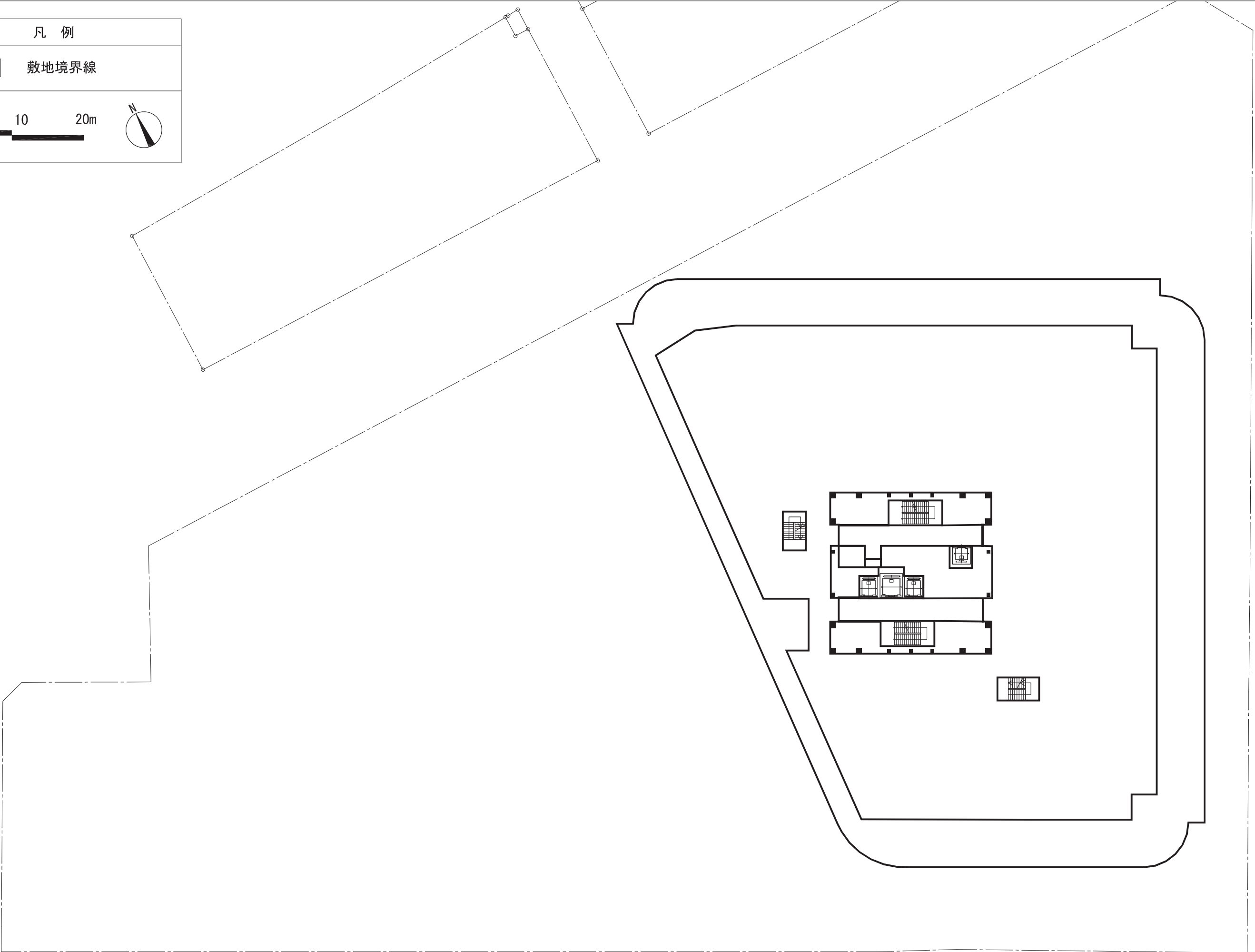


凡 例

敷地境界線

051020m

N

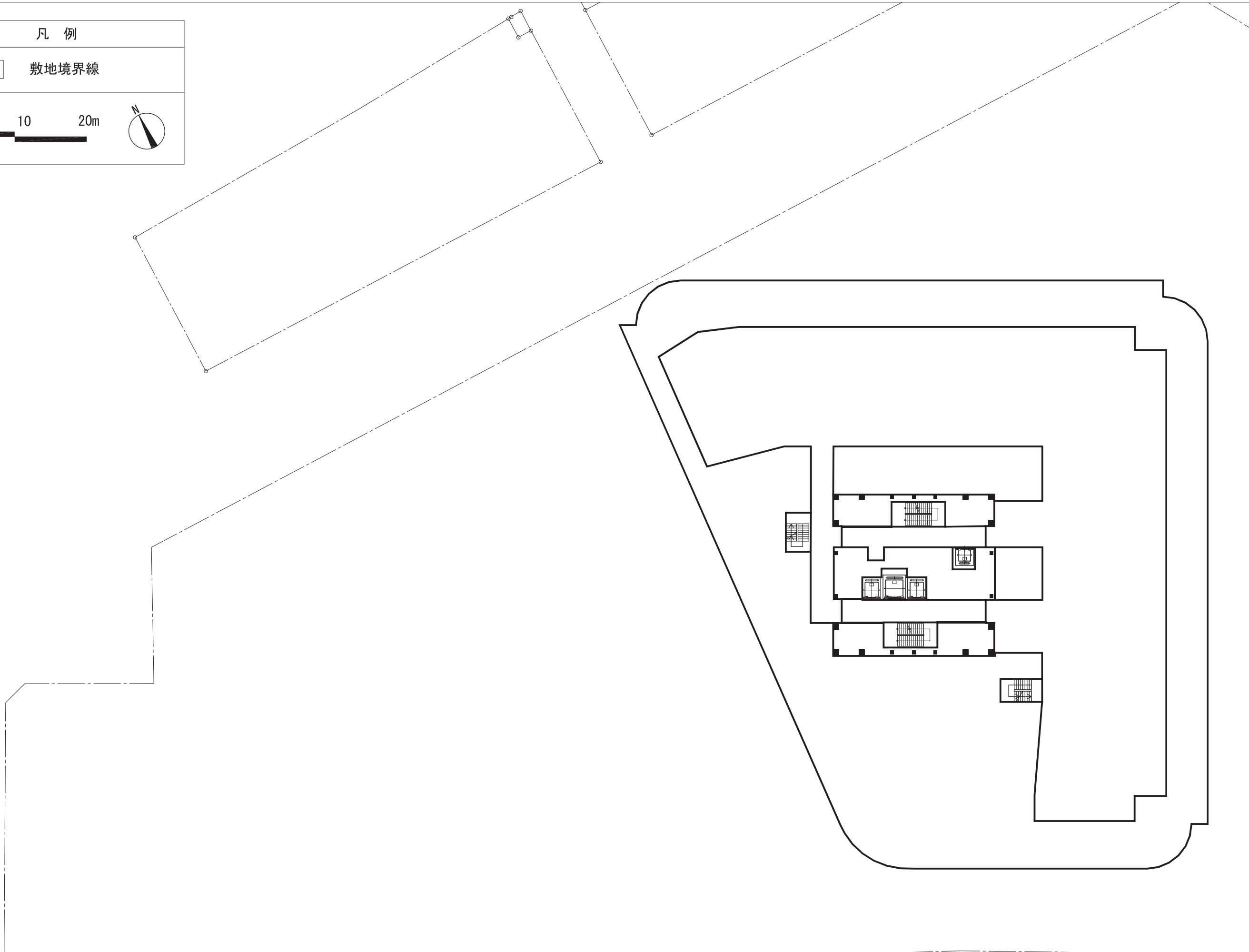


凡 例

敷地境界線

051020m

N

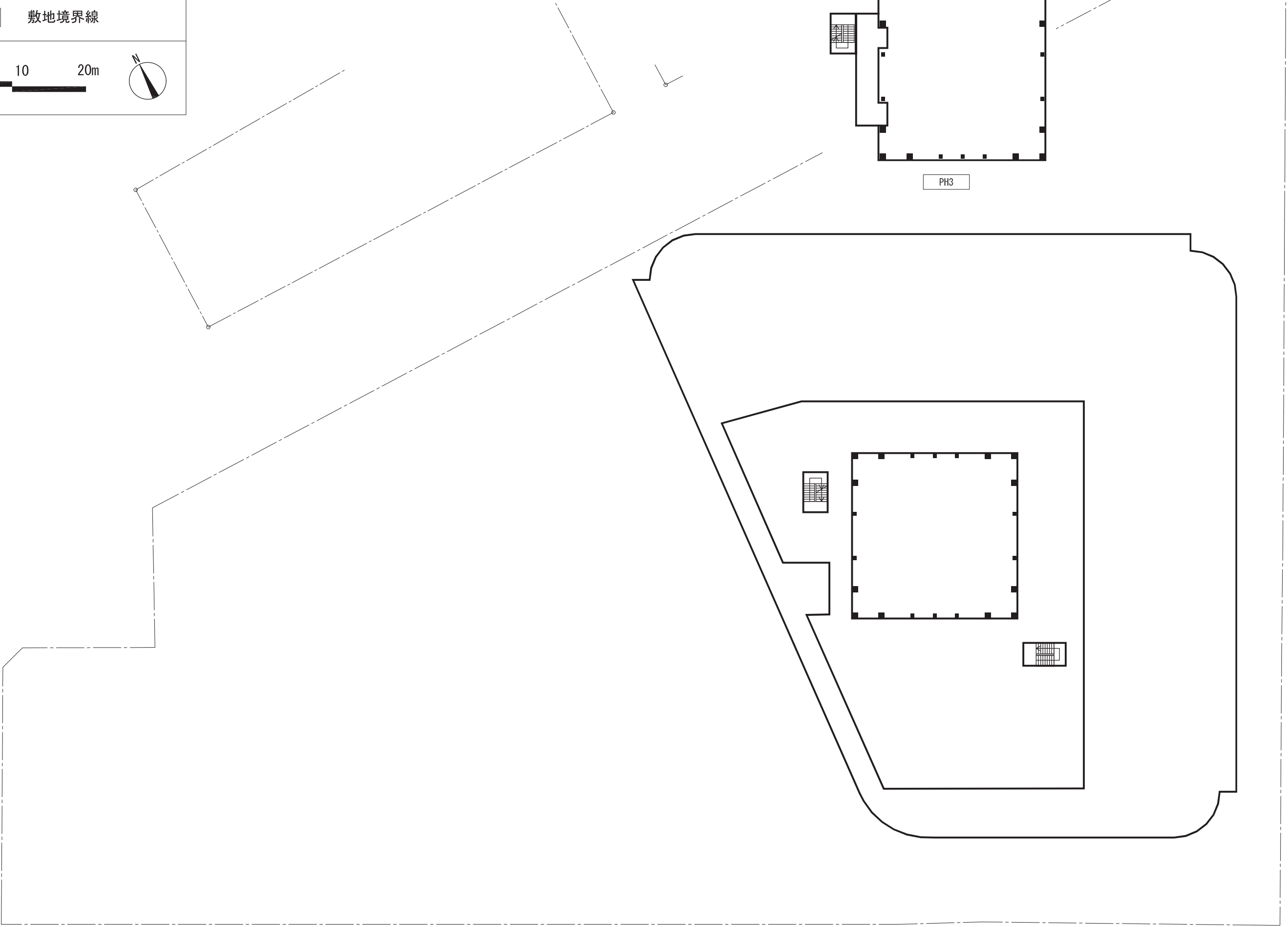


凡 例

敷地境界線

051020m

N

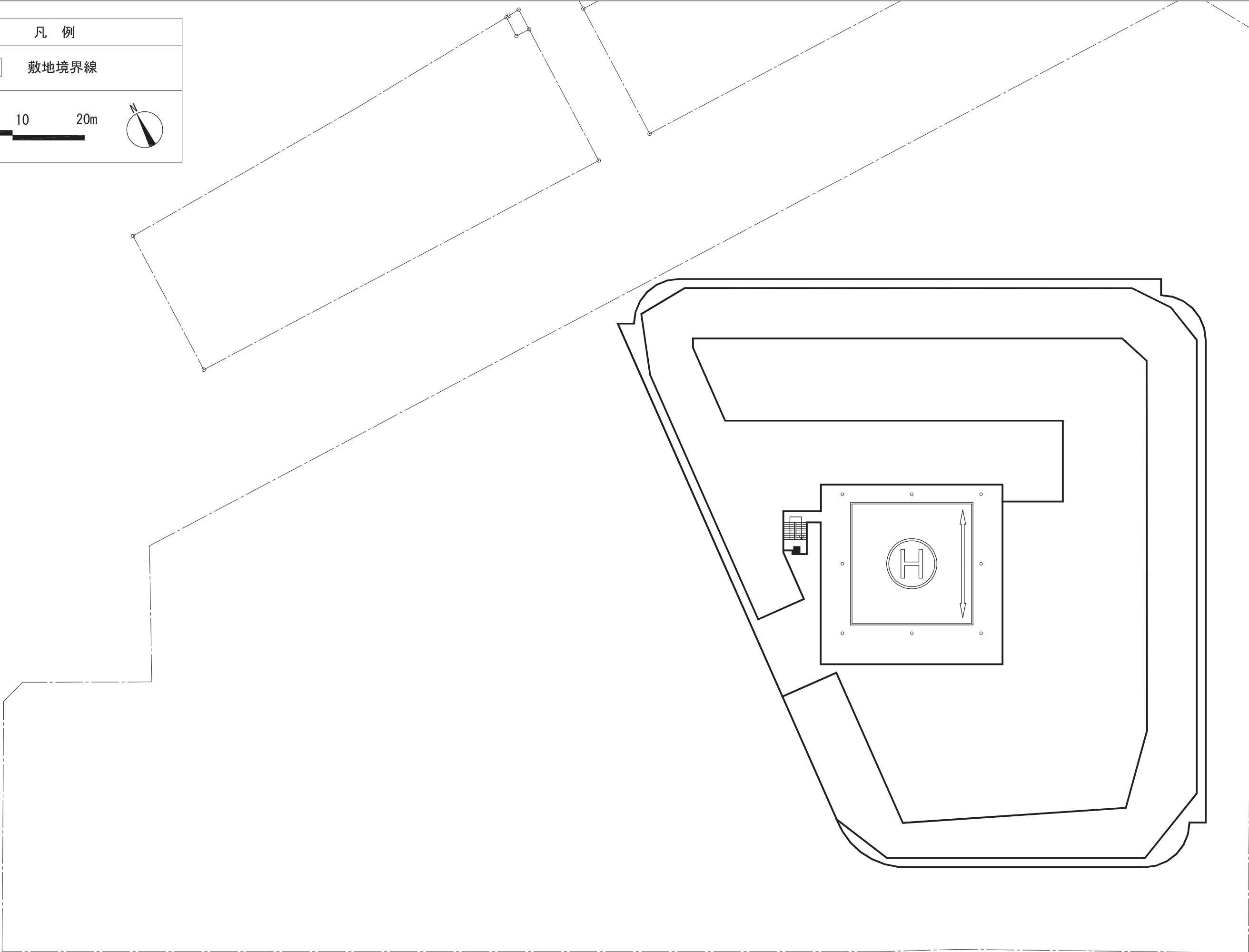


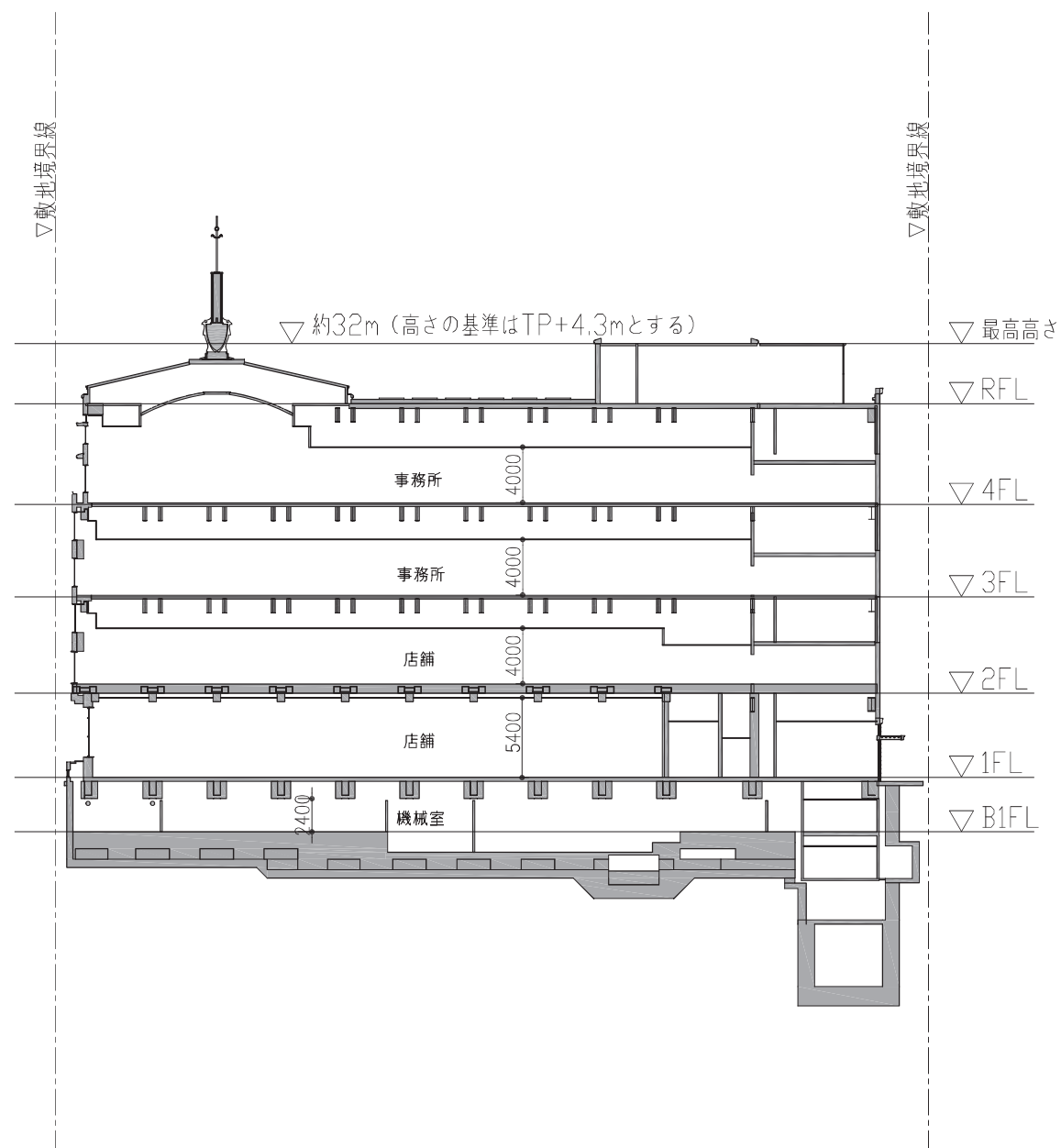
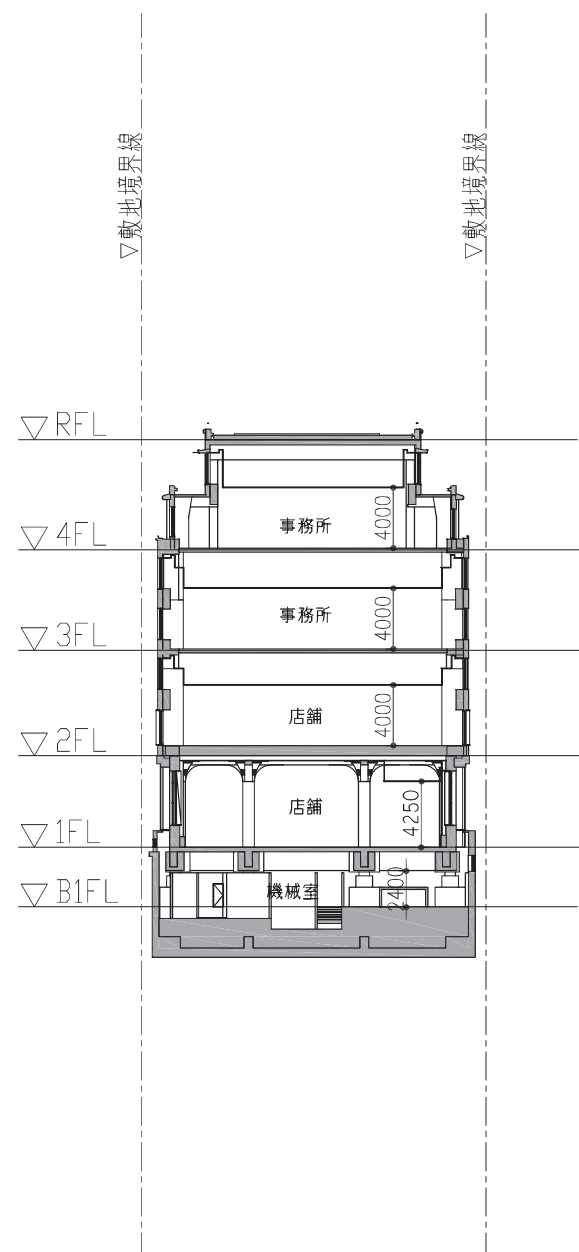
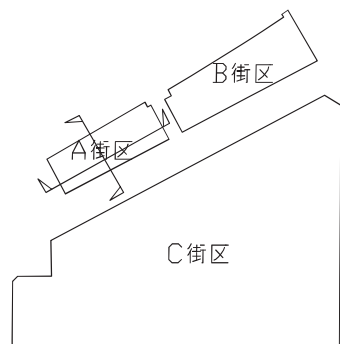
凡 例

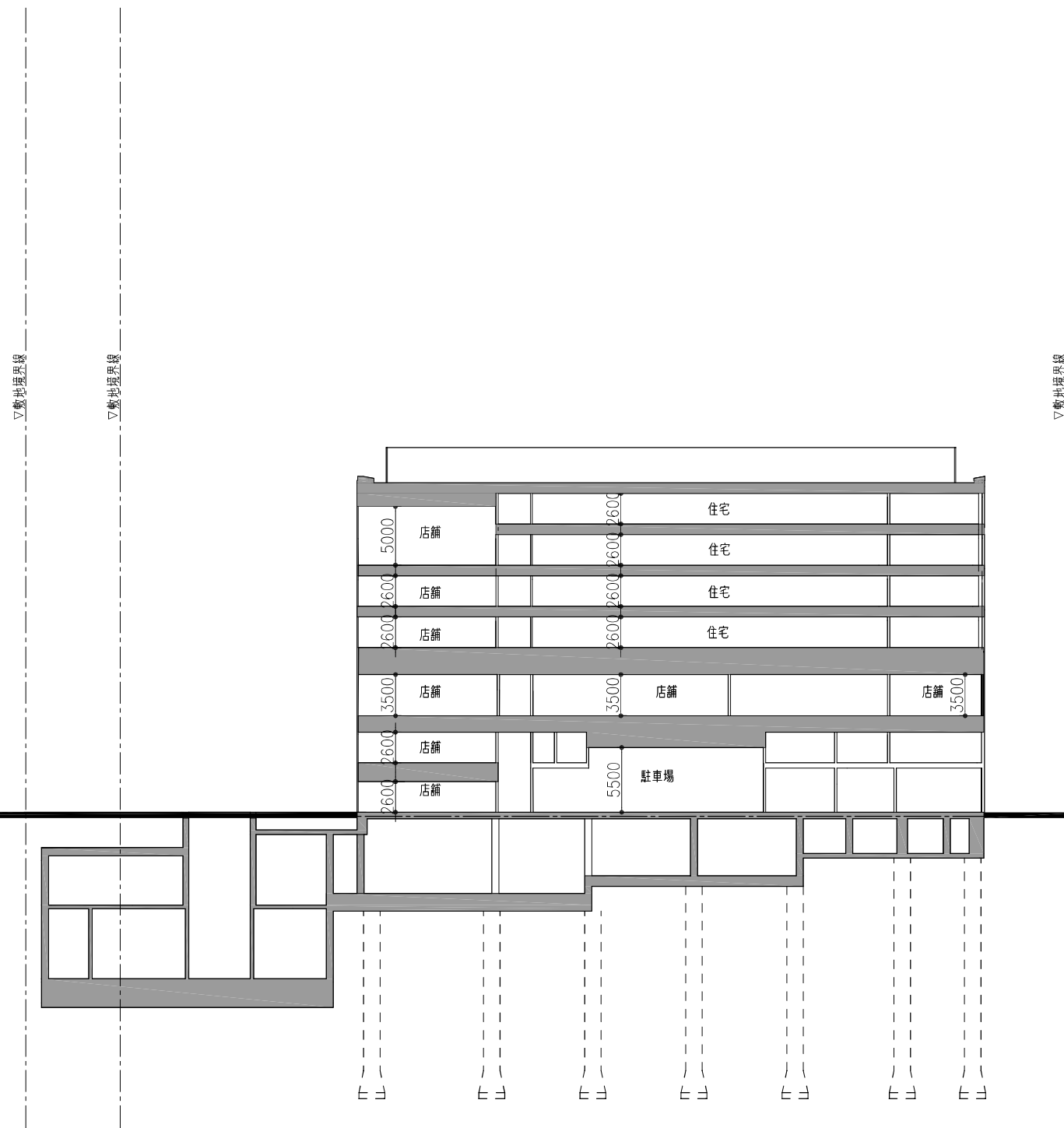
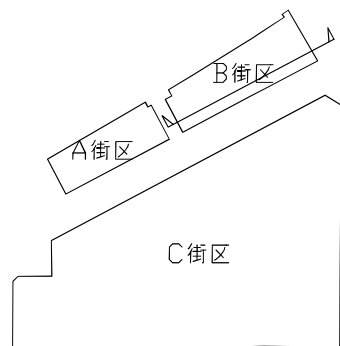
敷地境界線

051020m

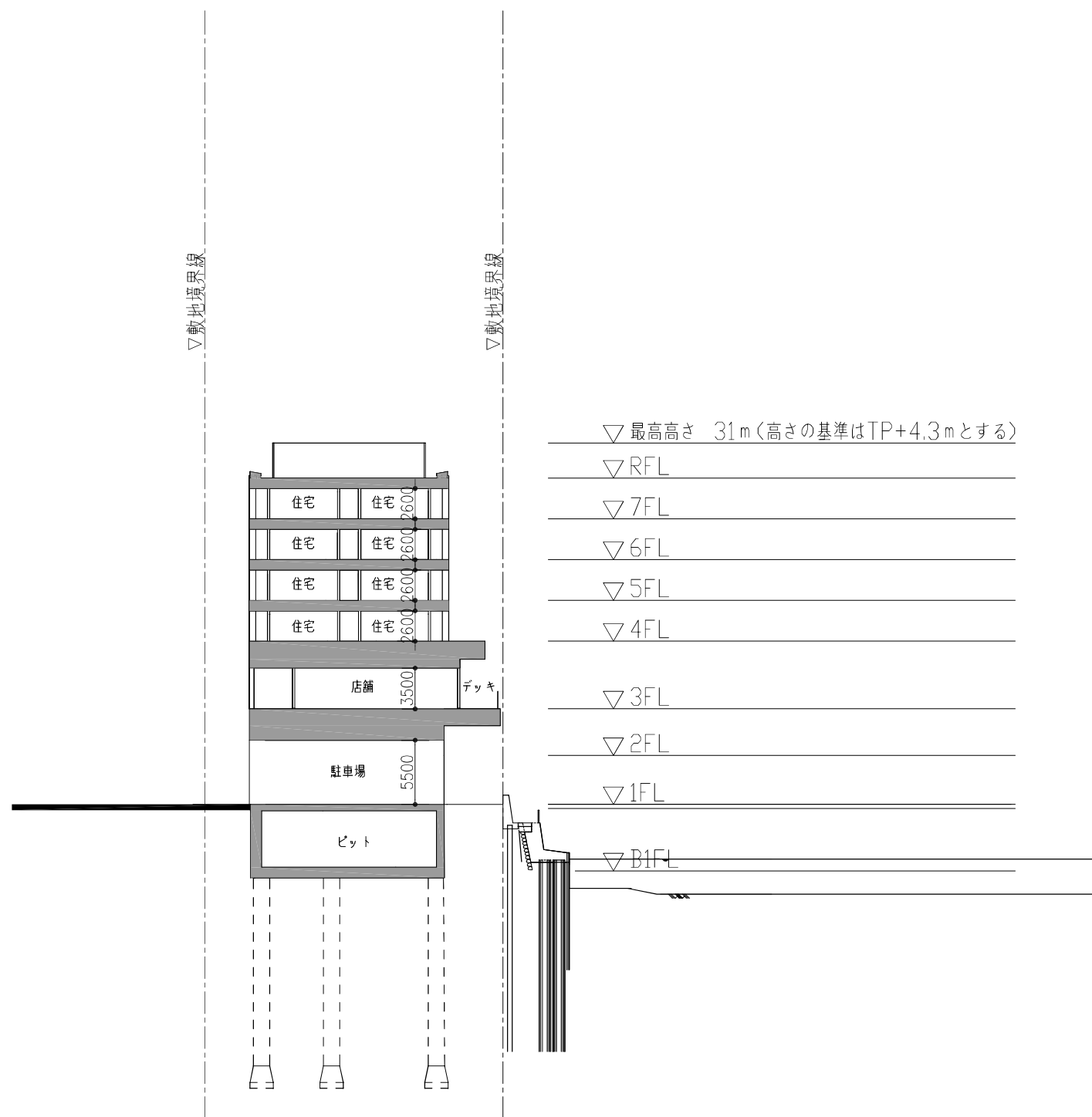
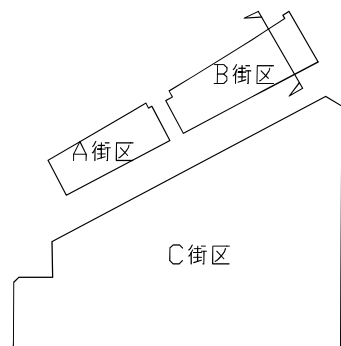
N

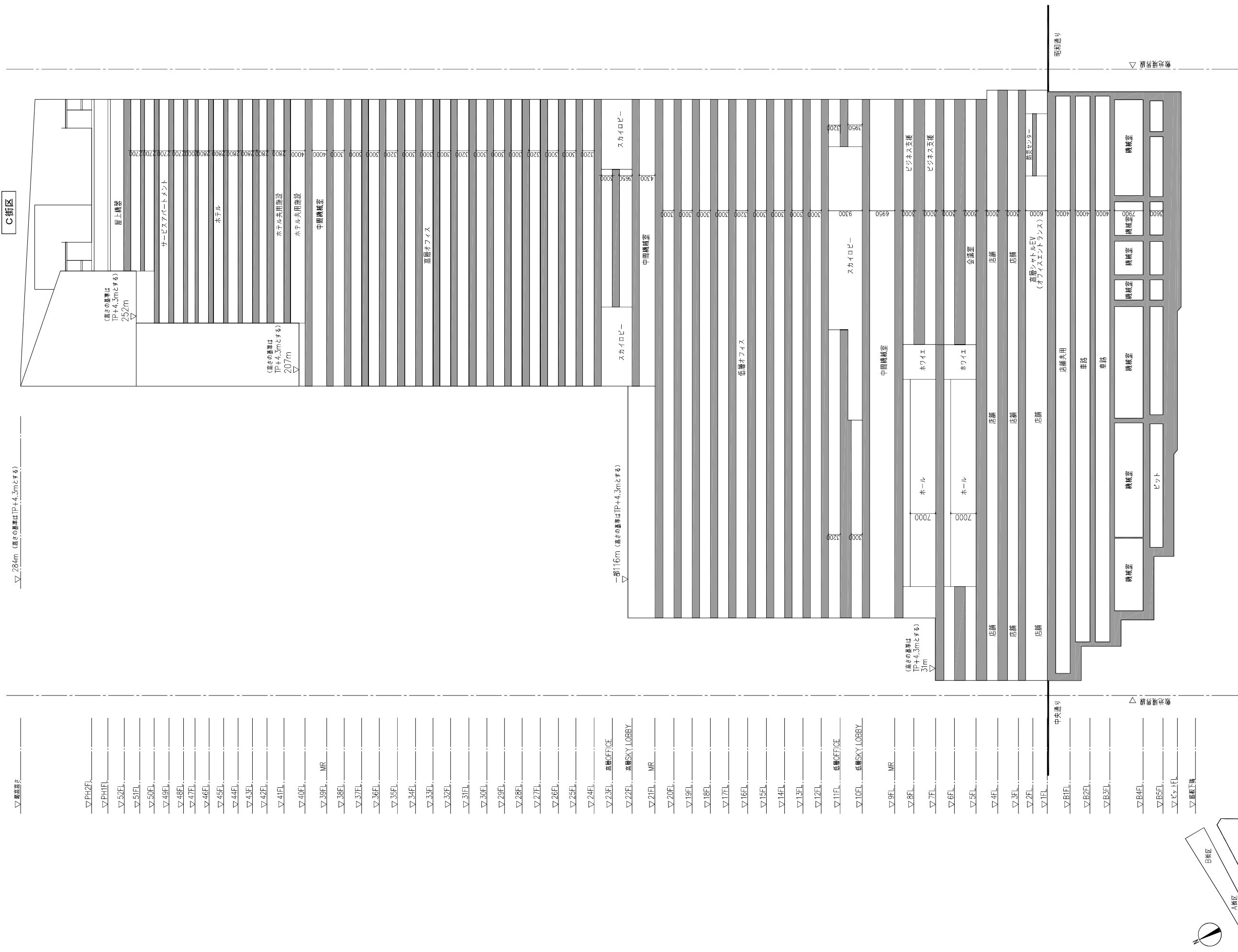


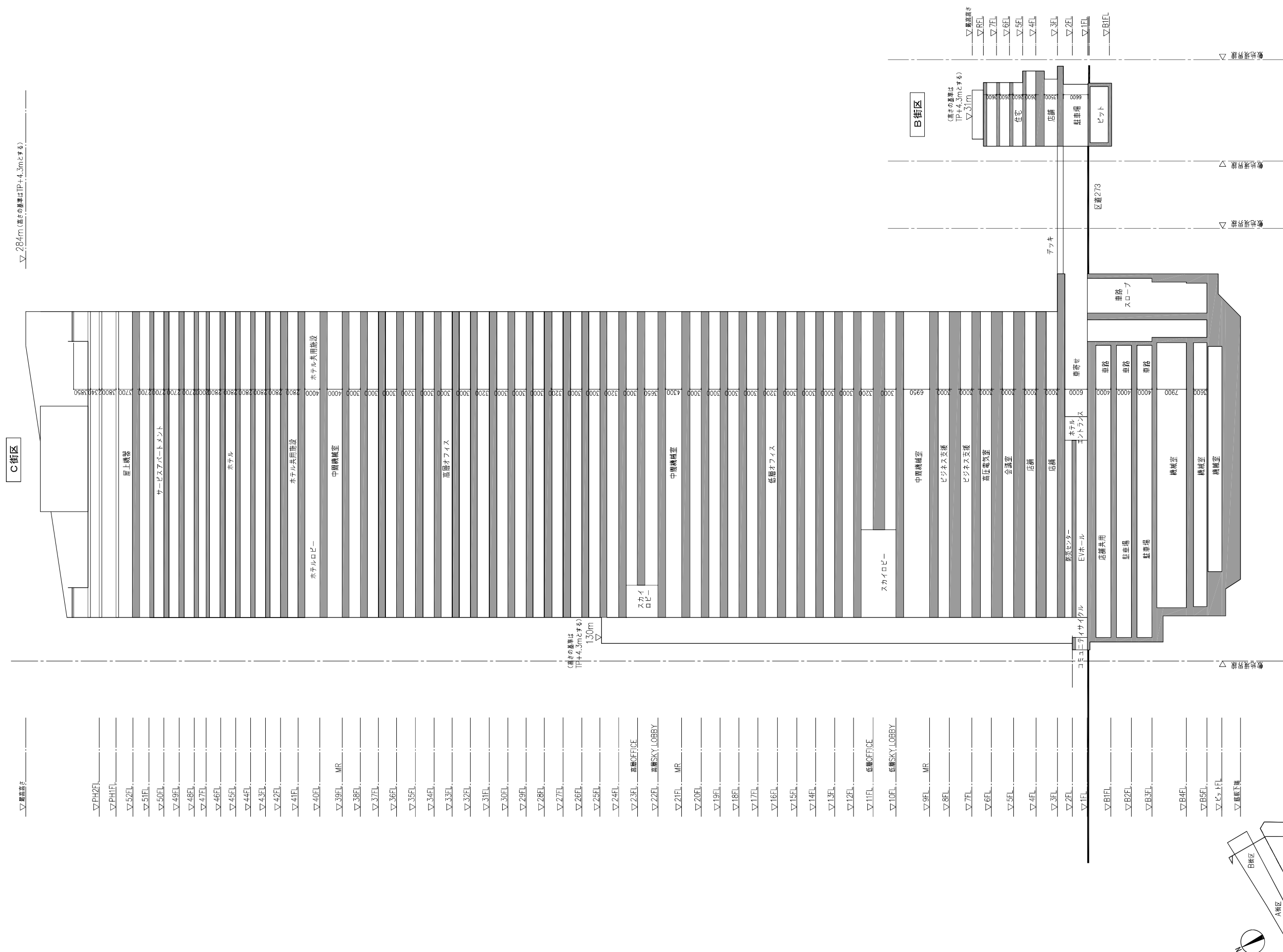




- ▽ 最高高さ 31m (高さの基準はTP+4.3mとする)
- ▽ RFL
- ▽ 7FL
- ▽ 6FL
- ▽ 5FL
- ▽ 4FL
- ▽ 3FL
- ▽ 2FL
- ▽ 1FL
- ▽ B1FL



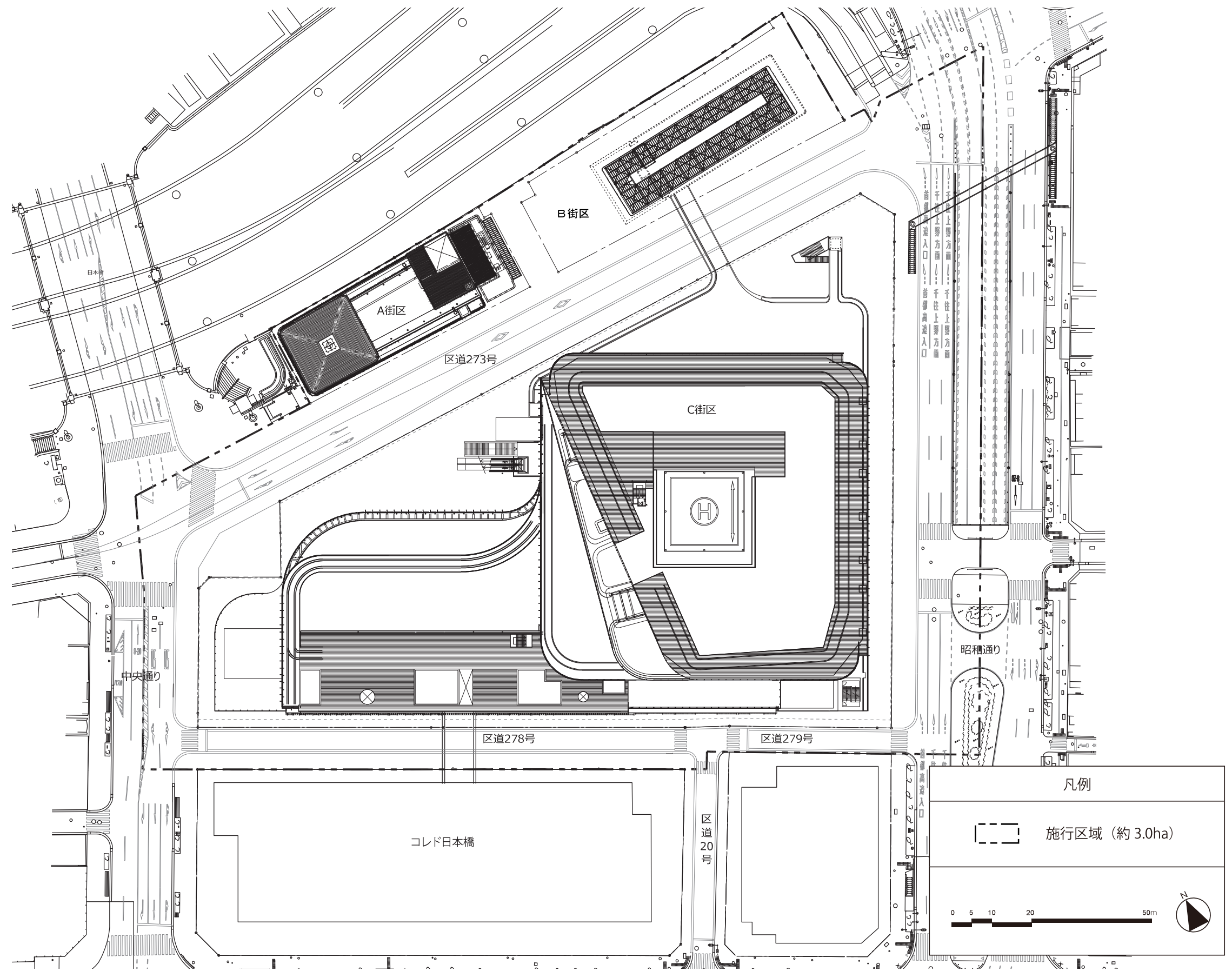


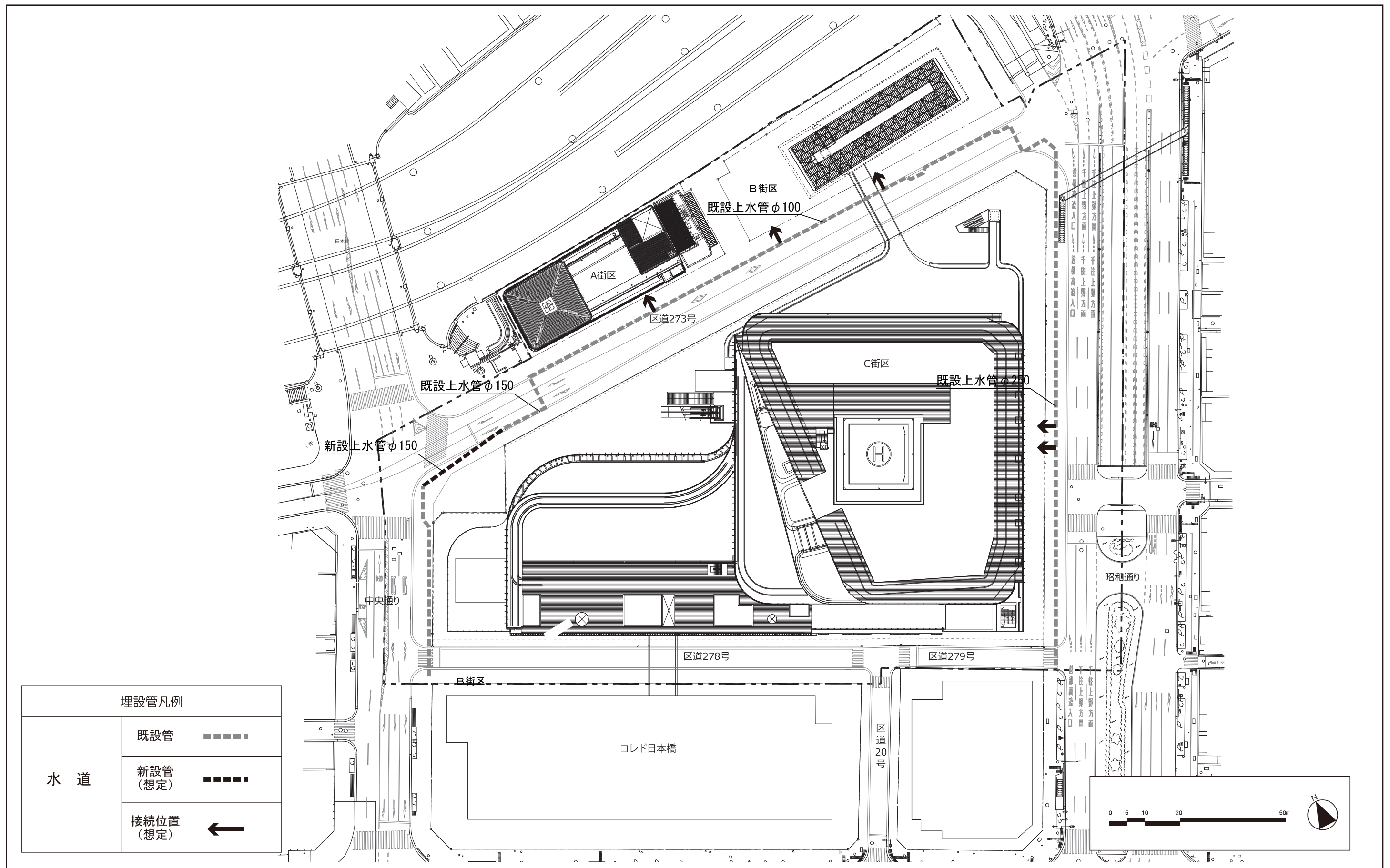


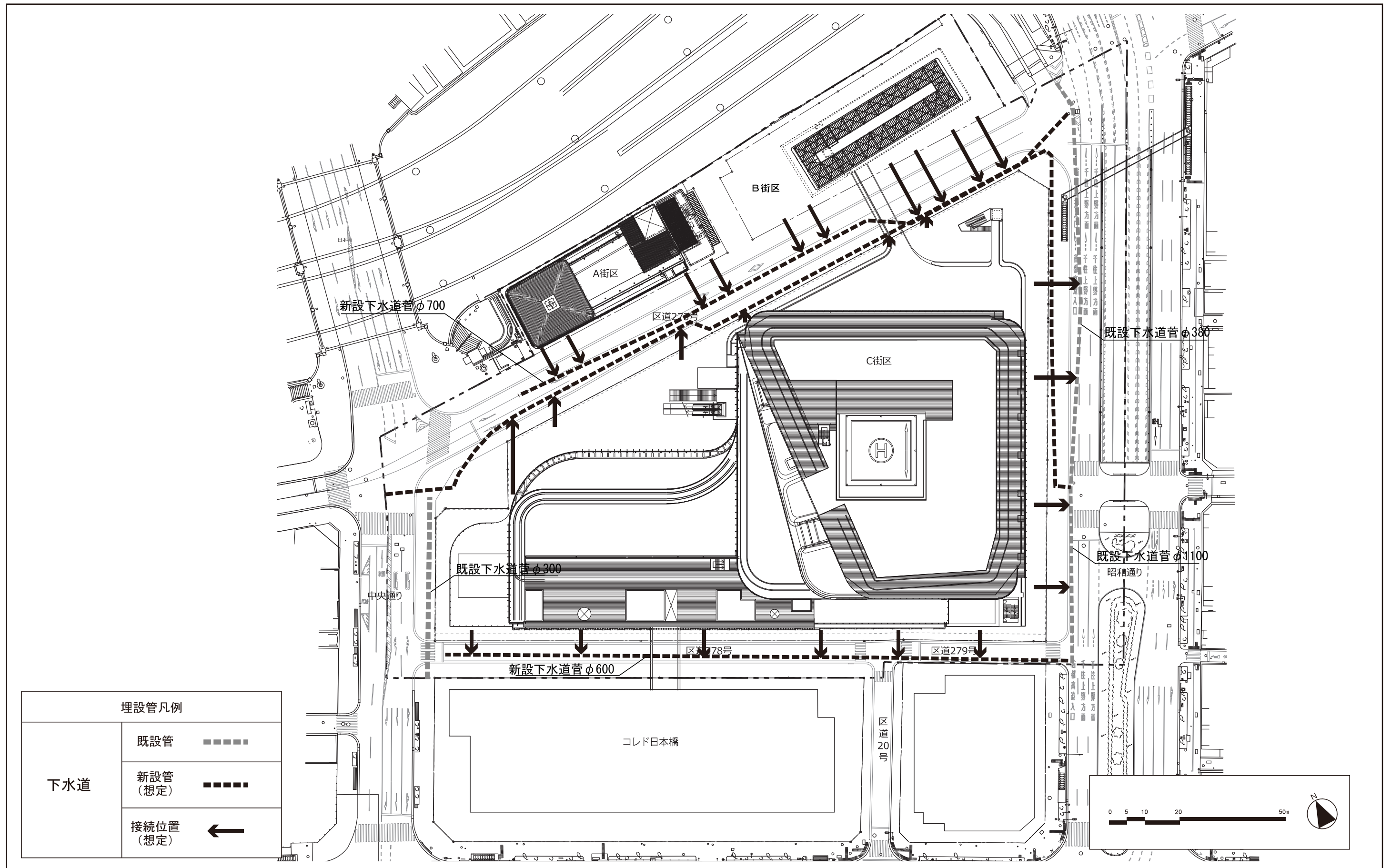
添付書類（３）設計図

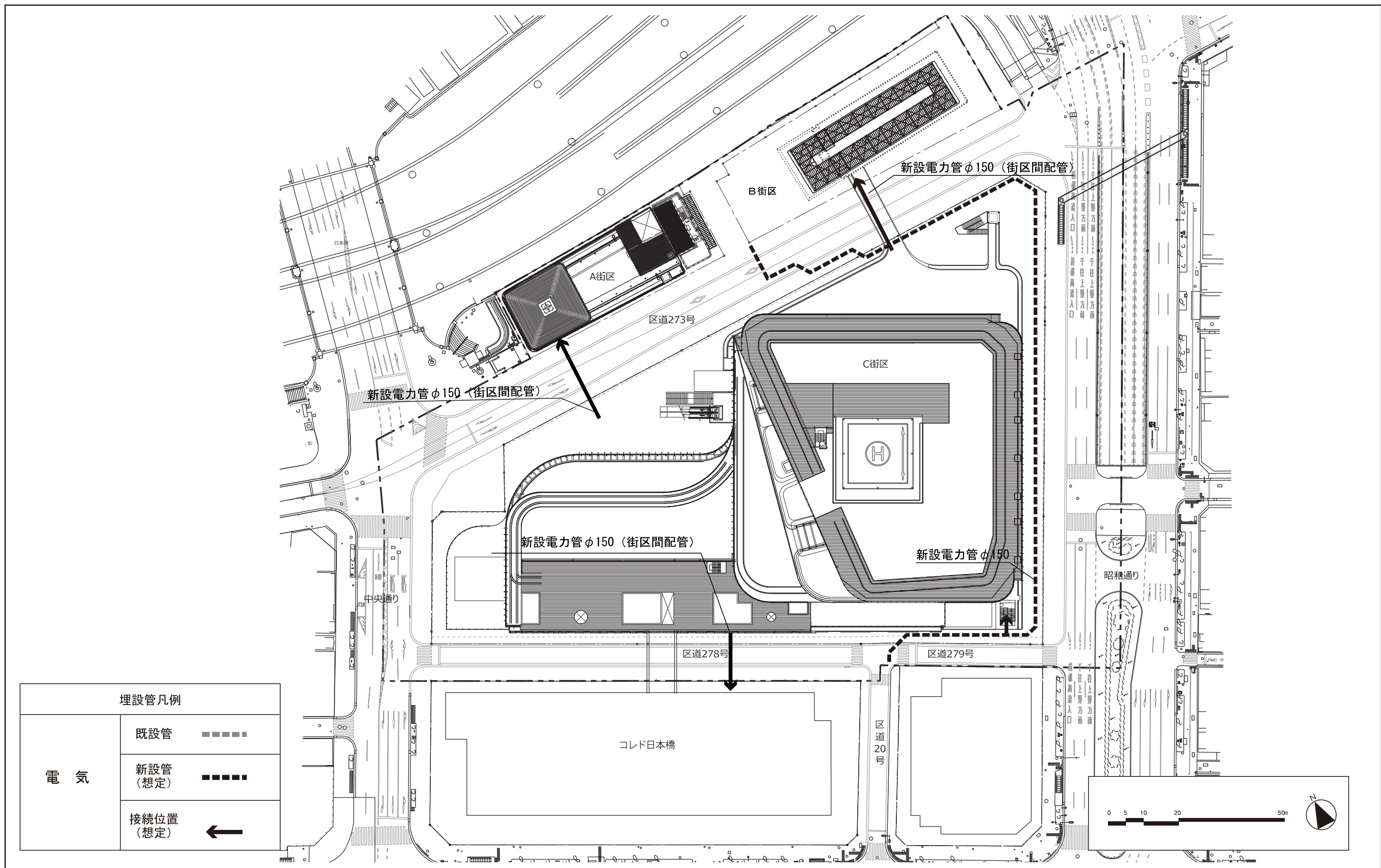
２）施設建築敷地の設計図

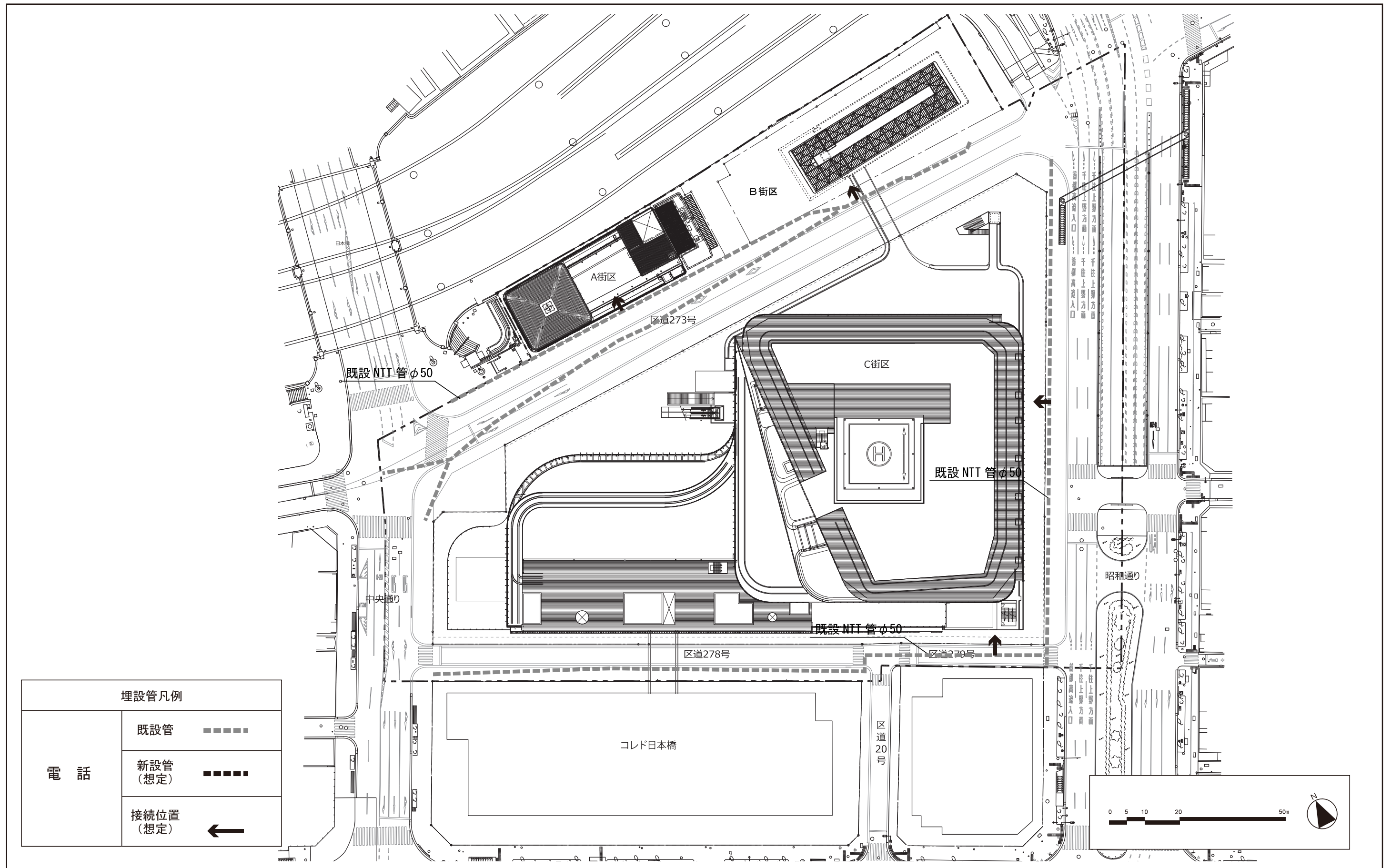
- ①配置図
- ②水道計画平面図
- ③下水道計画平面図
- ④ガス計画平面図
- ⑤電気計画平面図
- ⑥電話計画平面図





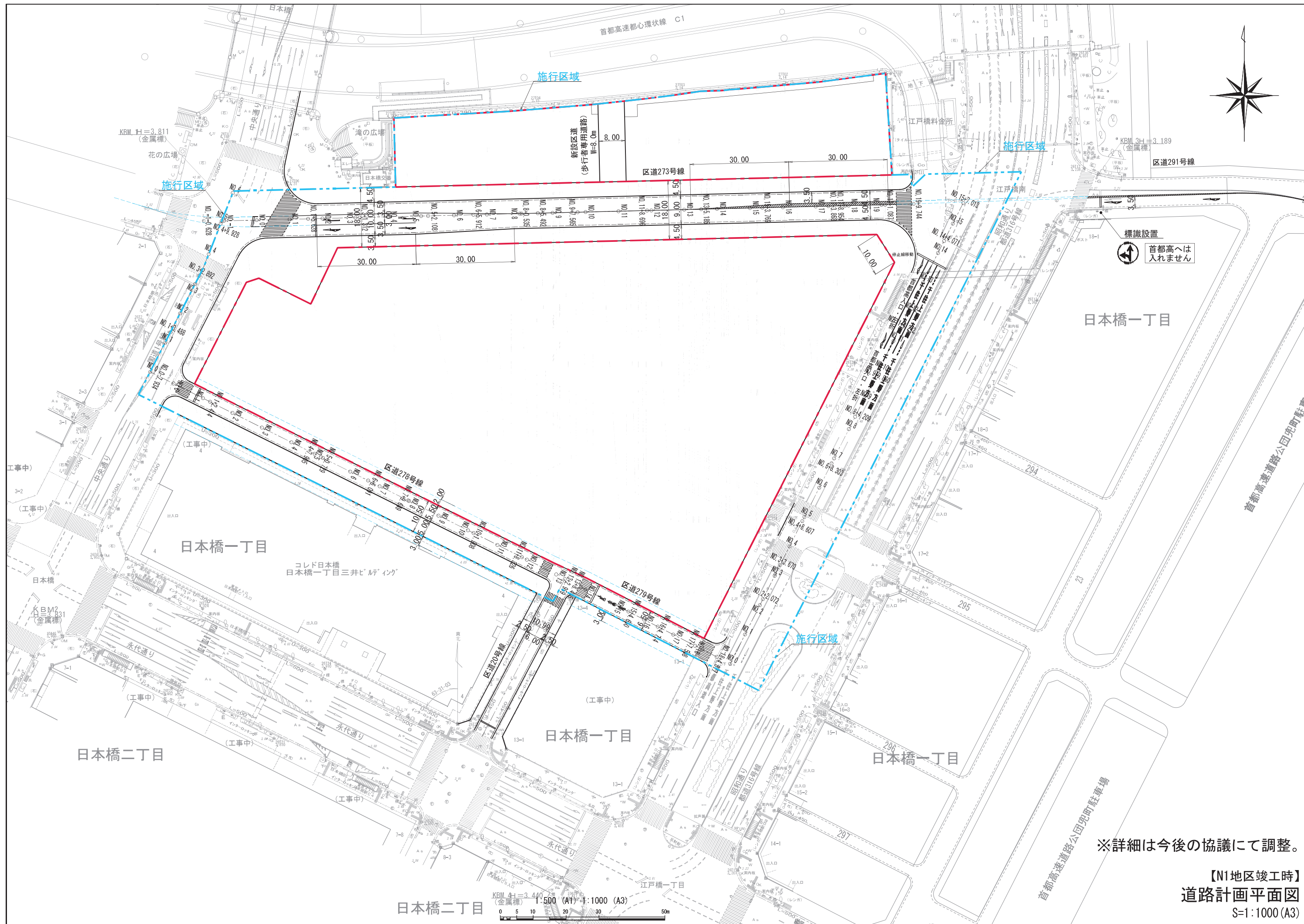






添付書類（３）設計図

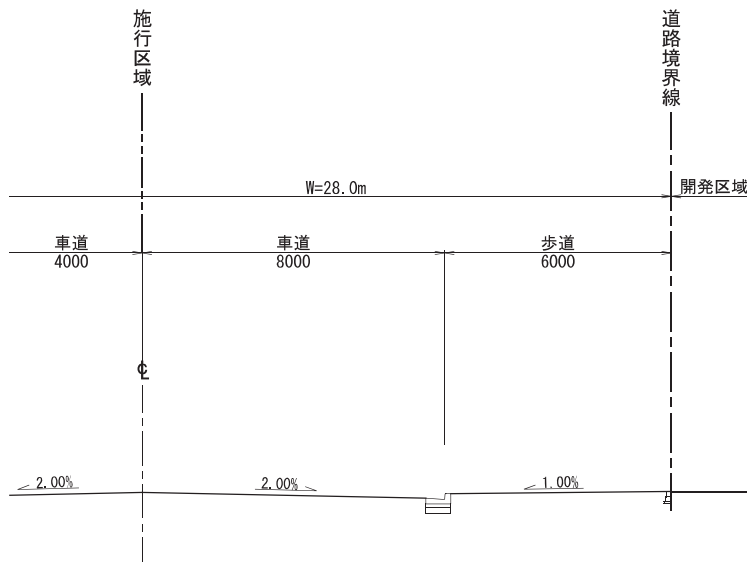
3) 公共施設の設計図



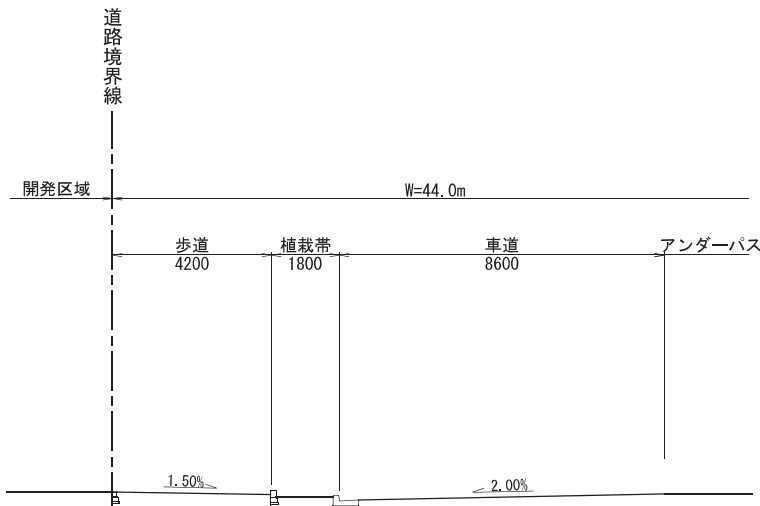
※詳細は今後の協議にて調整。

【N1地区竣工時】
道路計画平面図
S=1:1000 (A3)

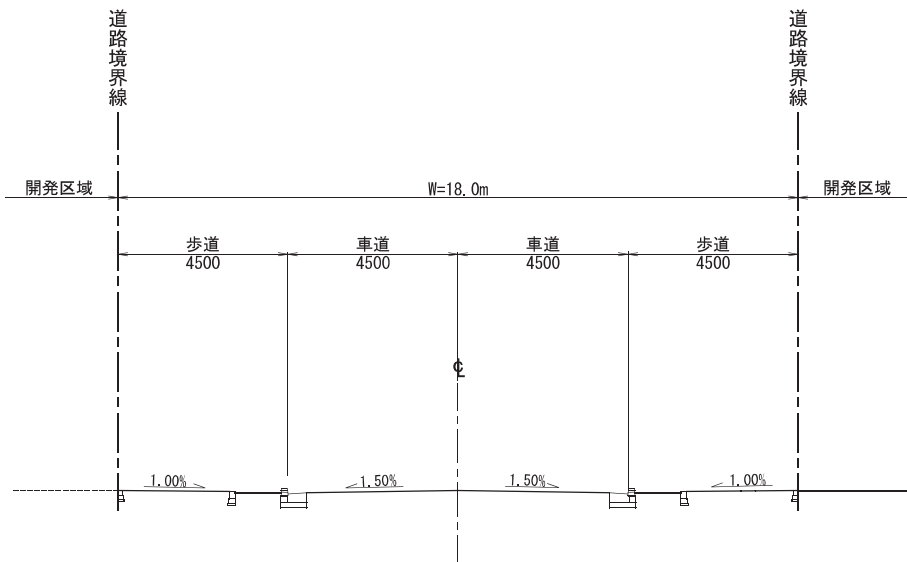
A－A
中央通り



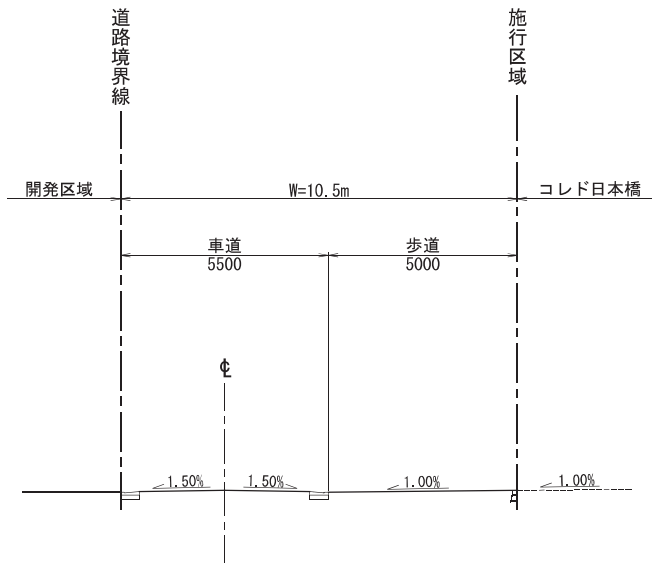
B－B
昭和通り



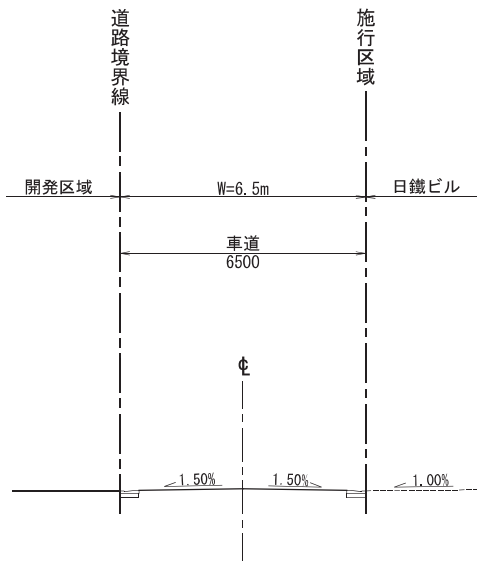
C－C
区道273号線



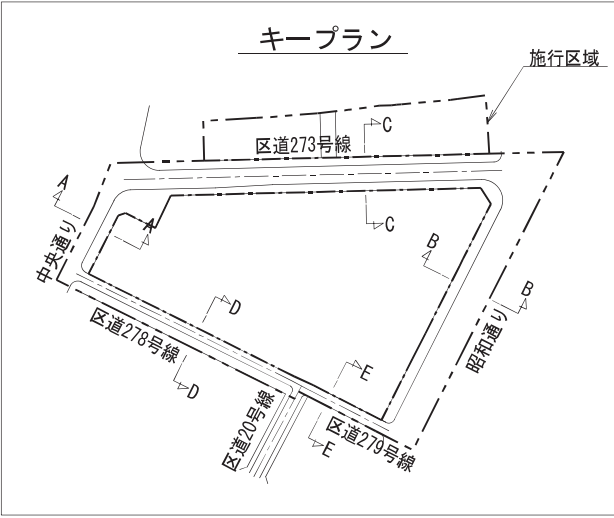
D－D
区道278号線

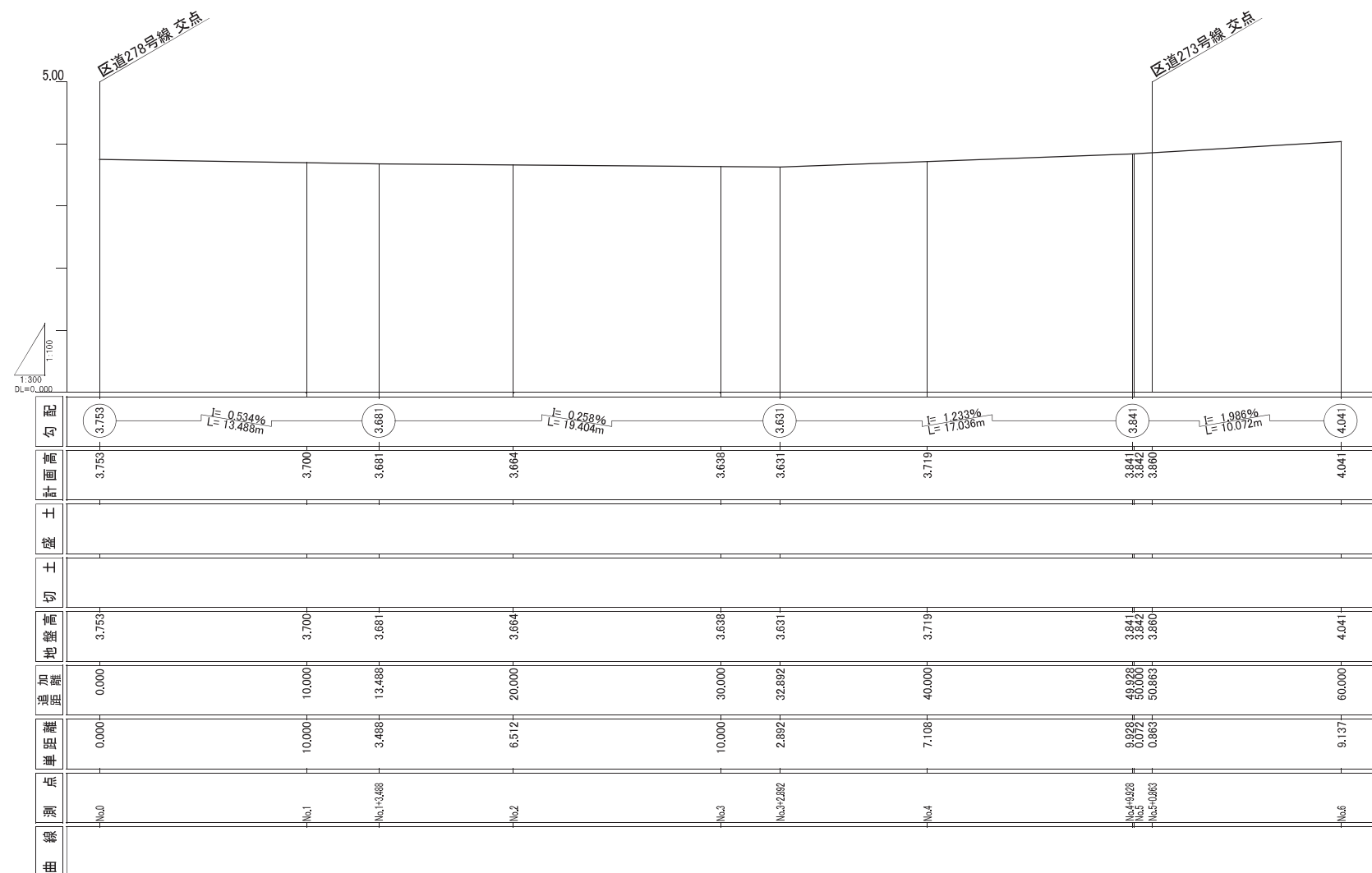


E－E
区道279号線

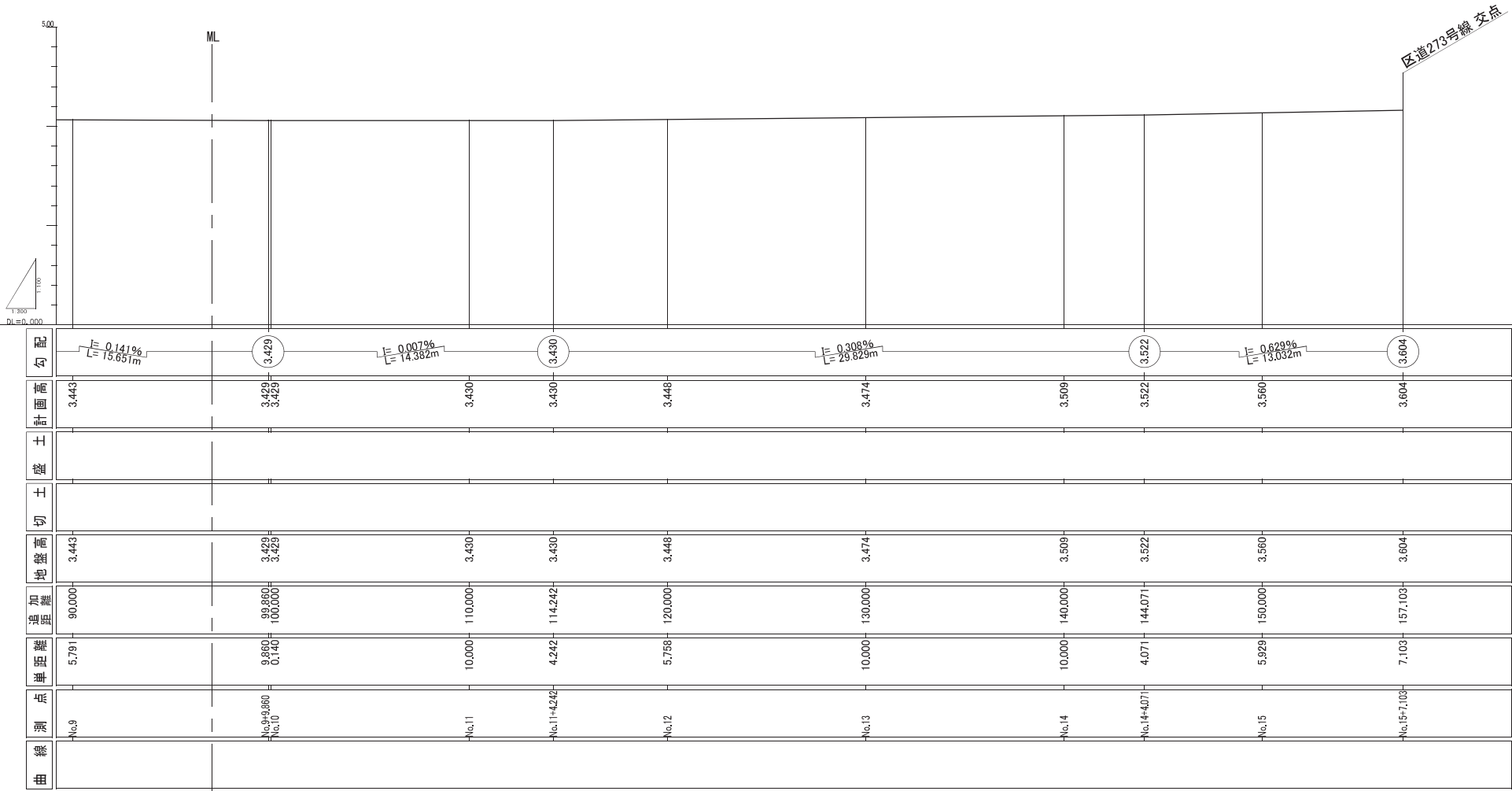
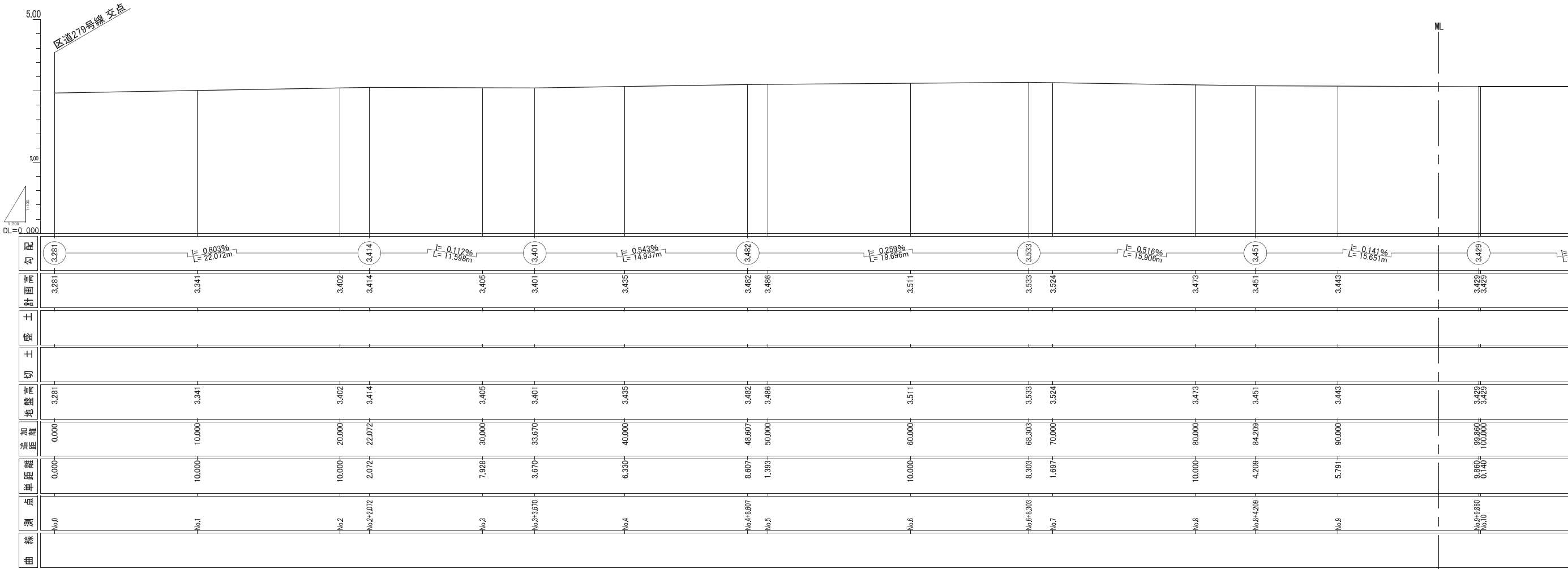


※詳細は今後の協議にて調整。





※詳細は今後の協議にて調整。



※詳細は今後の協議にて調整。



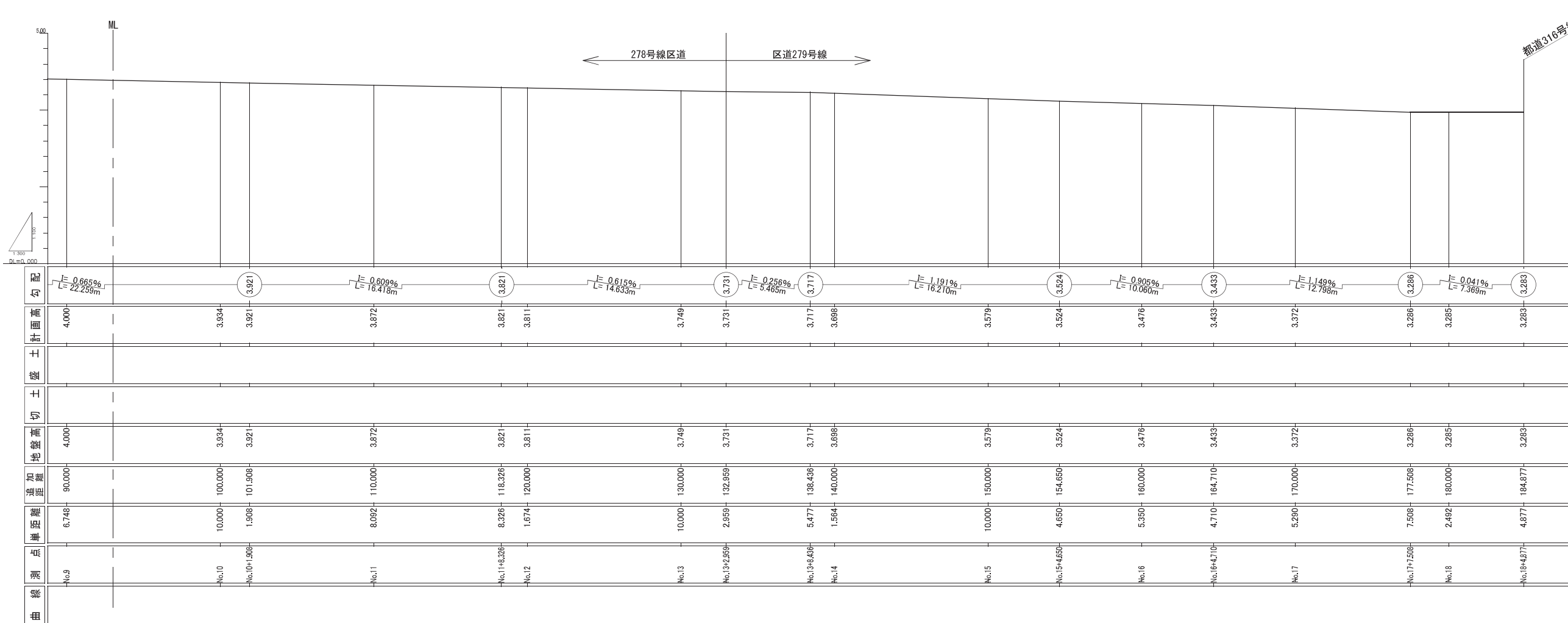
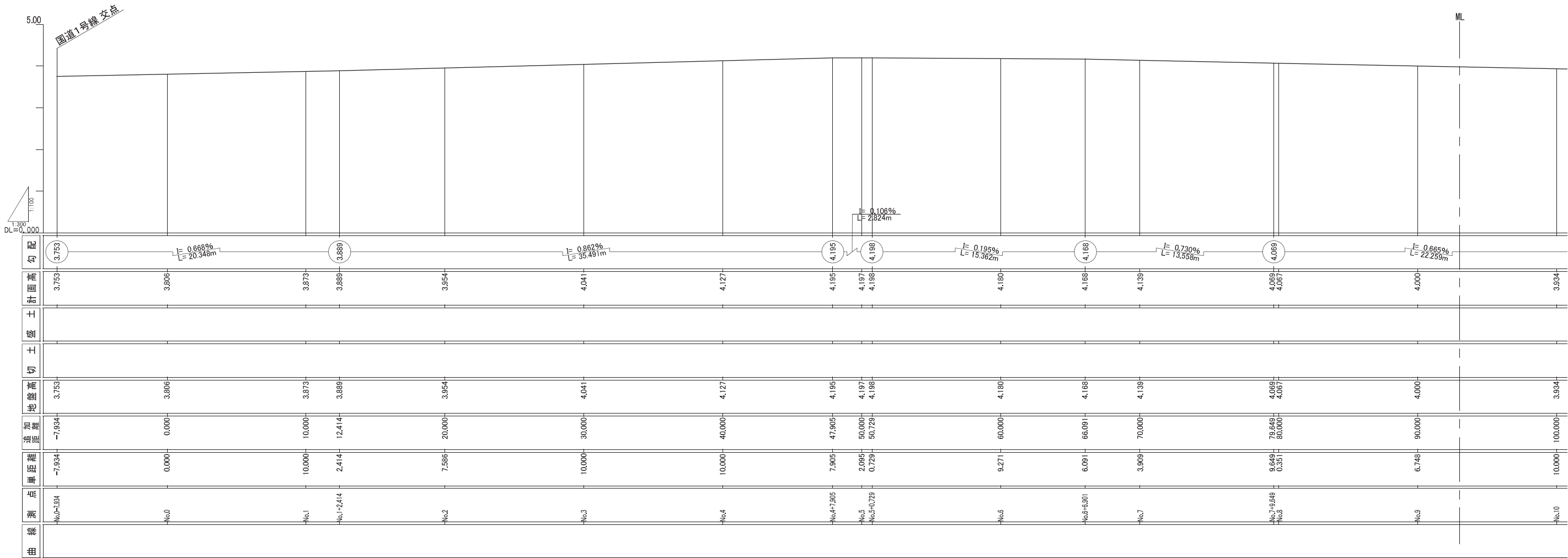
曲線	測点	単距離	追加距離	地盤高	切土	盛土	計画高	勾配
	No.10	2.435	100.000	3.610	—	0.074	3.684	
	No.11	10.000	110.000	3.574		0.088	3.662	
	No.11+6.686	8.696	118.696	3.523	0.120		3.643	$I = 0.223\%$ $L = 113.042\text{m}$
	No.12	1.304	120.000	3.540	0.100		3.640	
	No.13	10.000	130.000	3.557		0.061	3.618	
	No.13+5.185	5.185	135.185	3.543	0.063		3.606	
	No.14	4.815	140.000	3.527		0.068	3.595	
	No.15	10.000	150.000	3.456	0.137		3.573	
	No.15+3.769	3.769	153.769	3.421	0.144		3.565	
	No.16	6.231	160.000	3.447		0.104	3.551	
	No.17	10.000	170.000	3.488		0.041	3.529	
	No.17+3.888	3.888	173.888	3.503	0.017		3.520	
	No.17+5.954	5.086	178.954	3.507			3.507	$I = 0.091\%$ $L = 12.133\text{m}$
	No.18	6.132	180.000	3.509			3.684	
	No.19	10.000	190.000	3.517			3.534	
	No.19+1.087	1.087	191.087	3.518			3.518	$I = 0.381\%$ $L = 8.651\text{m}$
	No.19+8.744	8.657	199.744	3.551			3.551	

都道316号線 交点

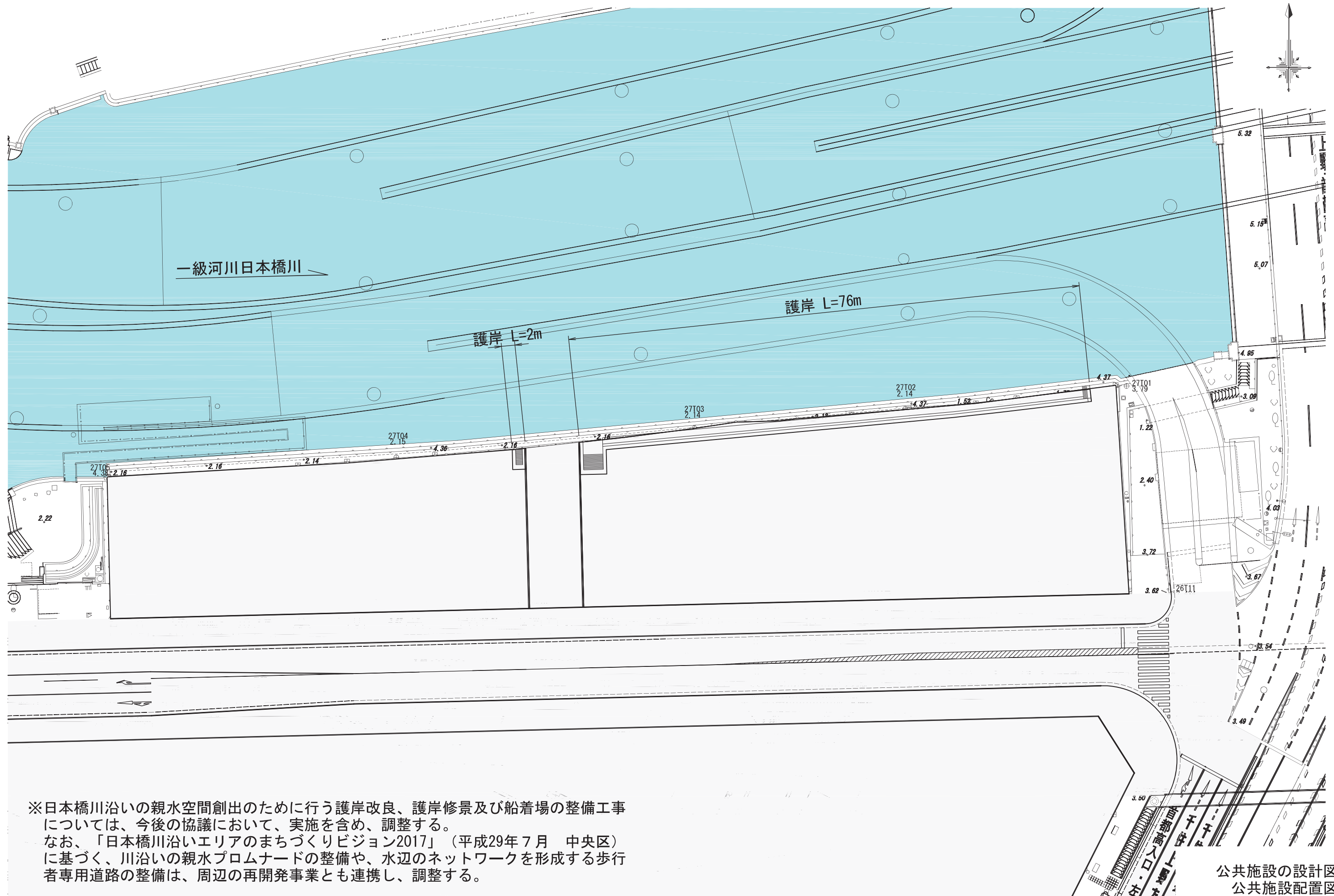


曲線	測点	単距離	追加距離	地盤高	切土	盛土	計画高	勾配
	No.1	—	—	—	—	—	—	$I = 0.762\%$ $L = 26.247\text{m}$
	No.1+0.328	—	—	—	—	—	3.858 3.863	
	No.2	—	—	—	—	—	—	$I = 0.669\%$ $L = 15.693\text{m}$
	No.2+1.312	—	—	—	—	—	3.962 3.953	
	No.3	—	—	—	—	—	—	$I = 0.808\%$ $L = 20.796\text{m}$
	No.3+2.108	—	—	—	—	—	3.802 3.785	
	No.4	—	—	—	—	—	—	$I = 0.188\%$ $L = 13.804\text{m}$
	No.4+5.912	—	—	—	—	—	3.770 3.759	
	No.5	—	—	—	—	—	—	$I = 0.026\%$ $L = 0.027\text{m}$
	No.5+8.535	—	—	—	—	—	3.728 3.727	
	No.6	—	—	—	—	—	—	$I = 0.036\%$ $L = 0.036\text{m}$
	No.6+7.555	—	—	—	—	—	3.716 3.706	
	No.7	—	—	—	—	—	—	$I = 0.069\%$ $L = 0.074\text{m}$
	No.7+2.435	—	—	—	—	—	3.689 3.684	

国道1号線 交点

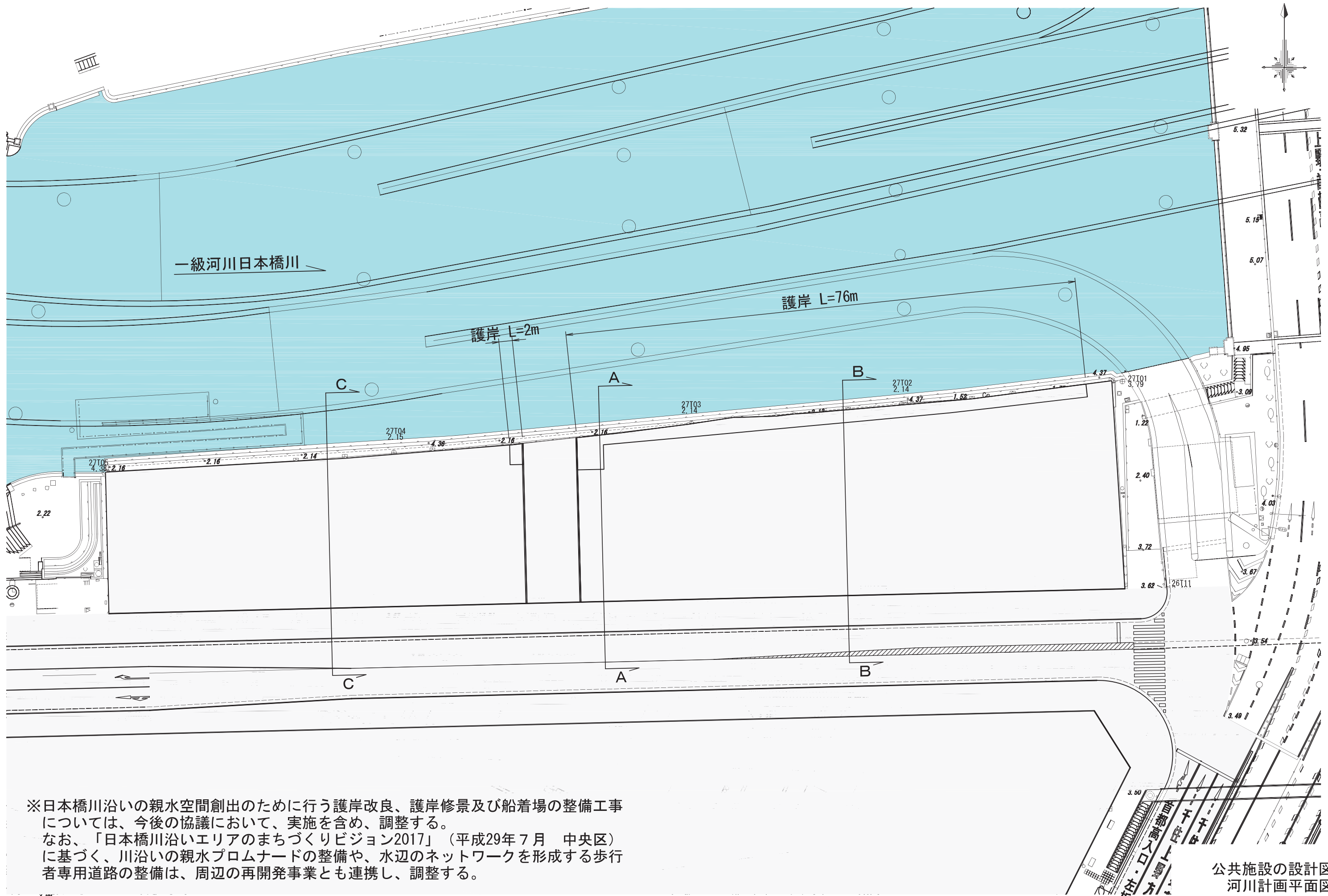


※詳細は今後の協議にて調整。

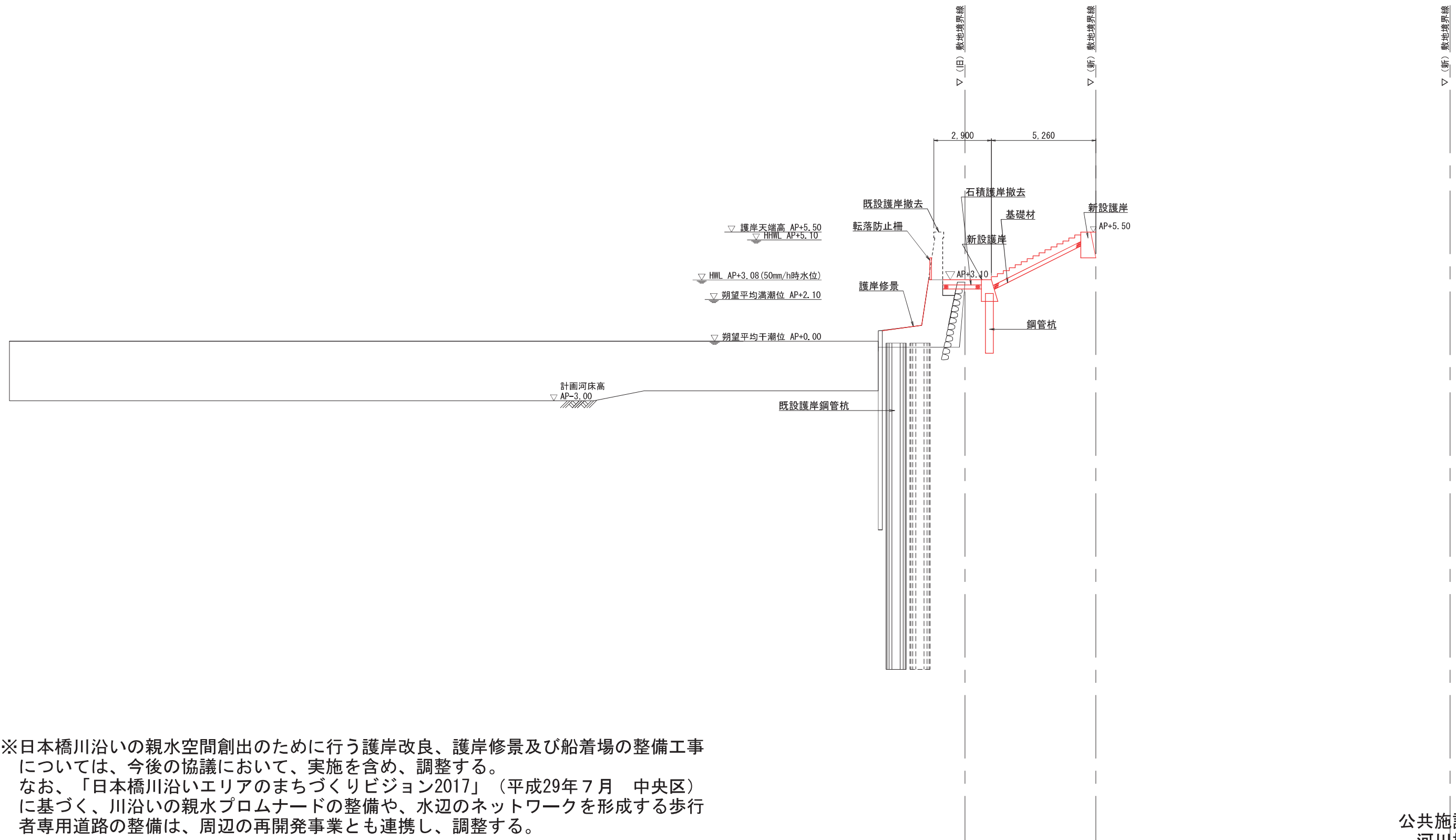


※日本橋川沿いの親水空間創出のために行う護岸改良、護岸修景及び船着場の整備工事については、今後の協議において、実施を含め、調整する。
なお、「日本橋川沿いエリアのまちづくりビジョン2017」（平成29年7月 中央区）に基づく、川沿いの親水プロムナードの整備や、水辺のネットワークを形成する歩行者専用道路の整備は、周辺の再開発事業とも連携し、調整する。

公共施設の設計図
公共施設配置図
S=1:500 (A3)

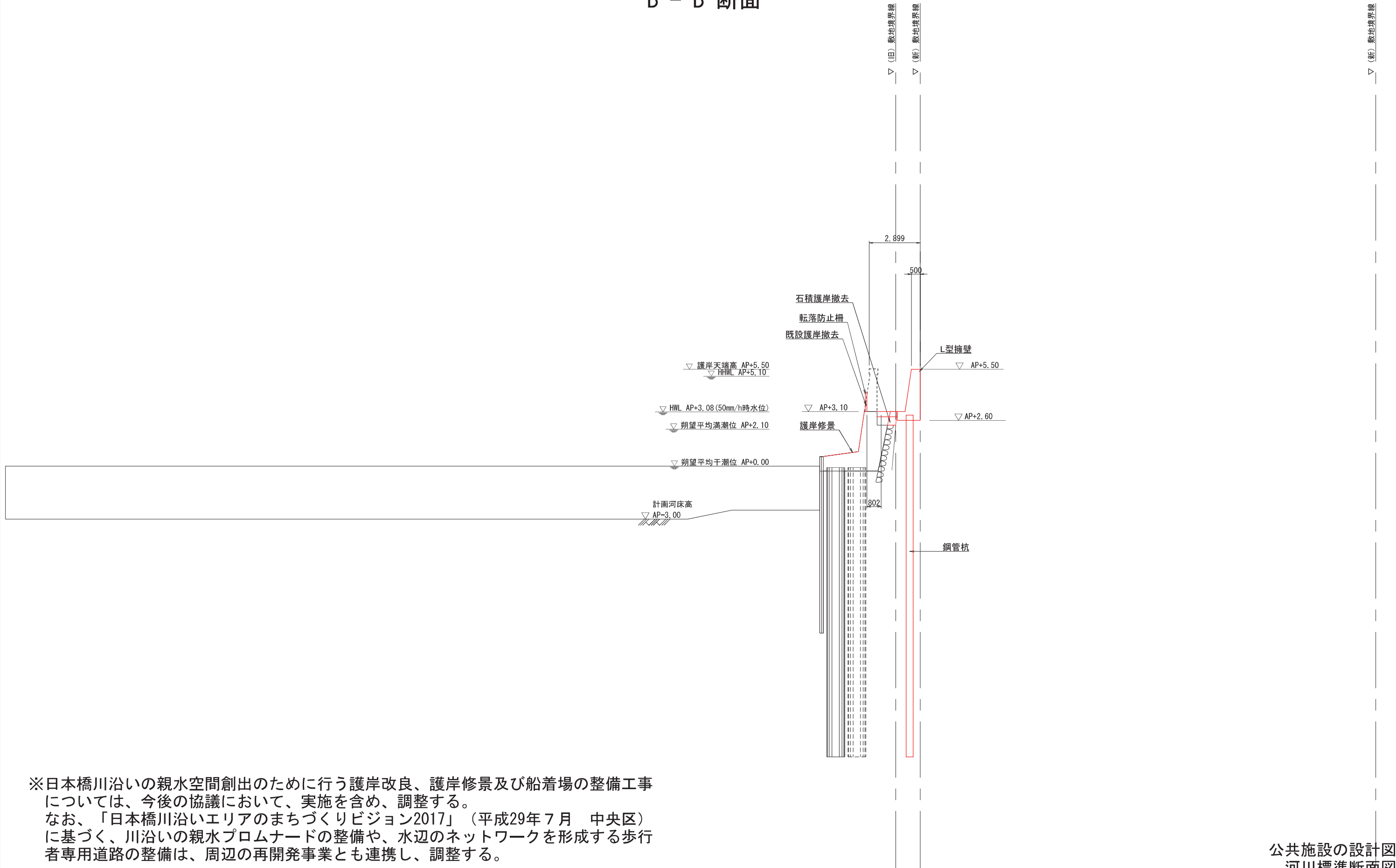


A - A 断面



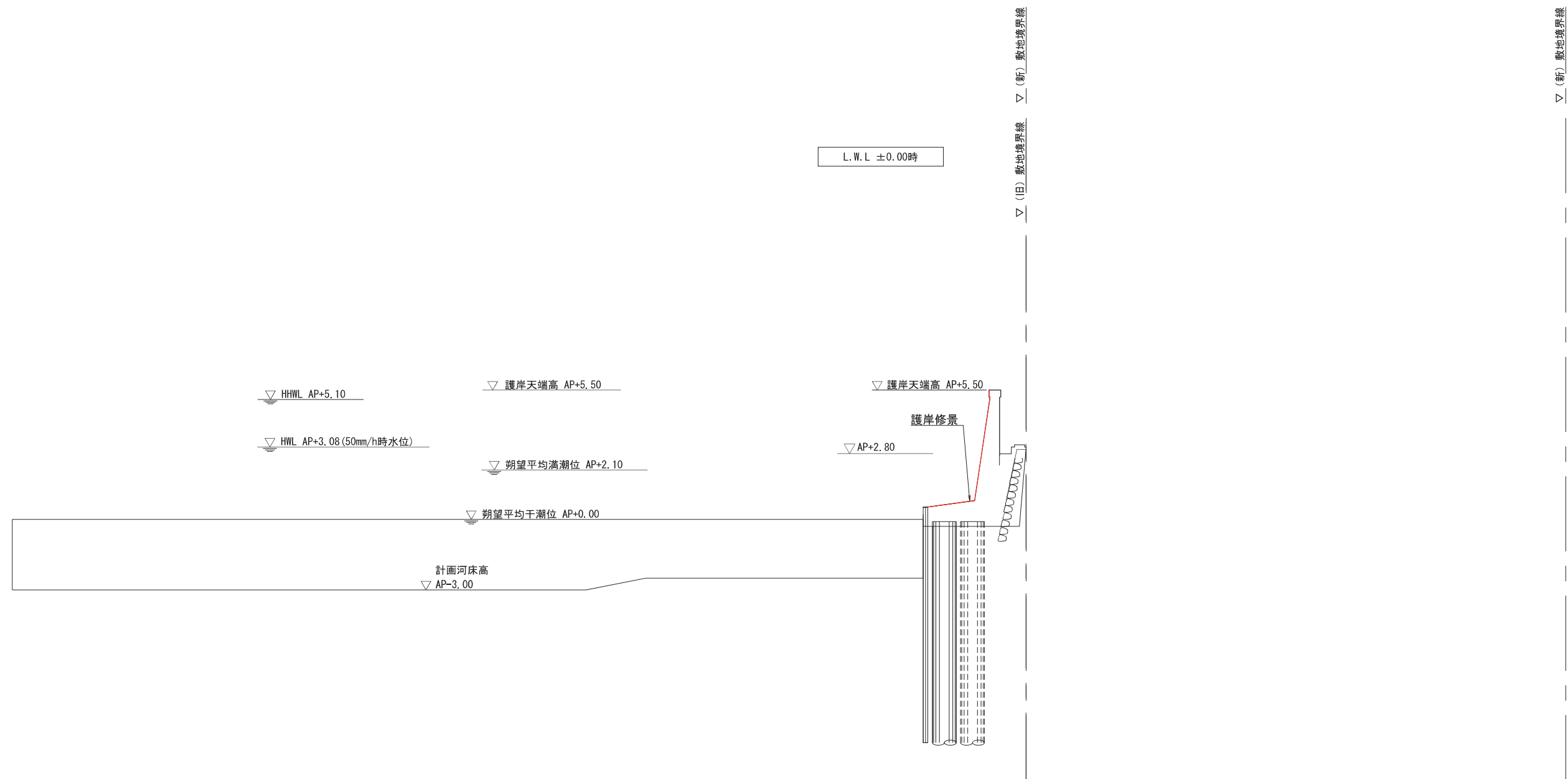
※日本橋川沿いの親水空間創出のために行う護岸改良、護岸修景及び船着場の整備工事については、今後の協議において、実施を含め、調整する。
なお、「日本橋川沿いエリアのまちづくりビジョン2017」（平成29年7月 中央区）に基づく、川沿いの親水プロムナードの整備や、水辺のネットワークを形成する歩行者専用道路の整備は、周辺の再開発事業とも連携し、調整する。

B - B 断面

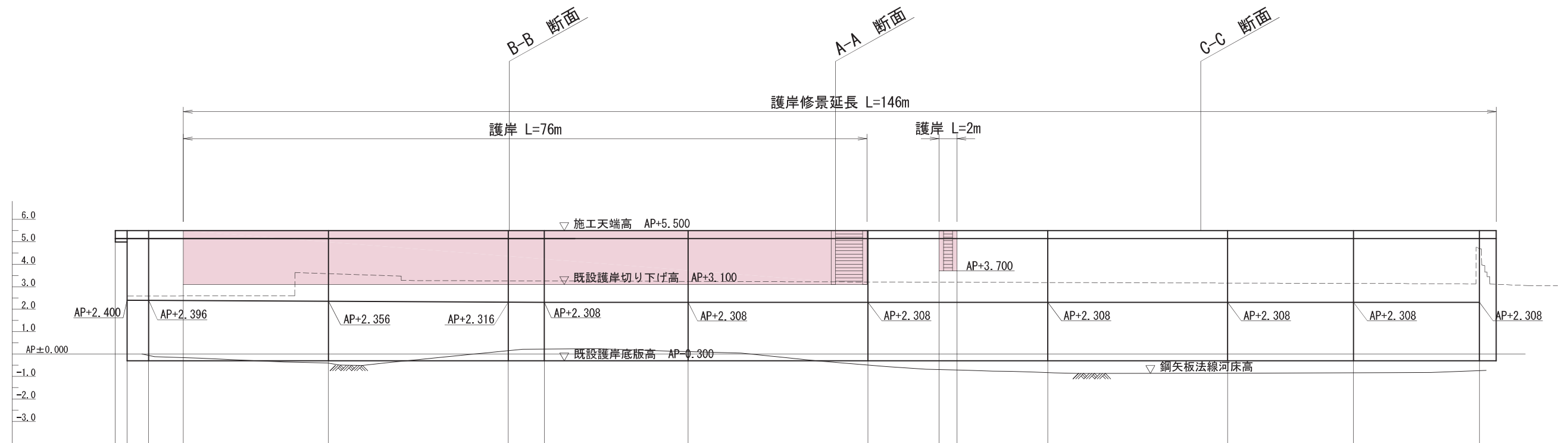


※日本橋川沿いの親水空間創出のために行う護岸改良、護岸修景及び船着場の整備工事については、今後の協議において、実施を含め、調整する。
なお、「日本橋川沿いエリアのまちづくりビジョン2017」（平成29年7月 中央区）に基づく、川沿いの親水プロムナードの整備や、水辺のネットワークを形成する歩行者専用道路の整備は、周辺の再開発事業とも連携し、調整する。

C - C 断面



※日本橋川沿いの親水空間創出のために行う護岸改良、護岸修景及び船着場の整備工事については、今後の協議において、実施を含め、調整する。
なお、「日本橋川沿いエリアのまちづくりビジョン2017」（平成29年7月 中央区）に基づく、川沿いの親水プロムナードの整備や、水辺のネットワークを形成する歩行者専用道路の整備は、周辺の再開発事業とも連携し、調整する。



公共施設の設計図
河川縦断面図
縦=1:200 (A3)
横=1:500 (A3)